滿洲日報
本日朝刊八頁
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社 滿洲日報社

良質ニシテ廉價 大砲鉛筆 大阪 富田開雲堂

世界平和を目指す自主外交の大方針

帝國政府の斷平たる……

非常時局克服決意

【東京特電二日發】帝國政府は左の如き自主外交の大方針に基き世界平和確保を目指し非常時局を克服すべく決意してゐる

一、我國の國際聯盟脱退は來る三月二十七日をもつて效力を發するが聯盟の企圖する國際文化、社會施設などの事業には從來通り協力する方針である

一、南洋委任統治區域は聯盟の創立前五大參戰國の秘密條約に依り最終的にその歸屬を決定したものであるから聯盟より再審議を問はるゝ理由はない

一、日本がワシントン條約の廢止通告をなしたのは公正妥當なる新軍縮條約を締結するためであるから一九三五年中に締約各國が必ず軍縮會議を開催し我が新軍縮案を基礎とする新條約締結に協力することを提唱する

一、對支九國條約については締約各國において再檢討の希望あれば必ずしも反對せぬが、四國條約においては海軍新協定の成否如何に拘らず更に有効期間を十年延期すべきことを主張する

一、對支問題につき新條約を必要とするならば、日支單獨條約を締結する用意あることを關係諸國に約束するに吝かでない

一、締約諸國が支那、アメリカ合衆國、カナダ、中南米、濠洲などにおける國際紛爭の禍因たる移民問題、關税障壁撤廢問題等解決のため國際新協定を締結せんとする場合は欣然應諾する

一、滿洲問題に關しては關係諸國が法律上の正式承認を與へないにしろ其の嚴然たる事實を確認するにおいては日本は善良なる仲介の勞をとる用意があるが苟くも滿洲國を支那領土の延長とする前提は斷乎排撃すると同時にかゝる國家に對して滿洲國は既存條約の義務を繼承履行すべき法理的根據なき事を言明する

また滿洲問題に關する限り絶對に軍縮會議の議題に援用さるゝを許さず

南大將に期待する將來の政局擔當

氣迷へる新黨樹立運動

【東京特電二日發】床次遞相を中心とする新黨樹立運動は、内田鐵相が急進的意向を有するに拘らず、當の遞相及び山崎農相等は自重して容易に動かず且つ準備も何等出來てゐないがいよ〳〵その態度を決する時期は議會解散の場合でまた解散無くて濟めば徐ろに政界の情勢を見定め特に政友會の動向を察して進止を決する模樣である、然るに最近政治的運動として潜行的に擡頭を促進されつゝあるのは軍部の意を迎へて將來の政局に善處せんとする運動であつて秋田清氏の行動は多分に陸軍關係を目標とせるものと解せらるゝ節あり、氏が曾て荒木大將と相謀り政治的局面打開を圖らんとした計畫がその後停頓状態に這入つたが最近軍部の情勢も大分變化し南大將中心で動くことが最も要領を得た方法として認めらるゝに至り暗に宇垣大將擁立を變更して南大將に鞍替へせんとした連中とは別に南大將の政治的將來を觀測してこれに順應する政治的背景を作らんとする向がある、勿論軍部ではかゝる運動に耳を藉さず政治的渦中に引込むものとして極力排斥してゐるが、滿洲において治績を擧げた後の南大將を措いて他に國政の將來を託すべき人物無しとまで云はれてゐる今日、當の南大將は新任匆々迷惑千萬ならんもかゝる運動の兆が既に現れてゐると同時に元老重臣方面でも次期政權の歸趨に關し今日の政治的情勢に鑑みて密かに南大將に期待するところがあると傳へられる、從つて新黨運動は裏面にこれ等の消息を交へた政局の實際に觸れ直に樹立運動を展開するに至らぬ模樣である

地方長官異動

行掛りと人情論を排して 後藤内相近く斷行

【東京特電二日發】後藤内相は人事行政行詰りに因る内務行政沈滯の聲、中央地方を通じて高くなり内相の眞價まで疑はるゝ情勢に鑑み新春早々あらゆる行掛りと人情論を排し懸案の地方長官異動を行ふべく次いで地方長官會議、警察部長會議を招集、改正選擧法の趣旨徹底を期し波瀾を豫想される議會に備へる方針で準備を進めてゐる、人事異動に關する内務首腦部の意向は學校卒業年次などの觀念を棄て人物考査に基く彈力性ある異動を行はんとするもので各方面から注目されてゐる、なほ滿洲先驅事件で辭意表明の金澤群馬縣知事の進退も同時に解決される筈である

新年御宴列席 二日の南司令官

【新京電話】二日午前九時三十分南軍司令官はM・T・C・Yより初の放送をなし日本及び在滿邦人に呼びかけて國民の覺悟を求め、午前十一時より宮廷府に於ける新年の御宴に陪席した

板垣參謀副長

【新京電話】板垣參謀副長は松村大尉同伴二日午前十時發あじあにて新任挨拶のため旅大に向け出發、大連神社、忠靈塔、白玉山に參拜し三日夜ヤマトホテルに旅大官民代表者を招待新任披露を催し四日のあじあにて歸任の豫定である

通郵解決記念撮影 (前列)右より儀我大佐、藤原保明代表、高宗武、金翔鶴氏(後列)右より王通譯、殷同代表、柴山北平武官、支那側通譯

北鐵問題の政治的重大意義

鐵路總局長 宇佐美寬爾

茲に昭和十年並康德二年を迎ふるに當つて滿洲諸般の建設が着々進行しつゝあることを觀るは日滿兩國民にとつて齊しく慶賀の至りである、就中滿洲國々有鐵道は實に日滿共同國防の根幹として又日滿經濟合作の重點を爲すものとして最も期待と希望とを繋がれて居るのであるが、幸ひにして今日迄その建設經營の兩方面とも殆ど豫期以上の成績を擧げることが出來た、特にその事に當る者として欣懷至極の所である。

滿洲建國の前後よりして滿洲國鐵道は劃期的長足の發展を遂げつゝある、京圖線の完成、濱北齊北兩線の全通を始めとして新開線、拉濱線を加へ、熱河では凌源に入り北滿では長濱に伸び、既に本營業を開始した、新線の延長だけでも一千餘粁に及んで居る、而して舊來東北政權の下に於て連絡も統一もなく各箇獨立の形を採つて居た諸鐵道は、今や新設鐵道と共に一元的綜合經營の下に置かれ、國家社會の公器として又全一體としてその能力を發揮することに努めて居る、今更謂ふ迄もないが滿洲國諸鐵道は經濟資源の開拓、國防治安の維持てふ二大重責を荷ふものであつて、この鐵道の健全なる普及發達はやがて滿洲國洋々の前程を卜するに足るものである。

目下北滿鐵道に關する交涉が行はれて居るが、この鐵道をして名實共に滿洲國のものたらしめるのは蓋し當然の事に屬する、昔それはロシア帝國東漸の通路であり、滿洲經略の礎石であつた、現在向三呎の廣軌を採り、露滿共同經營と謂ふ特殊の形態に於て滿洲國鐵道の綜合經營の外に在る、之をして滿洲國のものたらしめることは滿洲國鐵道の綜合經營を完成する事であり、又同時に滿洲國内に存在する蘇聯の政治的勢力乃至野心を排除することであつて、決して單純な問題ではない、現に蘇聯は之を滿洲に於ける最後の政治的足場として、讓渡の提議をさへ、又其の交涉をさへ政治的に最も有利に使はうとして居るのである。

併し北滿鐵道の蘇聯にとつての價値が滿洲事變後甚だしく變化したといふことは蘇聯と雖もよく承知して居る筈である、滿洲國の成立に從つて國防線は著しく移行したのみならず、幾多の新線が或は之に並行し、或は之を横斷した今日、蘇聯が之を軍事的に使はうとしてもそれは不可能である、また經濟的に見てもその收益は漸減の傾向を辿り、嘗ては七、八千萬圓の收入を擧げた時代もあるが今や既にその半ばにも達せず、殊に拉濱線、圖寧線等の建設によつて愈々窮境に陷りつゝある、若し蘇聯が北鐵に據つて從來の如き無謀な政策を行ふならば、一擧之れを壓倒するも滿洲國有鐵道にとつて易々たることであつて、いはゞ國鐵は北鐵活殺の自由を有つてゐる譯であるが、敢て之をしないのは日滿蘇三國の友誼を慮るが故に外ならない、斯く見來るとき、北鐵は軍事的經濟的何れの方面より謂ふも蘇聯にとつては殆ど價値なき鐵道であるが、而もこの鐵道が現在の形に於て存在して居るのは滿蘇紛爭の誘因を殘して置くもので の政治的野心を想像せざるを得ないのである。

飽くまでも北鐵を死守せんとする彼を目して、彼は東洋赤化の野望を捨てた、帝政ロシアの政策を一變して東方侵略の計畫を擲つた、日露戰爭で失つた滿鐵線をもう再び取返さうといふ如き夢も描いては居ない等と誰がいひ得るであらうか、現在の如き關係に於て日蘇及び滿蘇間の眞の平和を誰が期待し得るであらうか、若し眞に蘇聯にして極東の平和を願ふるならば、彼が再びその政策を帝政の昔に還す意圖なしといふ誠意の披瀝としても、北鐵の如き今日を待たずして已に手離して居るべきであると考へる、久しきに亘る讓渡交涉が如何に進展するか、之に對する意見の發表は差控へたいが、その交涉の如何に拘らず滿洲國鐵道の綜合經營は唯時の問題でしかないと私は信じて居る。

"滿洲を語る"座談會 ㊁

治安着々改善され 急激な降下線を辿る匪賊

片倉少佐 舊政權時代の警察機關は馬賊よりも恐れられ、寧ろ馬賊の方が一定の冥加金を徴することにより治安を維持して呉れるといふ皮肉な現象を呈してゐたが、現今の滿洲國巡警は粛正されて民衆の頼るべき警備機關となつてゐる。なほ事變前ならば軍人でも軍服を着ては奥地に入れず、從つて治安状況を傳へられることも少かつたが、昨今では交通開け、多數邦人がどし〳〵奥地に入る關係から治安がどうのかうのと云はれるやうになつたことを忘れてはならぬ。實際は事變前より隔世の感がするほど治安は維持されてゐるのである

遠藤中佐 全くその通りで私が武藤元帥について行つた當時は滿洲國の軍隊は匪賊と太刀打ち出來るだらうかと考へさせられるやうなことがあつたが、今では何處にでも平氣で潜入つてゆける、これは双方の勢力の懸隔が一變したのを物語るものであつて治安は想像以上に改善されてゐる。それでも治安維持がどうのかうのとの話を聞くことがあるのは、片倉少佐も云はれた通り、交通が大變開かれて來たからである。

濱海沿線の如き、もとは全然交通杜絶し軍隊でも僅に傳書鳩により通信する有樣だつたが、昨今は女子供でも旅行してをり匪賊による事故は洵に寥々たるものである。

但し濱の渡頭と同樣、匪賊は警きす、内地でさへ今日なほ時々ギヤングが出る有樣だから、殊にあの廣い國で歷史の古い馬賊が絶對に無くなるとは豫想されない。殊に彼等は職業的であり、それに國境方面では治安を妨害せんとする支那や蘇聯側の使嗾もあるから、現在治安が大體維持されてゐるからといつて絶對に手を緩めるわけにはゆかぬ。

柴田中佐 海軍側について申せば大體河防の航路の安全をはかる任務につき陸軍とも協力して匪賊の討伐に當る程度のものである。滿洲國の江防艦隊があるが、舊政權時代から殘された微力なものであつて日本海軍の手で指導教育してゐるに過ぎない。

小林鐵太郎氏 私の專攻する交通方面から治安の恢復振りを述べると四千キロに上る滿洲國鐵道の最も憂慮される高粱繁茂期即ち七、八、九の三ケ月間における被害状況において一昨年は四百五十件に上つて而も被害大きくその警備費は二百萬以上を使つたが、その後軍隊、警察などで一層警備に意を注がれたのは勿論、沿線各部落でも王道樂土は鐵道建設からといふので鐵道愛護村を組織して活動するといふ風に大いに愛護工作が施された結果、昨年度においては僅か十五件に激減してその警備費はいふに足らぬほどになつた、本年度の統計は未だ入手するに至らぬが一層良化してゐるであらう

眞方大尉 滿洲國の匪賊は統計的に見ても昭和七年の二十一萬、同八年の十萬、同九年の四萬といふが如く年々非常に急激なる降下線を辿つてをつて治安が餘程改善せられたことは各先輩の申された通りであるが、私はこれから先今後とも同樣の傾向を以て降下線を續くかについては疑問を有するものである、既に諸官の申された通り大集團をなしてゐる政治匪、職業匪は大體解消して現在では少數のものになつて終つてはゐるが之等は皇軍の威武に屈して一時的に雌伏してゐると見ればならぬ、四千年の歷史を有つ彼等の思想が俄かに一朝に改善せられるとは思はれぬ、即ち現在では正義を維持する正義とこれに併行する精神文化、經濟文化の兩輪たる活動を要するや切である、若しこれを缺いては彼等の匪徒常習の根は永久に續くべく之を我が國より云へば文武の完全なる一致活動を要するや切であると思ふ、即ち現在は文武の區分ではなくして文武合體の前進でなければならぬ、從つて皇軍のみならず我が國の文教、司法、經濟、宗教各方面の方々の活動の天地が彼の地では大なる期待を以て待つてゐるのが現在の情勢であると思ふ

矢野書記官 北鐵讓渡交涉について御話しがあつたが同交涉は目下極秘裡に進められてゐるので專門外の私はよく知らぬ、然し大體の經過は新聞紙上に傳へられてゐる通りだと思ふ、既に一億七千萬圓で買收するといふプリンシプルに對しては双方異存のないところであり、目下行惱んでゐるのは具體的價格決定の細目であり、それも支拂保證と價格決定に對する第三國の介入問題其他一二項のみが未解決であるから遠からず纏まる目安はついてゐるやうに想像される

政治の動向と國民

法學博士 佐々木惣一

(一)

今日我國において革新すべき事柄は頗る多いのであるが、それは政治の力に依る外はない。然るにその政治が恰も吾々國民一般から殆ど見離されてゐる、これは從來政治が腐敗の状況に滿ちてゐることから生ずるのであつて一應は無理からぬことゝ思はれる、併しよくその根本に遡つて考へて見ると政治に對する吾々國民自身の態度について反省すべきことがあるのである。

要するにいはう、吾々國民は政治に對して傍觀者たるの態度を執つてゐる、從つて吾々國民の政治に對する考察は主として他を批判するといふ態度に陷つてゐる。これが誤りである、今日の政治においては吾々國民は決して單なる傍觀者ではないのであつて、その當事者であるのである、故に政治の見方についても、自ら批判し自ら責めるといふことを根本見地とすべきものであつて、徒らに他を批判し他を責めるといふことを根本見地としてはならないのである、今日國民一般が政治を見離してゐるといふことは結局政治家を非難し政治家に信頼しないといふことである、然し顧つて考へて見ると、かゝる政治家が社會に政治家として活動してゐるのは何故であるか、それは全く吾々國民がかゝる政治家に存在の餘地を與へてゐるからである、ことにいふまでもなく、吾々國民は選擧に依つて政治家の出現を促してゐるのであるから、結局吾々國民が政治家をつくつてゐることになる、國民は一方において政治家の態度を非難しつゝ而も他方においてその非難する政治家をつくる、かゝることは實に奇妙な現象であるがこれは全く吾々國民が自から反省し自ら責むることを爲さずして徒らに他を批判し他を責むるといふ態度に陷つてゐるから生ずるのである。

(二)

國民がかくの如く政治に冷淡であることは、今日に始まつたのではなく近年の著るしい傾向である、かゝる傾向の生じたのは政治が吾々國民の生活に如何なる關係を有するかといふことを理解せざる結果である。

今日においては吾々國民の生活は實に總て政治に依つて規定されて行く、吾々國民は自己の生活の内容を自分自身で決定してゐるかの如く考へてゐるけれども吾々國民の生活の内容は實は國家の制度に依つて規定されてゐる。手近いことを言へば例へば米價の如きも米穀統制法といふ法律に依つてその大體の標準が定められてゐる、鹽にしても、煙草にしても、國家の專賣制度に從つてその價格が定められてゐる、吾々の生活を表象するものとして古來米鹽の貴さいふ言葉が用ひられてゐるが、その米鹽の價格が實は國家に依つて定められてゐるのである、その外種々の租税といふものが皆吾々の生活上必要なる物資の價格に影響を及ぼすことはいふまでもない、要するに吾々の生活の内容は知らず識らずの間に政治に依つて規定されてゐる、然るに國民は政治といへば只所謂政治家の行動のみを考へてそれが自己の生活の内容を定める作用であるといふことを考へない、このことが吾々國民をして政治に冷淡ならしむる所の最も大なる原因である、吾々國民が眞によく政治の意義を理解して政治に依つて吾々の生活が規定されてゐるものである、といふことを悟るならば決して政治に冷淡ではあり得ないのである、然れば先づ國民をして政治と國民の生活との關係をよく理解せしむることが必要とするのである。

かくの如く吾々の生活に最も密接なる關係を有する政治は一體何人がこれを行ふのであるか、形の上においては政府や議會などいふ政治機關があつてそれによつて政治が行はれてゐるのであるけれども、議會を構成する議員をつくる所のものはいふまでもなく國民である、その議會の意思を尊重して政府が種々の施設を爲す、然れば國民は直接に政治の衝に當るものではないけれども實質上結局において政治を行つてゐるのである、既に此の如く一方において政治が吾々國民の生活と密接の關係があるものであり、他方においてその政治は結局國民が自ら行ふものであるとすれば國民は決して政治に冷淡になり得ざる筈である、故に今日國民が政治に冷淡であるといふことは國民自身十分に反省してゐると云へない、吾々は徒らに政治家の行動を責めることを以て得意とすべきではない、自ら爲すべきことを爲してゐないといふ所に着眼し反省すべきものである。

(三)

然らば國民が政治について反省を爲すといふことは如何にしたら宜いのであるか、之に付いては種々の方面から考へられるけれども茲に詳しく論じ得ない、只一つ最も根本的なる事柄を云へば外ではない、結局國民が選擧を眞面目に行へばよいのである、政治の改革に關して種々の意見があり種々の方面における改革の必要があるが實際效果を擧げるといふ點よりすれば、改革を要すべき諸種の事柄の中で最も主力を注ぐべき何等かの一點を定めて取敢ずその一點に向つて革正の努力を集中することが必要とする、然らずんば徒らに議論することに終つてしまつて、その效果が擧がり難いと思ふ、この點よりすれば今日の實情においては政治の革新は選擧を公正にするといふことより着手すべきものである、それ故に現状においては選擧革正といふことに先づ以て努力を向けるといふ事が必要である

その選擧の革正といふのも單に所謂選擧の理論とか選擧の制度などについての知識を與へるといふことでは無くして現實によい選擧を行ふといふことより始めなくてはならない、それには兎にも角にも次に來る選擧において如何にしてこれを革正するかといふことに努力の中心を置いて吾々國民が一般に盡力すべきである、今期議會の通常議會において解散があれば固より直に選擧を行ふことになり、解散がないにしても一年後には選擧を行ふの必要がある、選擧は吾々國民の目前に投げつけられてゐる、それは吾々に興へられてゐる課題である、吾々は兎にも角にもこの目前の課題を正しく解決するといふことより着手すべきものである、その努力の方法についても勿論工夫を要するがそれは今は省略する。

大觀小觀

問題の一九三五年がいよ〳〵到來した▲此の年は日本のみが多難期に際會してゐるのではない、歐米諸國こそ重大危機に直面してゐる▲國家は活物であり歷史は流動して已まぬ▲古い紙片に條約の名を附したものによつていつまでも不公正、不自然な狀態を持續することは竟に不可能である▲しかも現狀維持に目先の偸安を欲する諸國は此の不可能を強行せんとして所謂世界不安を自ら展開しつゝある▲歐洲こそ此の抗爭の深刻な舞臺であつて禍亂の火藥庫がいつ點火さるゝか測り知れない▲東洋の不安は西人の常套語であるが、此の地帶の保全に全責任を負ふ日本に委せて置けば日本の實力は何の不安も齎さない筈だ▲歐米諸國にして先づ足下の平和確保を急とせしむることが我國の公明なる意圖である▲既に我國の決意は儼乎として定まり不撓不屈一路邁進すれば乃ち足る▲要するに危機は日本の上になくして日本を排撃せんとする歐米現狀維持派諸國の中にある

賀正

大連著名商店

キリンビール 赤玉ポートワイン ヒゲタ醤油
合名會社 肥塚商店大連支店
大連市大山通六九・電(2)七一〇三六

大連市伊勢町一〇六
合資會社 田中蓄音器店
電話(2)七八四二番

客年中は格別の御高庇を蒙り有難く御禮申上候
本年も倍舊の御厚情御引立を只管御願ひ申上候
昭和十年正月
滿壽屋モスリン店
大連市磐城町二十八

大連市櫻町八〇
滿洲牧場本店 電代(2)六一三四
同 聖德街支店 電(四)九二三四
同 桃源臺支店 電(2)八八四九

信濃町 河又商店 電話(二)四四六六・(二)四九三〇番
醤油 味噌 河又
沙河口 河又支店 電話(2)九五〇八番

新春を迎へ御芽出度う御座います、昨年中は格別の御愛顧賜り難有厚く御禮申ます、本年も倍舊の御引立を御願致します
中山婦人服店
大連市連鎖街銀座 電話(2)二二四九番

舊年中は格別の御愛顧を蒙り御厚禮申上候
本年も尚ほ宜敷御引立の程御願申上候
樂器蓄音器商 一木洋行
大連市西通七八
哈爾濱石頭道街二五
上海北四川路八六八號
店主 一木敏之
電話(2)二四六七番

大連著名商店

日本國民に呼かく
重大な國際政局に直面して 米國三方面代表意見

本年の軍縮本會議の開催を前に國際政局が重大な轉機に直面してゐる際、米國の輿論を叩くことは決して無意義ではあるまい、エドワード・ハウス大佐は人も知る故ウィルソン大統領の懐刀で今を時めく民主黨の長老、ウイリアム・プラット提督は前軍令部長として所謂輪形陣を基調とする濠洋作戰の立案者、ニコラス・バトラー氏はコロムビヤ大學總長、與黨と海軍と言論界と三方面を代表する忌憚なき意見を聽く

日米親善は容易
エドワード・M・ハウス大佐

新年に當り米國民を代表し、日本國民にメッセーヂを送るのは余の最も欣幸とする所である、日米兩國の間には多年の友誼が存在する識見高邁な兩國の指導者達が、常にこの事實を銘記し兩國民を更に緊密に結合するやう出來るだけの盡瘁を惜まざらんことを希望して已まない、今や全世界には新な時代が黎明を告げ、過去において帝國建設のため合法視された手法も現代の進んだ輿論の容認を受け得ぬことゝなつた、かゝる現狀において日米兩國の親善促進を圖る事は極めて容易なことゝ言はねばならぬ

日米互に不諒解
ウイリアム・Y・プラット提督

新年を迎へるに當り、余は率直且つ正直に余の所見を日本國民に告げよう、貴國が今や國際政局に於て難局に立つて居ることは余の深く遺憾とする所だ、然し禍根は恐らく次の點に潜んで居やう、我々は諸君の心理を些かも諒解せず、諸君も亦表面だけはよく我々を知つてゐるが、完全に我々の心理を把握するには至つて居ない、米國人は何等か底意を抱いて居ると諸君は思つて居る、米國人は故意に日本を不利な地位に陷いれようとして居ると諸君は考へる、我々は又日本がその主張を押し通すのに餘りに侵略的であり、且つ餘りに軍國主義的だと思ふ、兩國民は一番の親友となるべき筈だが、お互に誤解し合つて居るといふことは人生に對する何たる悲しむべき評釋であらう

二

諸君は忠勇且つ教養高い民族だ我々は自由主義的な寛宏且つ非侵略的な人民だ、多年人生の行路を辿つて來た余は個人にとつても國民にとつても平和と心境の清澄さが戰爭と騷然たる氣分に比し、遙かに勝つて居ることをはつきり悟るに至つた、來るべき新年が平和と善意とを日米兩國民に齎らすことを希望する

兩國民に齎らすことを希望する日英米三國の海軍力に就いては、余は依然として五・五・三の比率が妥當だと信ずる、世界の平和を確保する上においてこの比率こそ最善の機構だと思惟するから、この比率が廢棄されるのを好まない然るに諸君は右比率を好まず、諸君は右比率を公正と思はぬから廢棄して了つた、よろしいこの點についても諸君が我々と同じ權利を持つてゐる、國防上必要とあれば如何なる手段を講じようとも全く諸君の權利だ、現行海軍條約の失效後如何なる艦型裝備の艦艇を整備するかは全く諸君の自由だ、然し若し諸君が率直に

これが自分の案だ、この案は正しいと思ふ、自分はこれでやつて行かうと思ふ、然し自分は英米兩國を信頼する、諸君は多くとも少くとも自分の必要に應ずるだけ卽ち適當と思ふだけ艦艇を建造出來るのだ

といへば紛議に陷む刺は大半取り除かれて了ふと余は思ふ、かくいふと如何にも馬鹿げたことの樣に考へられやう、或はさうかも知れない然しこの自由主義の精神が導入されるならば紛爭は間も無くトランプで作つた家のやうに解消し去らう、我々がお互に理解せず且つ細目の論爭に沒頭し續ける限りお互に到底理解し合へない、我々が日米兩國の間に平和を維持しようと望んで居り、お互に良い友達であり且つ友達となれぬ眞の理由は何處にも無いといふ一大事實の前に一切の細目は何等の意義をも持たぬ

日本の重大危機
ニコラス・マレー・バーラー

日本國民は米國における知己から率直な隔意無い意見を聞きたがつて居るといふ、余はかゝる知己の一人たることを自負する、過去二世代の間に日本國民が文明並に文明に依存する藝術の領域において遂成した進展は近代世界の一驚異である、日本國民は二十世紀における各國民の最前列を占めその進歩とその政策とその國家的理想とは全世界的な興味と全世界的な關心の焦點となつた、然し余の判斷によれば日本政府の政策により日本國民が寔に見事にも贏ち得た偉大な名聲は今や最も重大な危險に曝されるに至つた、この事實を言明しなかつたら、余は單に率直を缺くのみならず誠實をも缺くとの譏を免れまい

迅速に增大して行く人口の爲めに食糧を供給するには武力に訴へ、新領土を征服する他はないといふかも知れぬが、かゝる見解は當らない、食糧問題は他國政府並に他國民との平和的友誼的な協調折衝で解決される筈だ何人も日本の繁榮を希つて居る何人も日本國民の生活標準が着實迅速に上つて行くのを望んでゐる、何人も日本がその生產品のために新市場を發見し增大して行く人口のために充分食糧その他の供給品を見出さんことを望む然し此等の事柄を武力に依つて達成しやうとする國民に對しては文明世界は背を向けるだらう武力手段に依つて國策を遂行する時代は最早過ぎ去つた

他國政府殊に英米佛三國が過去に爲した所を指摘しても武力政策を支持する充分の理由とはならぬ、二ケ年ばかり以前に一日本人論客が「米國は教へ、日本は學ぶ」といふ見出しで米國の月刊雜誌に論文を掲げた、當時日本政府が遂行して居たと同じ政策を米國政府が嘗てパナマ運河、ドミニカ共和國ハイチ、キウバ、布哇、フイリツピン群島等に關して遂行したといふのだ、假りにこの議論が巧妙を極めて居るとしても現代の文明國民が他の文明國民の過去における失策や誤謬を模倣してかまはぬと主張することは出來ない

更に國家の體面が陸軍乃至海軍力に依て測定されるといふのは子供の理窟で大人の議論ではない、日本は各國と相携へて國家の具としての戰爭を否定且つ嚴肅に抛棄した、然らば日本政府が新に巨大な國費を支出して、不斷に且つ公然と陸軍裝備を整へ且つあらゆる機會に海軍兵力の增大を要求して居るのは如何なる意圖に出たのか日本が海軍々備に就て均等を確保する捷徑は、一切の軍備を制限して世界の通商路警備の爲めに國際警察力を設置するに止める提案に協力することだ、海軍軍備が最低限度に達すれば、何れの國家も均等を確保出來やうすべての國家が戰爭の準備を進めて居る時、海軍軍備の均等を達成することは日本にとり絕對不可能なことだ

正義の具現
滿洲國建國は世界的聖業

奉天特務機關長　土肥原賢二

事變以來の第四年滿洲建國三周年のこの新春は同時に所謂一九三五、六年に踏みかけた第一歩である、此機會に私は滿洲國建國の本義を再確認して互に相戒め、神武天皇以來のわが皇國精神の世界的伸張の聖業に邁進する覺悟を新にしたい、滿洲國建國の大方針は改めて喋々する迄もなく、昭和八年三月廿七日日本が國際聯盟を脫退せるとき渙發せられた詔勅の御趣旨により明かである、王道を根とし民族協和を基礎とする獨立國滿洲國を一日も速かに完成せしめ、此の我が正義の具現を以て隣國中華民國人を首肯贊同せざるを得ざらしめた時、始めて日滿支の結合が成る。

其處に東洋人の東洋が實現するに至らば歐米も亦反省して始めて東洋の平和と世界の和平が確立する。

卽ち此の我等の手による正義の推進、皇道精神の進出のみが世界人類を眞に安樂、幸福ならしむる唯一無二の鍵である、此の信念、此の正義觀のみが日本帝國を萬世ゆるぎ無き盤石の上に置くと共に全人類をも永遠の平和に誘く原動力である。

此の意味に於いて滿洲國建國の本義は實に世界的なる聖業である人類が嘗て試みしことなき此の大事業を遂行する爲には我等は同時に人類が未だ嘗て經驗したことなき大難關を乘り切らねばならない

如何なる難關にせよ、正義の爲且つ全人類の爲に起つことは我等日本人に與へられた大いな使命である之を完全に果し得るものは古今東西の精神物質兩面最高度文化を悉く渾然と融合同化して己れの力とせる我等大和民族以外には絕對に無いと斷ずるものである。

されど任の重きを想ふとき我等は擧國上下已を空しうして靜慮する要がある、日本が正しく大きく全人類と共に生きるこの聖業の途上各界人士共先づ何よりも大乘的國民となる決意を常住把持して居らねばならぬ。

それには事に當つて常に眼前の小利害に惑はされてはならぬ、全民族を指導する大國民の襟度を修養向上せねばならぬ

此の二點は實に缺くべからざる條件である、事變以來尊き犧牲となりし幾多軍官民諸士の諸靈位に對し厚き感謝を捧ぐると共に我等は新春に際し一層互に相戒めて滿洲國建國の本義を再確認し新なる大勇を振起して皇國の爲め御奉公の誠を致さんことを誓ふものである。

經濟提携主動力
滿鐵副總裁　八田嘉明

謹んで惟みますに我等聖天子在ます東天より燦然たる光り輝く乾坤一擲の春仰いで帝德の愈々昭かなるを拜しまするは普く御稜威の下に城實内の民と共に寔に慶祝に堪へぬ次第であります。

顧みますれば、世界的な不安恐慌の裡に在りまして新國家王道政治の具現愈々しろけく陽春三月列國の環視嚴暗の下、榮ある帝制の實施は宇内に宣布せられたのでありまして、茲に萬代不易の國是愈々鞏固に新帝國の進運日に明らけき秋に當りまして、畏くも聖上御名代特使宮殿下御訪滿の英姿を此の地に仰ぎ奉り、在滿三十萬同胞は友邦民衆と共に未曾有の感激裡に奉迎申したのであります、斯く致しまして日滿兩國は永劫渝らざる鐵金の交を堅くし、兩國民の繁榮進展は嘗て見ざる飛躍を遂げたのであります

顧ふに此の間日滿經濟統建設の主動力として、特又滿洲國產業建設の樞軸として兩國民の絕大なる支援の下に挺身奮鬪幾多の犧牲を拂ひ、尊き人柱を築きつゝ光輝ある建設工作を遂行し來つた私共として誠に感慨無量なるものあると共に、茲に廻り來つた新しき歲を展望致しますれば、自ら裡に希望の澎湃たるものがあります、併しながら世界現下の情勢は日滿兩國を繞つて必ずしも樂觀すべからずして其の前途容易に豫め忖度を許さぬもの在るを覺悟せねばなりません、されば昭和十年に於ける私共の責務は一に懸つて斯かる重大時局を突破して之に善處し眞に兩國繁榮の基礎を確立するに存すると信ずるのであります、私共は尊き先輩の遺業を繼承して其の重大なる使命を體し只管に大滿鐵の下日滿兩國經濟を結ぶ楔機として將又其の主動力として益々精進しなければならぬのであります

榮ある歲首に當り今年も亦多難を克服して來るべき兩國民の多幸なる發展を翹望しつゝ、此の光輝ある大業を再確認して全社員協力一致其の成功を期する次第であります

政黨再建の秋
永井柳太郎

一

黨派の弊害が極端となつたことは爭はれぬ。その弊害は、唯に中央及び地方の立法部のみならず行政部内にも浸潤し、官公吏の進拔するにも、國務の都合より黨派の都合を主とするに至つた。裁判官でさへも、時に或は黨派の感情を顧慮することの無くして、その職務を盡すことの如何に困難なるかを經驗せざるを得ざるに至つた。一世の人心を動搖せしむる疑獄事件も屢々起つた。かくして中央及び地方に於ける議會の精神的水準は次第に降下し、議會及び議會の議事に對する國民の感興又は感激も日を逐うて減退しつゝある。玆に於て、善良なる人は、議員、殊に黨員たることを避けんとする傾向を生じ、惡貨は良貨を驅逐するといふ經濟界におけるグレシアムの法則がそのまゝ政界に適用さるゝ珍現象が起つた。政黨が猛然たる國民の反擊を買つて、時に政黨の存在を否定せんとする議論が行はるゝに至つたのも決して偶然ではない。

二

然し國家が連綿として歷史的生存をなして行くには、政黨の發生は、止むべからざる必須的現象である。組織なき群衆は、系統ある活動を爲すことが出來ない。偶然に落ち合つた多數者に依る集會に列席したものは、如何にこれ等の集會が合議體として無能力であるかを實見するであらう。その初め各自各種の意見を吐露し、互に議論を鬪はしても、何等決定に至るところなく、結局一騎士が有力なる煽動演說によつて衆人を誘引するか、若しくは少數の人が巧妙なる誘引を以つて群衆を誘導するかに由り、不完全なりとも兎も角會議を纏め、一場の決議を決し、役員選舉をも行ふことを得て、その會全體、若しくはその會の多數者の意思を表示するけれども、而もこれ等の集會が、明日更に會議を開き、更に何人かゞ前日と異る手段を以つて群衆を誘引することあらば、これ亦多數の贊成を得て、前日と全然異る決議を爲すことも不可能ではない。議會に於ても、若し政黨がなく、個々の議員が勝手に贊否を決することになれば、大臣は法案の運命を確むる術なく政局の不安は絕えざるのみならず其間に議員の贊否を誘惑、買收、强制せんとする各種の運動は猖獗に行はれ、議會政治の腐敗は一層甚だしきに至るであらう。

群衆は黨派の組織によつて、始めて混沌たる集團より、組織あり統制あり、且討論決議の能力ある政治的存在となり得るのである。從つて黨派は群衆が行動能力者たらんがために自然的に發生する必至的組織である。故に政黨は人民中に存在する總ての活力を發現せしめ、總ての利害を代表して主張せしめ、これに由つて以つて國家全體の健全なる意思表示を確保すべき手段である。人民の公的生活は、事實に於て、政黨に據るに非ざれば寧ろ不可能といはなければならぬ。

政黨の慣弊を痛憤するの餘り、遽に專制政治の主張を爲すものがある。然し專制政治の下に於ても國民の思想、感情、欲求、希望が共通でない限り、反對黨の發生は必然的である。唯それが政府の壓迫を恐れて表面化しないから、前段に於て述べたるが如き黨爭を見ることがないのである。加ふるに專制政治は、一種の暴壓の變形であるから、久しきに亘つて實行せらるゝに於ては、國民が全體的麻痺の狀態に陷るか、その暴壓に堪へざる者が暗殺其他非常手段によつて、その暴壓より免れんとするか孰れかの變態的現象が發生するに相違ない。その結果國民生活の健全且活潑なる發達は不可能となる從つて假りに專制政治を實現するとしても、決して政黨政治に代るべき好結果を期待することは出來ない。それは世界の歷史が實證する。

三

旣に政黨の存在理由及び存在價値にして明白であり、國政運用の一機關として否定し得ざる自然發生的勢力であるとすれば、次の問題は、黨派の慣弊を如何に清算するかになければならない。國民的非難を蒙るが如き愚劣なる政爭を倫理化して、公黨の眞面目とその責任とに徹底せる純眞なる黨爭を實現するに努力しなければならぬ同時に吾人は黨費公募選舉公營の精神を全國民の間に擴充し、公黨の公事は公費によつて支辨するの原則を確立しなければならぬ。政黨が大衆の生活を顧みず、屢々財閥のために計るの非難を蒙り、社會正義の擁護者たるべき地位を以て却て私益追求の爲めの罪惡事件に連坐するの不眉を敢てするは、その莫大なる黨費を大衆の支持に求むることなく、一部財閥との結託によつて捻出せんとするがためである。吾人は、邦家眼前の危局のため速かに議會及び政黨を再建して新日本建設に邁進しなくてはならぬ。

然し政黨が精神上並びに物質上全國民の支持を受けんと欲すれば公黨として新なる指導精神を確立しなければならぬ。卽ち全體的積極的の大勢力を提げて、政黨自ら更生するの決意を天下に示さなければならぬ。政黨は、政黨發生の必然性に溯つて靜かに自己を再吟味し、區々たる國内鬪爭を清算し暗雲低迷せる四海の展望に奮ひ起たねばならぬ。吾人は一切の階級的鬪爭に超越し、全體としての日本を更生せしむるがため、日本の有する總ての資本力及び勞動力を動員して、國家の統制、指導及び保護の下に新經濟組織を建設し、生產の增大、分配の公正によつて、全國民の生活力を擴大强化し、以てこの國家的大難局を打解するに努力せねばならぬ。此の如くして新日本建設の動力たり得る政黨のみが國民大衆の支持を受けて、眞の公黨として更生し得るのである。

四

現代を流れてゐる最も大きな二つの思潮は、共產主義の思潮と反共產主義の思潮であらう。いふまでもなく、共產主義はインターナショナリズムに立脚した思潮であるから、この共產主義に對抗する思想は、ナショナリズムに其の基礎を置く。吾人は旣に資本專制主義經濟組織の缺陷を指摘し、資本家地主等の階級專制に反對した。更に吾人は、それ以上の强烈なる意欲を以つて、無產階級の獨裁を本領とする國際的革命運動に反對せねばならぬ。

現下の非常重大の國難を救ふものは、純正國家主義の見地に立つて、内に經濟統制の新機構を確立し、生產分配の全過程を全國民基礎の上に再建することを目標とし、外に日本國民の全世界に於ける生活權確立をその外交理想として戰ひ得る政黨でなければならぬ。而して政黨がこの見地に立つて國家改造を行はんとすれば、勢ひ政治上、行政上及產業上の全機構に亘り、その根本精神に於て、國際的ではなく國家的であり、階級的ではなく全公衆的である徹底的建設的改革を斷行する決意がなくてはならぬ。それは、明確に國家的立場に立つて、日本の全產業、日本の全國民生活を大膽大規模に整理統制する爲めに、强大なる政治力を獲得せんとする劃一的なる目的をもち、その目的の下に邁進するかゝる國家主義大衆黨の出現のみが日本の受けつゝある客觀的重壓を克服し得べく、又議會及政黨の威信に關する問題に就ても、その根本的解決者であり得るのである。

ラヂオ　四日

大連（JQAK 六五〇KC）

午前の部

六・三〇（東京）明治天皇御製謹話、宮中顧問官海軍中將子爵小笠原長生
七・〇〇 各地氣溫通報、ラヂオ體操
八・三〇（東京）經濟市況
九・四〇 經濟市況
一〇・二〇 經濟市況
一〇・四〇 經濟市況、公設市場値段

午後の部

一・〇〇（新京）滿洲音樂
一・二〇（新京）ニュース（滿語）
二・五〇（東京）經濟市況
五・〇〇（東京）子供の時間＝お話「お正月のお遊び（二つ三つ）」子供のテキスト編輯部 ◇コドモノシンブン
六・三〇（東京）講談「三方目出鯛」大島伯鶴
七・〇五（名古屋）新内「關取千兩幟」（稻川内の段）富士松春太夫
七・三三（東京）小唄（一）元日や（二）めぐる日（三）梅一輪（四）雲はしんく（五）竹は八幡（六）あさぎ染（七）破魔弓（唄）春日とよ（三味線）春日とよ晴（替手）春日とよ福
七・五〇（東京）室内樂、ピアノ三重奏曲、ニ短調、作品三二、アレンスキー作曲、第一樂章アレグロ・モデラート、第二樂章スケルツォ、第三樂章哀歌、第四樂章終曲＝シロタ・トリオ（ピアノ）レオ・シロタ（ヴァイオリン）ロバート・ポラック（チエロ）ハインリッヒ・ウェルクマイスター
八・三〇（東京）時報
八・三一 長唄、勸題（池邊鶴）上中和享作詞、杵屋六島榮作曲 杵屋六島榮社中（唄）多摩八、角丸、花奴、（三味線）登喜次、笑香、榮次、須磨奴、（小鼓）雛子（太鼓）惠美子、登久榮、靜香、登久八

五日　新京百キロ（MTCY五六〇KC）（午後六時—同十時迄）

六・二〇 氣象通報、番組豫告（日語）
六・三〇（大阪）ピアノ二重奏—一、組曲＝作品十五番アレンスキー作曲（イ）ロマンス（ロ）ワルツ（ハ）ポロネーズ 二、ロンド作品七十三番ショパン作曲＝荒木和子、土川正浩

七・〇〇（東京）歡澤 一、松壽千年 二、春は賑ふ 三、月夜からす（唄）歡澤芝金（三味線）歡澤芝梅 歡澤芝香
七・二〇（東京）箏曲 一、千里梅曲（箏）萩岡松韻、萩岡松柯（三絃）高野松峰 二、新年松（箏）萩岡松柯、鹽澤萩音（三絃）萩岡松韻
七・五〇（大阪）少女歌劇「メキシコの薔薇」佐藤邦夫作、寶塚少女歌劇星組生徒、伴奏寶塚オーケストラ、指揮高木和夫
八・三〇（東京）時報、ニュース
八・四〇 氣象通報、番組豫告（滿語）
八・四五 國民の時間「年頭所感」（滿語）財政部大臣熙洽（代理）
九・一五（奉天）演藝（滿語）

新京（MTCY 五七〇KC）

午前の部

六・三〇（東京）「明治天皇御製謹話」文學博士高瀨武次郎
八・三〇（大阪）子供の時間—お話「四條畷神社に詣でゝ」大阪女子專門學校長平林治德（合唱）四條畷コドモ會

午後の部

一一・五〇 新年こども大會▲第一部（東京市日比谷公會堂より中繼）司會闕屋五十二 一、御挨拶＝日本放送協會業務局長中山龍次 二、子供のオーケストラー（イ）年の始（ロ）證城寺の狸囃子（ハ）ギャロップ（ニ）ワルツ＝川南兒童オーケストラ、指揮小林信一郎、角野道子、指揮石川誠一、橘英之助 三、童話「和氣清麿を護つた猪」久留米武彦 四、ヴァイオリン獨奏（イ）メヌエット舞曲（ロ）トロイメライ（ハ）金婚式＝藤田尙、ピアノ伴奏宮原淳子 五、獨唱（イ）日の丸の旗（ロ）お餅つき（ハ）キユーピーさん（ニ）蛙の夜まはり＝松本俊枝 伴奏アルメリア五重奏團 六、童話劇「雪崩」勝本信司脚色、木馬童話劇研究會、伊奈指揮福田宗吉▲第二部（大阪市中之島中央公會堂より中繼）一、狂言「福の神」（茂山良介）參詣人（茂山七五三、茂山政次）二、童謠「バンザイ日本」北村壽夫作詞、BKコドモサークル、伴奏色、大阪ラヂオオーケストラ、合唱早苗會兒童、舞踊島田兒童舞踊研究所兒童
三・二〇 落語と音曲 一、花魁の文＝曙一平 二、音曲＝曙若千代
五・〇〇（東京）子供の時間＝獨唱「てれつくお猿」外六曲＝望月誠、伴奏若草管絃樂團
五・二〇（東京）コドモの新聞＝闕屋五十二

謹賀新年
大連市常盤橋
滿洲電業株式會社大連支社

黑河省長 鍾毓
總務廳長 成澤直亮
民政廳長 許紹志
警務廳長 大園長喜

滿洲石油株式會社
副理事長 艾廻芳
新京富士町五ノ六

滿洲統計協會
新京東六馬路

大連西公園町
中央國旗店
店主 松山正宗

謹賀新年
田上齒科醫院
田上喜也
大連市播磨町五五
電話本（２）九三六〇番

永原小兒科醫院
大連南山麓柳町二三（共營住宅電車停留所前）
電二・七九八七番

同和自動車工業會社
理事長 谷田繁太郎
專務理事 大屋敷正平
常務理事 佐久間章

奉天市政公署
荒井綠
相原伊三治
福山哲四郎
大木謙吉
渡邊三朗
眞田文門
熊野久作

小崗子料理店合組事務所
大連市平和臺六一
電話（３）一三三六番

キツネ顏付類
博物標本 模型製作
名倉製作所
大連榮町十四
電三二九九〇

性病 皮膚病 專門
濟生医院
院長 鳴尾直人
大連市三河町二
電二・七八六七

新春の映畫界を斷然おさえ湧き返る激讃に包まれて連日連夜それはもう凄い程の大入滿員で御座います
愈々明日より御家族お揃ひで樂しめる松竹の二大トーキーとメトロの日本版爆笑篇の公開
これ以上の贅澤な番組は大連では一寸ないです！若旦那日本晴れとそれに下加茂昭和十年度最大のスペクタル映畫長二郎・好太郎共演俠客曾我
四日より六日までの中央映畫館

四日封切 當館獨專 晝夜三回興行 日活名畫四本立
原作村上浪六・雜誌（富士）連載 すてうり 勘兵衛 阪東勝太郎主演 清瀨英次郎監督 花井蘭子 寺島貢 共演
原作監督志波西果 平手造酒 大河内傳次郎主演 梅村蓉子・葛木香一 共演
原作岩井紫波・監督稻垣浩 三日月笹穗切り 片岡千惠藏主演 柳原歲子・瀨川路三郎 共演
杉狂兒・關時男主演 子供萬歲 星ひかる・宗春太郎共演
正午迄の入場の御方に限 小人廿錢 大人卅錢
帝國館

謹賀新年

皇紀2595

齊々哈爾・海拉爾

齊々哈爾

第三軍管區司令部

司令官 張文鑄
參謀長 于治功
參謀處長 王士琇
副官處長 朱鳳陽
軍械處長 范書賢
軍需處長 張達興
軍醫處長 蔡亞民
軍法處長 王光寅
獸醫處長 江執中

龍江省公署

省長 孫其昌
總務廳長 永井四郎
民政廳長 陳紫瀾
警務廳長 赤澤辰三郎
實業廳長 蘆元善
教育廳長 王賓章

(いろは順)

居留民會評議員 池田平八郎
居留民會評議員 濱崎清人
慈惠病院長 堀清
龍江縣長 梁維新
電業會社支店長 大塚良治
居留民會評議員 大貫與十
電報電話局長 韓樂春
居留民會評議員 吉田德治
チチハル領事 内田五郎
國際運輸支店長 山本四郎
龍江縣參事官 近藤清成
警察署長 齋藤孫治
チチハル驛長 清水長策
チチハルホテル支配人 重本曉
居留民會評議員 鈴木縣市郎

チチハル豐恒胡同一號
入江商會
入江吉三

龍江專賣署
署長 李有忱
副署長 井上和記
外職員一同

齊々哈爾日本尋常高等小學校

校長 安崎國衛
訓導 文谷佐助
同 柳川保隆
同 深浦良志
同 中村勇
同 渡邊イス
同 間宮梅子
保姆 松浦フク
同 高山茂子

齊々哈爾料理店組合 (順序不同)

深川　みの家　チチ榮館　七福　湖月　一力　藤榮樓　松の家　一樂　満壽花　桔梗屋　チチハル館　千島

青揚　丸よし　きはらし　ハルピン館　武藏野　萬遊亭　花雪　榮樂　朝日樓　永月館　泰平館　三井館　金剛館

齊々哈爾飲食店組合 (順序不同)

黒猫　紅屋　満福　二樂　第一地球　ロンドン　喜久すし　一富士　コテイ　かごや　第一キング　公園　第一ミス　ライオン　第二地球　精養軒　哈爾一　八千代　サロン春　龍月　松竹

自由軒　菊水　銀丁　梅月　満月　秀の家　第一キング　式島　太陽　第二ミス　日の出　池田パン　靜香すし　峰月　丸義　チチハル館　オキナ　關東食堂　橋内食堂　銀座　鈴蘭

海拉爾

興安北署
省長 凌陞
總務廳長 染安
民政廳長 奇普森額

北警備軍
司令官 烏爾金
參謀長 福齡

市政籌備處
處長 德春
處員一同

特別區市政公所
市長 李相庭
鄉董 孫銘棟

領事 米内山庸夫
署長 白神榮松

興安警察局
局長代理 大山顯一郎
特別科長 春德
海拉爾警察署長 長谷川喜一

海拉爾居留民會
民會長 鈴木謙吉
副民會長 堀定四郎
評議員 西山豊次
田口文吾
野澤金太郎
稻益賢之助
島田毅四郎
書記長 西雅雄

國立種馬場
場長 又重武

北警備軍並同顧問部
職員一同

觀象臺長 糸永幸一

帝國在鄉軍人會海拉爾分會
分會長 大山顯一郎
副分會長 長谷川喜一
副分會長 福士杜一

各旗聯合辦事處處長 榮祿

海拉爾稅捐局
局長 陳玉德
三谷繁雄

三河製粉公司
事務所 海拉爾
工場 三河奈拉穆圖
牧場 北鐵西部沿線哈克

滿蒙畜產株式會社
海拉爾出張所
小野碩太
外職員一同

特區警察署
署長 田玉堂
指導官 我滿亥之助
署員 井上喜内

協和會呼倫貝爾事務局
鈴木謙吉

國際運輸株式會社海拉爾出張所

航空會社海拉爾出張所

國道局海拉爾派出所 所員一同

谷田部時次

新街商會長 趙廷梁

舊街商會長 崔玉鳳

志岐土木組出張所

土木請負業 長谷川工務所

南部組 堀定四郎

洋服商 石橋兄弟商會

產業公司

永發魁

日本小學校長 永川幸代

日本醫院 庄司益吉

公醫療養所 今井良平

朝鮮醫院 李雄

滿鐵貿易館 昭和盛

電燈廠

料理店組合

飲食店組合

海拉爾電信電話局 大塚茂樹

海拉爾郵局 岩本由滿

海拉爾タクシー

土木建築請負 森工務所

日滿製粉海拉爾分工場

呼倫ホテル

興安ホテル

興安省
省長 額勒春
參與官 中村撰一
總務廳長 巴金保
民政廳長 志達圖
秘書官 蒼明順
總務科長 吉爾嘎朗
經理科長 阿軍台
地方科長 索米子宏
勸業科長 綽克巴圖爾
文敎科長 墨爾根圖魯
視學 環爾嘎

東警備軍
顧問 泉鐵翁
司令官 綽羅巴圖爾
參謀長 曾根崎清臣

職員一同 (博克圖)

札蘭屯興安警察局
警務科長 内藤三次
職員一同

布特哈旗
旗長 額爾登

海拉爾支局
石橋岱城
販賣人 島田毅四郎

著しく躍進せる交通通信事業

交通部大臣　丁鑑修

滿洲國帝制實施後最初の新年を迎へたことは全國民と共に實に慶祝に堪へない、顧みるに滿洲國は建國日尙淺きにも拘らず內三千萬國民の熱意と、外友邦日本帝國の援助により治安の確立文化の進展產業の開發等において大いに見るべきものあり、殊にも昨年三月一日皇帝位に卽かせられたることは我建國史上に燦として無限の光彩を放つものである、加ふるに六月には畏くも日本帝國皇帝陛下の御名代として秩父宮殿下の御來訪を受け親しく御祝詞を賜りたることは我國無上の光榮にして、誠に感激に堪へない、次いで去る十二月一日よりは地方制度を改正し王道政治の實は依つて以て愈々高まらんとするに至つた、斯かる輝かしき一年を送つて新しき春を迎へ實に無量の感慨に打たれる次第である。

茲に過去一年間の我國交通通信界を回顧すれば、先づ鐵道においては國有鐵道の建設は一昨年に引續き牡丹江佳木斯線外九線を滿鐵に委託したが前年中において工事を完了し滿鐵に委託本營業を開始せるもの六二三粁六、假營業を開始せるもの一七八粁に達して居る、私設鐵道は國有鐵道と相俟つて普及發達せしむるに要あるを以てこれ等企業者に對しては極力助長に努め、昨年中に免許したものは瀋春鐵道外三鐵道何れも年內に工事の完了を見てゐる、これで國有鐵路の總延長四千粁餘、私設鐵路亦四百粁に垂んとして居る、又昨年九月には鐵道及利用者相互の保護の爲鐵道營業法及傳染病患者乘車規程を制定したが私設鐵道の助長普及を計る爲には、目下私設鐵道法及附屬法規の制定審議中である、水運行政は昨年中において建國以來の懸案も大體決した形で、其の中主なものとしては第一に一九一四年以來外國の共同管理下にあつた遼河工程局を接收し營口航政局をしてその事業を引繼がしめたことである。

斯くて同航政局は人員の充實と共に從來の倍額の經費を投じ河口の水深を增大すること三呎、平均千潮時十二呎、滿潮時二十二呎を保つことを得せしめた、なほ上流水路の改修にも鋭意努力しつゝあり、來年度に於ては更に凌渫船二隻を增加して凌渫作業に從事する計畫である、次は對蘇水路協定の締結でその結果黑龍江及烏蘇里江等國境河川に於ける航行を盛ならしめ經濟上將又國防上寄與する所大なるものあり、而して右協定に伴ひ哈爾濱航政局の分局を黑河に設置した。

本邦自動車運輸事業の進展も相當見るべきものあり、昨年中において國營路線の決定せるもの二十二、其の延長八、五九二粁、之は鐵路總局をして經營に當らしむるもので民營路線の特許したるものは二十二、其延長は二、四五一粁五に及んで居る、右の結果昨年末における自動車路線營業を總括すれば國營四〇路線一二、四三八粁三、民營四〇路線三、二〇五粁九合計八〇路線一五、六三四粁である。

次は航空であるが、滿洲航空會社現在の營業路線十線四、五〇〇餘粁に達し之を事業當初に於ける約二、六〇〇粁に比較するときは、實に隔世の感がある、而して航空法及附屬法規は既に其草案成り目下審理中である、以上を以て昨年の我交通界を大觀したのであるが、本年は更に進んで事業の擴張保守法規の整備に專念し以て產業の開發文化の向上治安の確保國防の充實を期せんとするものである。

郵便事業に於ては從來奉天郵政管理局及哈爾濱郵政管理局の二局をして全國の郵便事業を管理せしめて居たが、建國後の慨勢の進展に伴ひ十一月一日より新に首都新京に新京郵政管理局を設置して全國を三つの管轄區域に分け以て事務運行の圓滑と敏捷を期することとした、同時に從來管理局に於て行ひ來りたる現業事務を分離して獨立の郵局とせる外郵局の增設と人員の整備に努めて來たので、その結果現在我國における郵政機關、郵局三二九、代辦所信櫃一、三六六合計一、六九五に達し建國當時の一、五〇〇に比し約一割の增加を見てゐる、本年に於ては更に各種法規の制定、公衆通信サービスの整理改善を行ひ以て通信文化の向上に資せんとするものである。

電信電話事業は一昨年九月以來滿洲電信電話株式會社をして之が經營せしめてゐるが、昨年に於ける主要なる發展の經過を回顧すれば九月一日の滿日國際無線電話の開通、十一月一日の新京百キロ放送の開始等である、本年に於ても文化の向上產業の進展に伴ふ電信電話特に無線通信の重要性增大の趨勢に鑑み關係方面と協力益々斯界の發展に力を致さんとするものである。

又對外通信關係は國內通信制度の整備と共に我國と密接なる關係にある諸外國との通信聯絡の發展に努力することも亦通信事業の使命に鑑み極めて重大なることである、この意に於て昨年は滿日爲替約定を締結して八月一日より之を實施したのであるが、更に日滿郵便約定及び對支通郵通電協定に就ては目下夫々相手國と折衝中にして近く圓滿なる解決と締結を了し最も密接なる對日、支方面の通信界に一大進展を齎さんとするものである。

最後に日支兩國以外の諸外國との通信關係に於ても我國の郵政に對し各國は近時技術的問題として之を承認するの氣運にあり、本年度に於ては更に一歩を進めて世界平和の確保世界文化の向上に一大功献を齎すべく萬國郵便聯合加盟諸外國との郵便約定締結の實現に向つて邁進せんとするものである。

民之喉舌

速於置郵　馮涵清題

工匠の必要

馮涵清

光陰矢の如く、歲序屢々更まる、吾滿洲帝國の康德元年は普天同慶中に開始せられたり、この一年の初めに當り萬象更新の際吾人誰か所感なからん、吾人司法部に奉職するものは司法範圍の人材問題、及司法設備の改善等に就き數言を略述せん、司法を辦理するは猶樓房を建築するが如し、司法を辦理する人材は猶樓房を建築する工匠の如し、工匠不良なれば樓房は如何にして輪奐の美を得ん、人材缺乏すれば司法部は完善の明効を收め難し、其の理至顯にして贅言を要せず、本部は此に鑑みるあり、依て昨年法校を設立し日滿法學の名家を招聘して敎授を擔任せしむ以て英材を養成し更に試驗の候補を召集し部に來り講習せしめ以て法學の學識を更に增進せしむ、又刑務官の講習生を召集し以て監獄の改善を促進せしむ、又日本人の參事官數名を聘用し以て各種法令を審查制作せしむ、此れ司法部の人材に關する感想なり、又司法を改善するは精神を以て重要とすれど、然れ共又其の外觀を壯麗ならしむるため形式も亦改良するを要す、故に本年より本部廳舍及新京各級法院、檢察廳々舍、及監獄の新築を開始せんとす、豫算既に作成濟なれば春暖解氷の頃を以て起工する豫定なり、將來建築完成せば此の莊嚴富麗なる廳舍は單に外觀の壯麗なるのみならず、人民の司法機關に對する敬仰の觀念を增進するものなり、又舊法は多く不適當なれば、今年新法を制定施行せんとす、これ司法改善に關する感想なり、以上記述せることは既往に於て辦理したることと及せんとする各事なり、吾人司法の重任を負ふもの自ら奮勉を以て最後の良果を期せんことを、倘希くば本國及び隣邦朝野の名賢の口角春風を惜まんことを、時に指導を加へらるれば是れ幸とする所なり。

國軍日に起色

張景惠

駒光逝き易く、歲月流るゝが如し、我滿洲帝國、永垂不朽の康德元年、旣に過去れり、想念胸中に往來し萬感交々至る、顧思、桑梓に服すること四十年に垂んとす、國勢民生の隆替を痛み、內憂外患の隱憂を啓く、幸ひに九・一八事變後國人奮勵圖存、友邦悲憫を是れ抱く、天の時、人の事兩相輳き應じ、遂に滿洲國をして運に應じて生れしむ、竊に太平を安享せん事を願ふ、餘生幸あり、乃ち乏しきを軍政に承け、失墜を時に虞ふ大同二年間、草々として人を勞す自ら問ふ、功は過を補はず、昨春三月わが皇帝陛下、應天順人、大寶に登極せらるゝに逢ふ、此れより全國の軍隊陸海空軍大元帥の麾下に直隸す、天命歸する有り、人心歸する有り、國軍の前途、方に興り未だ艾ならず、警蹕の重任、或は卸除すべし、乃ち寵眷を仍承し、命を承け軍を治す、之れを辭する違あらず、惟だ當に力を竭さんのみ。

此一年間、幸ひに斷間の指導と僚屬の贊佐に賴り、大典の觀兵を擧行し、國旗を授受し、國軍をして忠君衞國の大任を知らしめ從前の私兵の陋習を一掃し、旅團警備連兵艦の編制を改定し、全國軍隊をして千般一律に編成し、畸重畸輕の惡例を一除し、國軍の紀律を整頓し、各々實用に應ぜしめ、虛縻偏酷の積弊を無からしむ、優を選びて進級せしめ、量材を轉任せしめ、庶の用人を大公無私に、軍區を劃定し、軍を分ち守りを鎭め、以て民を安んじ、內を靖ぜん事を期せり、國境を封鎖し外を禦ぐ事を期す、軍を調して匪を剿し、以て保境安民を期す、各軍事敎育機關を創辦し、各留日求學の人材を考選し、作戰を用ひて國軍の基礎を改進す、秋季大演習を擧行し、邊防の各部隊を巡閱し、以て一年の考成を示す、犖々たる大計、次第に施行し皇々たる國軍、日に起色を見る、此の精神年々復さば、滿洲國の光榮實に無限の希望と愉快あり、景惠敏ならず、願はくば國內の賢豪に從ひ、以て厥の成を見ん。

亥年に因む古川柳

長林獨尊子

昭和十年の干支は亥年です。非常時局にふさはしい至極勇猛果敢な緣起のよい、お目出度い年を迎へました。

さて亥、卽ち猪の性格や活動狀態や形などを諷した古句は極めて少ない樣に見うけられます、だから國音相通ずる「猪」「亥猪」さては「獅子」までに發展して、苟しくも亥年に關係ある時代時代に於ける數多き古川柳のうちから佳句と思はれるものを丹念に拾ひ出して見ました。

今年はユーモアとウイットと諷刺と皮肉をコンデンスした古川柳を味ひ乍らうんと笑つて非常時局に邁進しようではないか。

×

我國では近代まで獸類の肉を食することは心身の淸淨を汚すものとして非常に排斥せられ、唯「藥食」と稱して寒中養生のため秘密裡に食つたに過ぎなかつた。この「藥食」の句中「猪」についての珠玉を一つ一つ摘み出して見ました。中には必ずしも猪を利かせたものでなささうな句もありますがあまりに面白いので列記した次第です。

雪の日のむちりんで咲く冬牡丹
（牡丹は猪の異名）
冷症で二十日程くふ冬牡丹
（牡丹の異名二十草を利かせたもの）
寒いこと鈍で牡丹をこなしてる
鴨などがつゞくものかと又百匁
（その鴨などの及ぶところではありません）
猪を食ふ會亭をする一人者
（家族ある家では必ず抗議が出ます）
齒のわるさ憲ばつかりを食つてゐる
憲ばかり食ふも一足ちがひなり
一足のちがひで貝の汁を食ひ
藥食女房烟管ひつたくり
藥食見てゐる顔の美しさ
（美しい女房があつては何の効目もありますまい）
毒になる奴が煮てゐる藥食
（美しい顔です）
冬牡丹椀を重ねて叱られる
（これは藥食の句中鯨汁の佳句でありますが、大膽にも「鯨汁」の字句を「冬牡丹」と勝手に直しました、珠玉に傷けた罪固より筆者にあります）
冬牡丹たわしを一つ無てる也
（同）
冬牡丹しばらく鍋のやかましさ
（同）
こんどから貸してやるなと鍋を寒て

×

十月上亥日は亥猪の祝として諸侯幕六つ前に拜賀のため登城するので、この夕大手、櫻田兩御門に篝火を焚くこと正月お謠初の時と同樣である、民間では亥の子餅とて牡丹餅をつくり、又爐開きと稱し此の日より爐を開き茶會など催したさうです。

あす亥猪牡丹餅受に御不勝手
（大きな紋のついた禮服の質受）
白魚のやうに亥猪の供は待ち
（篝火の下の供侍を諷したもの）
亥の日から猫の居所高く出來
（火燵の櫓）
箱入を口說きはじめは亥の日也

×

除夜の忙しい最中に物貰ひの獅子が來る。投錢は十二文であつたさうです。

年越に二足の獅子がやたら出る
（暮の忙しさが目に見えます）
二足の獅子かぶりをふると十二文
十二文なげると獅子をふりまはし
てんてこ舞の門へ來る除夜の獅子
ひつてんてれつく大年の一人獅子
（同）
子が暗けて行くうち仕舞ふ除夜の獅子
二つ三つゆすぶつておく除夜の獅子
夜ッ一ト夜獅子掛取の後を追ひ
二年目にくたびれ切つて獅子がへり
年越の獅子はしつぽを置いて出る
越後獅子あとは三河の御萬歲

×

越後獅子又は角兵衞獅子とて每年越後から出る獅子舞、初夏に出で、諸國を巡り錢を乞ひ秋の末に國へ歸る、小童が小さな獅子頭を被り跳ね廻り逆立などして、いろいろの技曲をいたします。

越後から羽根の生えたる獅子が出る
角兵衞獅子全體無理な毛を生やし
（獅子の天窓に鷄の尾羽を附く）
角兵衞獅子ありさうもない羽根が生え
尻の毛が天窓へ生る角兵衞獅子
呼ばれると暖簾をおろす角兵衞獅子
呼ばれると顔のなくなる角兵衞獅子
角兵衞獅子仕舞ふと胸に顔が出來
角兵衞は狸と獅子の外になし
（忠臣藏六段目に狸の角兵衞といふ獵師あり）
前足で太鼓を叩く角兵衞獅子
關守も毛のあるを見る角兵衞獅子
加賀樣の前角兵衞太鼓やめ
（盲長屋とて長屋門に窓がない）
橫ッ腹たゝいてあるく角兵衞獅子
手の平へ底豆を出す角兵衞獅子
一疋か四文ならしの獅子を連れ
角兵衞獅子かぶりを振るが始め也

淚音

荻原井泉水

初日となるべきほのかさは
岬の先の岬
かくて、初潮の瞼に乘り
瞼をこぼれ

斷然凱歌上る最大級の興味篇三篇堂々大競映
前中後三部作同時公開
原作 大佛次郎 カントク 曾根千晴 久々振りの現代映畫

鞍馬天狗

嵐寛壽郎得意の十八番映畫のサウンド版
白馬にまたがつて鞍馬天狗疾風迅雷新選組挑む、嵐寛壽郎最初の發聲版
後篇 エマ子の巻 原作 大朝・東朝好評連載 小島政二郎 監督 村田實

花咲く樹

市川春代・小杉勇・島耕二・志賀曉子・鈴木澄子主演
白熱的の好評を以つて迎へられた後篇エマ子の巻――今春現代映畫中の大王座篇

魔獸

四日封切
毎日午前十時より晝夜三回入替なし

FOX PICTURE

タイガー

DEVIL TIGER

何れが勝つか？
火を吹いて戰ふ
大猛獸爭鬪映畫
今までの猛獸映畫と
違ふ喰ひ殺すまで戰
ひ合ふ戰慄篇！

特に御期待願ひます

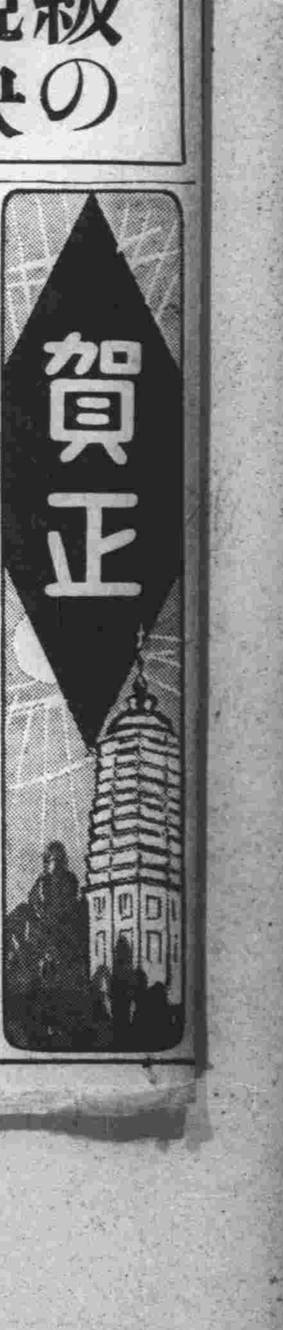
ケーン・リッチモンド
マリオン・バーンツ
ハリー・ウーヅ
アール・リー少年
共演

「マルガ」のクライド・E・エリオット決死撮影製作

フォックス超特作猛獸鬪爭映畫

ライオンと虎
大鰐と猛虎
マレー熊と豹
水牛と大蛇
豹と水牛
兎に角珍らしい猛獸映畫だ

西廣場 映樂館 電五三〇七番



洮南縣
縣長 齊鄉
參事官 永井正
副參事官 岩尾精一
警務指導官 井村衷
同 浦山德太郎
同 岩元一雄
經理官 米谷洋藏
總務科長 李曉峰
內務局長 孫炳輝
警務局長 許越衡
財務局長 王廼武
教育局長 千香九

洮南鐵路局
局長 周培炳
副局長 酒井清兵衞

滿鐵洮南事務所

洮南日本居留民會

洮安

洮安縣
縣長 張殿銘
參事官 高橋光雄
副參事官 稻田勝房
警務指導官 松本覺二
同 藤原今衛門
同 古賀定治
經理官 林田浩
總務科長 王盛貴
警務局長 李樹田
財務局長 修履謙
內務局長 任大謙

洮安料理店組合

洮安カフエー飲食店組合

國際運輸株式會社 洮安營業所

洮安縣商會
會長 王香九
佐辦 趙芷衡

洮南署長 三澤了一

洮南專賣分署

カフエー界の王座
カフエー 幾代 電交一〇九
蔦美光廣レタル千芳笑助琴春克
代　ミズリ惠
江子子子ー子子子六路美美

南洮料理店業同組合
快樂　藤の家　青楊　清川　松芳樓　末廣　蓬來亭　洮南館　第一樓　萬歲樓　滿春樓

南洮飲食店カフエー組合
カフエー 幾代
カフエー 紅家
カフエー 高砂
食道樂 玉川
食堂 來々
カフエー 黑猫
食堂 雲水
カフエー 滿蒙會館
飲食店 丸京
カフエー 廣陵軒
カフエー 天國
カフエー 亞細亞
カフエー アルシャン
カフエー サロン星
カフエー 銀鈴
カフエー 洮南

賀正
·西暦·1935·
大連·五常·羅津

大連

齒科 レントゲン科 芳賀齒科醫院 大連市不老街二三五 大連運動場停留所前

工事請負 ラヂオ並修繕 電氣器具一式 東亞電氣工業所 大連市聖德街一丁目三〇二 電話四〇一九〇番

南滿大理石工場 笹岡樽柳 大連市雲井町五 電話四九九三〇番

市會議員 森川莊吉

渡邊猪之助

長濱醫院 電話四九〇四五番

吉田齒科醫院 元町三七

門上齒科醫院 聖德街新二丁目四四二

大日本刀劍保存會大連支部 刀劍研士 鈴木虹堂 聖德街二丁目 電話四九四六一番

東昌タクシー 石炭販賣 小田斌 大正通一〇九 電話四九五〇六番

貨物自動車運輸業 S商會 大正通一三九 電話四九八一九番

醬油味噌釀造元 久保商會 黄金町六 電話四九六三〇番

古賀菊靴店 電話四九九五一番

古賀菊支店 電話四〇三八一番

沙河口印刷所 室田多歳雄 仲町六〇 電話四九四七四番

滿洲製藥株式會社 日吉町六

第二松竹館 深見護三 黄金町一五 電話四九〇六八番

沙河口中央通町内會

西大連理髪業組合

西部料理店組合 元町二 電話四九九七九番

カフエー パリー 仲町二八 電話四九四八三番

パリヂヤン 仲町三五 電話四〇一六〇番

沙河口署長 廣石郁麿

沙河口驛長 佐藤榮越

沙河口郵便局長 川島周二

星ケ浦郵便局長 折井吉尙

聖德街郵便所長 富田孟而

霞町郵便所長 國時英雄

沙河口神社々司 河野稷

桑村介辨事務所 聖德街二丁目一九七 電話三三〇四三番

古藤介辨事務所 聖德街三丁目二三二 電話四九八六四番

石井醫院 黄金町二

井波醫院 黄金町一〇五 電話四〇一三四番

竹澤醫院 仲町一八 電話四九〇五四番

高橋醫院 聖德街三丁目 電話四九二一三番

田邊醫院 聖德街四丁目一二七 電話四九三七三番

比企醫院 大正通二 電話四九五五九番

株式會社 大同マイト工業所 黄金町九一

松田自轉車商會 大正通六二 電話四九三九七番

おだ屋酒店 大正通西市場前 電話四九六七一番

貨物自動車運送業 松本組 松本謙二郎 巴町一六一 電話四九九四一番

藥品賣藥度量衡器 小山平和堂 巴町一六 電話四九四〇五番

喫茶酒場 ハルピンスタンド 巴町五〇

榮太郎書店 聖德街三丁目 電話四九五〇七番

大連商店協會聖德街支部

滿洲日報 前田新聞店 電話四九二四九

五常

五常縣公署
縣長 于謙澍
參事官 宇慶冕
屬官 內海六三
總務科長 何利貞
財務局長 周炳文
警務局長 寶森
內務局長 張殿侯

五常站
車站長 越野芳久
機務段長 田口道平
貨物主任 味喜眞一
工務段長 峯中成美

日本足袋株式會社 明治製菓株式會社 レート化粧品 北鐵總代理店 太陽貿易公司五常出張所 電一〇番

五常 飯田旅館 電七八番

滿鐵指定 五常ホテル 電六三番

五常料理屋組合
海東樓 可祝樓 瀧乃家 月乃家 彌生 五常館 醉山

食堂 七福

カフエー 初家

カフエー マスコット

日本人居留民會

朝鮮居留民會

電報局長 馮慶昌

おでん料理 安兵衛

羅津

北鮮滿鐵土木建築業協會

國際運輸羅津支店長 河野九郎

羅津警察署長 植田柳助 職員一同

羅津區長 齋藤長治

滿鐵羅津建設事務所

松本組 數田薫三
鐵道工業 中島彦作
西松組 田本辰次郎
福昌公司 林七藏
大倉組 橋本義則
共進組 影平篤介
碇山組 貞包又藏
大林組 櫻井謙次郎
阿川組 梶原喜代治
長門組 富岡敏郎

株式會社 大阪號

合資會社 大阪號

株式會社 大阪號牡丹江支店 滿洲國濱江省牡丹江長安街

大阪號出張所 大阪市東區南久寶寺町二丁目

木村清

木村組 本店 門司市 支店 羅津港

羅津稅關出張所長 大津文雄

羅津郵便局長 大畠鐵造

合名會社 大洋商會 代表者 金京春

日本海魚業株式會社 社長 姜東明 專務 中山郁之亮 支配人 山本貫一

進昌洋行羅津出張所 羅津本町二丁目

羅津貴金屬並時計商 伊藤時計店 大榮堂 三光堂

親和貿易株式會社 羅津出張所

北鮮興業株式會社 貴田岡照見

回漕 鐵道 荷物取扱業 羅津運送部

羅津水產物委託販賣組合

錦戶式煖房及風呂釜 錦戶商會 羅津支店

株式會社 大阪電氣商會 大阪暖房商會

三谷商店營業所 赤木俊郎

滿鐵·國際·土建協會御用達 須藤洋服店

富久娘 食料雜貨 生果委託 三井兄弟商會

羅津滿鐵指定商工組合
大阪號 三光洋行 生田商店 三谷商店 久住商會 大村商店 進和洋行 羅津藥局 金原材木店 桑原金物店 澤田商會 親和貿易 三共洋行 錦織材木店 富士商行 中島洋行 山根材木店 大阪電氣 伊藤時計店 稻垣日本堂 一町田家具店 北津商會 宮本商店 丸友金物店

羅津料理屋組合
日の丸 春帆樓 東京園 時壽 朝日 羅興館 八千代 三穀 白鶴 長春館 勝福 明月 吉野家 丸葉 梅の家 一二三 寶來 秀の家

羅津商工會
河野九郎 中野榮吉 岩石憲人 吉原豊吉 雨森清三郎 貴田岡照見 武井忠兵衛

和洋百貨 岡崎商店

秩父屋 新井呉服店

羅津製材所 古村米次郎

雄基電氣出張所 野村泰作

羅津ホテル 三上程二

三吉堂藥局

稻垣日本堂 羅津支店

カフエー ミドリ
ツヤ子 涙子 スミ子 マサ子 ヤエ子 マリ子

カフエー 金時

カフエー アヅマ

カフエー アジア

カフエー ヤマト

賀正

東京

岩永祐吉

林銑十郎

林正春

林田精一

[illegible]

岡田卓雄

大渕三樹

吉野小一郎

水谷光太郎

坪上貞二

角田不二男

中田金司

[illegible]

兒玉秀雄

櫻井兵五郎

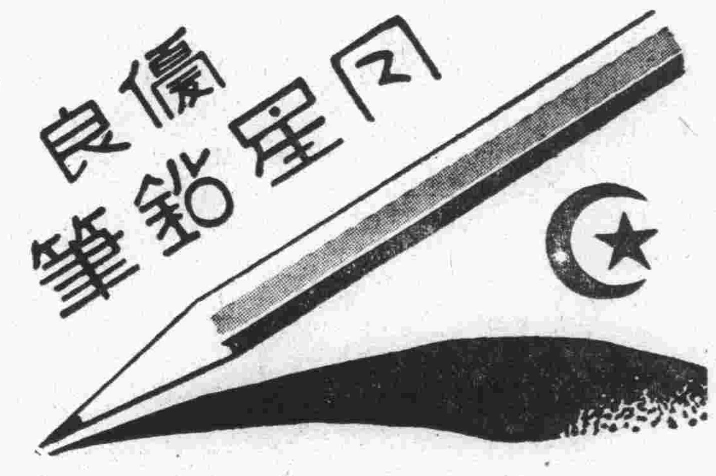
光永星郎

[illegible]

佐藤正

東京市麹町區丸の內ビルヂング
大連汽船株式會社
東京出張員事務所
出張所長　茂木定二

鉛筆なら「月星印」を



諸星油墨公司　上海蓬路五十三號　電話(4)四五五九番
奉天分行　奉天城內大北門裡　電話六二一七九番
出張所　新京・天津・營口

孔雀印・印刷インキ製造販賣
株式會社 **諸星千代吉商店**
横濱市中區久保町一一一七番地
品質優良　價格低廉
東京支店　東京市京橋區寶町二丁目九番地
大阪支店　大阪市南區鍛冶屋町二十七番地
名古屋支店　名古屋市東區大津町五丁目七番地
横濱工場　横濱市中町久保町千百十七番地
保土ケ谷工場　横濱市保土ケ谷區保土ケ谷町

山梨縣南都留郡西桂村
有限責任 **甲州織物販賣組合**
振替東京六五三八三番
電話小沼二八番
電略カフ(又ハ)カフヘン

營業科目　製版用　銅版亞鉛　地金商
臼井半太郎商店
東京市神田區豊島町六
電話浪花(67)五[illegible]

強度高ク　工事迅速　寒中工事好適　使ツテ經濟
アサノ **ベロセメント**（説明書送呈）
大塊コンクリート專用
アサノ **マスコンセメント**（説明書送呈）
滿洲國產 **大同洋灰**（近ク發賣）
大日本東京市丸ノ內海上ビル新館
淺野セメント株式會社

撫順炭一手販賣
鞍山銑鐵特約販賣
撫順炭販賣株式會社
本店　東京市麹町區丸ビル內
若松出張員　福岡縣若松市宮下町一ノ三〇七
名古屋支店　名古屋市中區新柳町住友ビル內
大阪支店　大阪市東區安土町二ノ五六
大連支店　大連市山縣通大倉ビル內
高岡出張所　高岡市宮脇町九二〇

一、資本金　壹千貳百參拾參萬圓
一、拂込金　壹千拾參萬四千圓
一、積立金　六百萬圓
一、製造能力　貳萬貳千貳百バーレル
東京市日本橋區小網町一丁目二ノ四
日清製粉株式會社
支店　名古屋　神戸
出張所　門司、小樽、大連、横濱
工場　館林、宇都宮、水戸、高崎、佐野、鶴見、名古屋、神戸、岡山、坂出、鳥栖

萬歲!の爆聲浴び 猛獸を喰はんか

千客萬來の軍司令官々邸に

新春を壽ぐ南大將

【新京電話】オープンの自動車に豬顏を寒風にさらし着任匆々澁谷總たるところを見せ沿道堵列の新京市民を嬉しがらせた南軍司令官は日滿人が親く我等の軍司令官さいふ幸先きよいスタートを切り豪快奔放な性格は頗る好印象を與へた着任匆々迎へた亥歲、ソツと南軍司令官の元旦をのぞけば先づ午前六時半起床、それから自分の部屋で靜かな一時を過ごし午前八時どりやお屠蘇でも祝はふかと名波副官、吉田秘書官を從へて官邸の食堂に現れる

閣下こちらは年賀の來客が非常に多いですよ

ナニどこに居つても同じだよ、千や二千の來客は馴れて居る、年賀の客を迎へる心得は知つてるよ

午前九時半軍司令部に於ける新年拜賀式に參列し、それより宮廷府に參內、年賀の祝詞を申上げ十時半新京公會堂に於いてあの破れるやうな聲で滿洲國の萬歲を三唱、これで大體元旦の對外折衝は一段落、官邸に一休みの後官邸の大食堂で將校連と共に年賀のお祝ひ、大食堂のテーブルには丸燒きの豚や七面鳥、恒例のお屠蘇やお雜煮がふんだんに並べられてゐる

どうだ、やつぱり親爺のところは凄いぞ

この間南大將は時折顏を出す、その度每に萬歲を浴せかけられる

どうだ猛獸でも喰はんか

と豚の丸燒きをすゝめる、すつかり接客術を心得て居る、鄭國務總理の童顏も見える、丁交通部大臣の丸つこい顏も見え官邸は賑つて我が春を壽ぐ、かくて午後五時一先づ切上げ靜かに年賀を終つた【寫眞は南大將】

醫師會を母體に 非常時救護團

關東州防空演習の尊い經驗から 初春を期して產聲

久しい間叫び續けられて來た非常時を劃する一九三五年は遂に來た年頭覺悟を新にして非常時局に對處せねばならぬ秋、大連醫師會では昨年六月實施された關東州防空演習の經驗に鑑み、大連市防護團とは獨立した醫師會救護班なる恒常的機關を設置し、一朝有事の際萬全の活動をなさんとする計畫を樹て、既に舊臘守中大連醫師會長より右設立準備委員として十五名の醫師會員が擧げられ、新春早々第一回設立委員會を開催、愈々本格的設立訓練工作に入ることゝなつた

右設立の趣旨は昨年實施せられた防空演習の際結成せられた防護團に於て救護班は醫師の統制機關として嚴存する大連醫師會を無視し各醫師に個人的に拔打ち的に任命してその場限りに形成せられたので、平常より特殊的立場より專門的研究を要する防毒救護の方法、機材の整備等が殆ど間に合はず、ために充分その機能を發揮することが出來なかつた、これを防止するには醫師會を母體として獨立した救護班を作り、日常より訓練をなさればならぬといふのである

右の趣旨は既に大連防護團長小川順之助氏宛に具申されて居り、守中大連醫師會長も積極的に乘り出したものである、設立準備委員として任命された者は

桐原善治、脇屋次郎、光畑三郎、長濱丹治、牛久昇治、西堀新次郎、廣海捨藏、千種峰藏、豐田太郎、村上純一、近藤正基、岩男其二郎、大槻滿次郎、辻慶太郎、安東洪次の十五氏である

平時の心掛け 守中會長語る

右につき守中大連醫師會長は語る

大連市防護團とは全然獨立したものであると言へば少し語弊があると思ふが、勿論市の防護團とは絶えず連絡を保ちながらも天災、地變、戰爭等の際は勿論平時に於ける防疫、救護の仕事を萬全になし得るやうな組織となしたいのが希望です、既に設立準備委員も依賴してあり、正月早々會合を開いて愈々具體的なものとなすつもりです

八人組の强盜 元日の奉天に

【奉天電話】一日午後五時二十分頃商埠地北市場警察署第十八分署管內二十五經路二一一號袁子新方に八人組の拳銃强盜侵入し、家人を脅迫の上國幣十餘元、金腕輪四個時價八百元、毛皮衣類三點、金指輪金時計各一個を强奪悠々さして逃走し、一味は隣家の雜貨林方に侵入大洋三元を强奪して逃走した、屆出でに依り瀋陽警察廳では目下犯人嚴探中である

全滿洲 全朝鮮 對抗卓球試合

◇全滿洲對全朝鮮戰 六日午前十時より
◇全朝鮮對全滿人戰 七日午後五時より
社員俱樂部で(會員券共通二十錢)

主催 滿洲卓球協會
後援 滿洲日報社

猛獸狩り一行百名 三日午前七時出發

【新京電話】本社主催の猛獸狩は各方面より異常な興味を以て迎へられ、滿洲は勿論日本朝鮮より續々參加し一行百餘名の一團は愈々三日早朝新京發、勇躍京圖線に依つて現地に向ふが、現地狩場は既に逸見幹事長に依つて數回に亘る調査が行はれ、準備萬端が整へられ獵の山崎總局員以下係員一行は二日午前七時發京圖線で現地に向ひ更に本社南里工務部長、安藤實業團監督の兩氏は一日夜十時半にて來京し逸見幹事長、佐藤支社長と打合せをなした、なほ團長長谷部少將以下大連組二十餘名は二日あじあにて來京、猛獸狩りの一行は愈々三日午前七時發にて現地に向ふ事となつた

滿鮮對抗の卓球戰 本社後援で六日擧行

本社優勝旗爭覇の本社後援滿洲卓球協會主催の第二回滿鮮對抗卓球試合は、愈々來る六日午前十時より滿鐵社員俱樂部(對滿人戰は七日午後五時より同所に於て擧行)に於て擧行するが、全朝鮮軍の主力たる京城齒科醫學專門學校チームは第一軍として三日入港の定期船で來連の上左記日程の下に南滿工專及び大連滿鐵、大連實業並に旅順工大等とそれぞ〵對戰することに決定した、なほ第二軍は來る五日着連の上第一軍と合し六日全滿洲軍と對戰する筈であるが、滿洲軍にとつては今回の戰ひは昨年度第一回戰の雪辱戰とて連日工藝において猛練習を行ひつゝあり白熱的な戰ひが期待されて居る、日程左の如し

◆四日 京城齒科醫專對南滿工專戰午前十時より工專にて
◆五日 京城齒科醫專對大連實業戰午前十時よりYMCAで
◆六日 全朝鮮對全滿洲戰午前十時より社員俱樂部にて
◆七日 京城齒科醫專對旅順工大戰午前十時より旅順工大にて
◆全朝鮮對滿洲國戰 午後五時より社員俱樂部

尙六、七兩日に限り整理料として共通券二十錢を發賣することゝなつたが會場手狹のため收容人員に制限あり希望者は至急市內各運動具店で買求められたしと

肺ペスト發生 法庫門の奧地間に

【奉天電話】舊臘二十四日康平縣慢山屯に三名の蒙古人が行商に來たが、そのうち一名は原因不明の猛烈な病氣で急死した、その翌日から同樣の患者續出し二十九日までに十二名の患者發生、そのうち八名死亡した、病名調査のため出張した滿人警察官一名も感染三十一日死亡し、調査の結果肺ペストの症狀歷然たるをもつて三十一日康平、法庫間の交通一切を遮斷すると共に二日午前十一時より滿鐵において法庫滿鐵日滿官憲協議の結果、第二の防疫方法として法庫滿鐵の交通を一切遮斷すべく遂河法庫を閉鎖するに決し、更に滿鐵に對し防疫調査員派遣方を依賴したるが、滿鐵、法庫、康平の交通遮斷は空前のことであり、旅行は勿論、特產出廻期に際し影響甚大である

詳細は不明 滿鐵衞生課防疫係主任村川博士語る

哈拉沁屯から奧へ十五支里の地點にそれらしい患者が出たといふ情報を得たので取敢す四平街細菌檢查所の安村醫師を現地に派して實情を調査せしめることにしたが詳細は今の所まだはつきりしない

猪の當り年 リレーマンガ

片岡敏夫、横井福次郎、益子善六、石川進

熊本醫大全燒す

【長崎二日發國通】一日午後八時三十分頃熊本醫科大學附屬病院中央玄關から發火、正月の手薄のため物凄い勢ひを以て燃え擴がり、電話交換手によつて發見された時は中央玄關一帶は火の海と化し、院內非常警報によつて急を知らせ看護婦總出動で患者救助に努め約二十分位で殆ど全部の患者を救出した、縣からは山內警察部長以下各消防隊出動消火に努め十時三十分漸く舊館全部と研究室を燒燬して二千三百坪を全燒した、損害は醫學上貴重なもの多數類燒し三百萬圓に上る見込みだが患者全部無事救出された

邦人殺し逮捕

一味四名が共謀して 分け前爭ひから仲間も刺す

去る十二月二十六日午前七時錦州省錦武縣城內三康洋行ボーイ劉洪瑞は三康洋行主工藤豐三郎及び王殿忠の兩名が同店內に於いて殺害され居るを發見、各係官が現地に赴き檢證を遂げたが被害者兩名は原籍秋田縣、現住錦州省彰武縣城內西小十字街回々營毛皮商三康洋行主工藤豐三郎(五二)並に彰武縣城內西十字街回々營王殿忠(二〇)にて、工藤は頭部を南に向け莫大小襯衣同ズボン下をはき寢床にうち伏したるまゝ頭部その他に六ケ所の蛇傷を負ひ左の頸動脈を切斷されて即死、王殿忠は頭を東に向け上り框に兩足を垂れて俯向けに倒れ頭部頸部に十二ケ所の刺傷を受け左右頸動脈を切斷されて同樣即死、犯人は鋭利なる刃物をもつて滅多切りにした模樣で、あたりは殆ど血の海と化して凄慘を極めたものであつた

被害者工藤は表面毛皮商なるもその實彰武縣におけるモヒ密賣の總卸元として、最近に至り奉天より多量のモヒを仕入れて來彰せる事實あり、加之數日前より各モヒ密賣者より集金せる事實を探知し、最初の發見者にしてモヒ患者たる同家のボーイ劉洪瑞(二五)を先づ第一の被疑者として逮捕した

次に彰武縣警察署王署長以下署員を總動員の上兇行に使用せる刃物の出所につき嚴重搜查をなしたる結果、彰城內住所不定無職高萬義(三〇)のものなることが判明同縣第三區馮家窩堡九間房村(彰城北方四十滿里)において王署長以下私服警士六名は高萬義を逮捕し嚴重取調べた結果、遂に包みきれず眞犯人なることを自白し、而も共犯者として前記ボーイ劉洪瑞及び同類王春元(三〇)(別名王老五)の犯行なる供述事件の眞相はこゝに全部明瞭となり、劉洪瑞も犯行を自白した

一方いま一人の共犯者たる王春元も三十日午後四時三十分遂に情婦宅にて逮捕され、こゝに眞犯人三名全部を彰武縣警務局陳局長、各指導官及び王署長於大隊長の四日間の不眠不休の活動によつて逮捕するに至つたが犯人の供述による眞相は

前記眞犯人三名のほか被害者の一人王殿忠の四名が二十五日白晝ボーイ室にて三康洋行主工藤を殺害の上集金しある現金、モヒを奪取すべく相談し、豫てモヒ隱者より買入しある豚切庖丁及び鐵棒等を準備しおき、二十六日午前一時王殿忠が工藤の寢室に忍び込みこれを殺害の上集金しありたる現金、モヒを强奪したるが、ほかの三名は又別に相談の上眞犯人の王殿忠を王春元の指揮の下にこれを殺害し一先づ逃走し後金品を分配することゝし、劉のみは店に居殘り何食はぬ顏で犯行ありとして屆出ることゝし、王春元、高萬義は夫々逃走したものであると【寫眞は捕はれた犯人】

皇軍のお正月

數々の御馳走に偲ぶ故鄕の味 嬉し懷かしい賀狀

勇ましいラッパの音に目をさませば、明けてうれしいお正月だ。非常時日本の第一線、滿洲の曠野に、酷寒零下三十餘度の寒風を衝いて匪賊討伐に邊境警備に、日夜奮鬪を續けてゐる皇軍兵士にも樂しいお正月が訪れた。

「雪の進軍氷をふんで………」重い防寒裝に身を固め、「匪賊だそれ追つかけろ」とばかり、夜もなく、晝もなく、山岳重疊の奧滿洲の密林地帶を、匪賊狩りに忙しい日本の兵隊さん。匪賊共に鬼神の樣に恐ろしがられてゐる兵隊さん達も、いざお正月の事となると、まるで無邪氣な子供の昔にかへつて了ふ。屆一つの新兵さんも屆二つに進級した古兵さんも、何日か前から、もう正月の話で持ちきりだ。

「オイ、もう幾つ寢たらお正月だぞ」

「おれは雜煮の餅の喰ひつくらなら負けないぞ」

等と罪のない話がはずむかと思ふと、大晦日には「武士の情けだ、匪賊共にもい、歲を越させてやれ」と討伐も眈擱して、いづれ討伐の歸りに山からでも擔いで來たものだらう、松の木で器用に門松なんかも出來上つて、鉢卷持つ手に箒や雜巾を持つた兵隊さん、總動員で營舍の大掃除に取かゝる。班長殿が先頭に立つての奮鬪だ。

「討伐隊前へ!」で箒組がわつしよいわつしよいと活動する。次に控へた一隊に「宣撫班、工作開始!」と號令がかゝると、雜巾組が待つてましたとばかり、四ツんばひになつて、うんうん拭き淸めて行く。………見る見るうちに營舍はきれいになつて了ふ。あらかた塵を掃き出す箒組は、匪賊を驅散らして前進する戰鬪部隊だ。仕上げの雜巾がけは、討伐隊の後に續いて、王道樂土の實體を吹き込み乍ら敎化して行く宣撫班だとおつしやる。明けても暮れても、匪賊討伐の兵隊さん達だけに通じる、無邪氣なシヤレだ。斯うしてまたゝく間に隅から隅まで塵一つ止めぬ迄に大掃除が出來上り「慨れよろしい」と中隊長殿の檢査をパスして、夕食に出る歲越しそばを食べて了へば、もうお正月何時でもお出でだ。そして平常通り午後九時に就寢するのだが、この日ばかりは兵隊さんも子供のやうにはしやいて、なかなか〵寢つかれない。やつと寢たと思つたら、お正月のご馳走の夢だ………。殺風景な滿洲の第一線には除夜の鐘も鳴らず、遠近の部落から聞える驟馬の鳴き聲と共に新春が訪れる。

☆

雪と氷にとざされた滿洲の曠野で、匪賊討伐に生命を擲つて、活躍する男々しい勇士に、せめてお正月だけでも御馳走をと、陸軍當局の心やりで、暮の內から準備が進められ、糯米四十萬瓦、お酒二萬リットル、ごまめ、金さん、黑まめ、燒鯛、鮫の子等の兵隊さん用鑵詰、その他溫かい品々が續々關東軍に送られ、大體兵隊さん一人當り糯米二合、お酒は正月三ケ日に約一升、ぶりやうかん二十グラム、金さん鑵詰十五グラム、くちとり二十五グラム、勝栗十グラム、ごまめ、鮫の子十グラムといふ見當で、どんな僻遠の地に駐屯する兵隊さんにも、落ちなく分配されたが、兵隊さんに遠く離れた故鄕の味をはせやうといふので、お酒は特に出動部隊營內で釀造されたものを運ぶといふ至れり盡せりの氣の配り方もうれしい。正月の料理は、より美味しく食べさせやうといふので、大晦日になると特に駐屯地附近の料理人を呼んでつくらせる。兵隊さん達は此日ばかりは炊事當番も無く、のびのびとお正月を待つて居ればいゝのだ。

元旦、午前六時凍りついた空氣をゆるがして、起床ラッパが鳴り渡ると、「それお正月だ」とばかりに跳起き戰友と「おめでたう」を云ひ交し乍ら、前夜から整へて置いた第一裝を手早く着用する。六時半、中隊每に營庭に集合、雪の曠野の東の果から、今や差し昇る初日の出を拜して「脫帽」君ケ代のラッパが吹奏されると「最敬禮」、陛下の萬歲を祈り奉る莊嚴な一瞬間だ。

終つて新たなる年を迎へての皇軍の覺悟を强調する中隊長の新年の訓話等があつて遙拜式を終る。

☆

遙拜式も濟むと、營舍內は元旦らしい爆笑の渦にわき立つ。にこに顏の郵便係りの乙曹長殿が、「おい年賀狀が届いたぞオ」となると、わーつとばかりに兵隊さんが飛付く。乙曹長殿は身動きも出來ない程の始末だ。滿洲出征の兵隊さんにとつて、郷里からの便りほどうれしいものはない。兵隊さん達は、むさぼる樣に國からの年賀狀を受取ると、ほゝずりし兼ねまじい表情で讀みふける。可愛い弟妹からの「アケマシテオメデタウ」や「……お國のために御奉公第一に候」と昔氣質のおやぢからのハガキ等、中にうれしさのあまり、目をうるませてゐる兵隊さんもある。

今日は特に一人につき鯡のお頭付きを一匹づゝ付けて貰ひ、故鄕の香豐な地酒を酌んで、食卓せまいと並べられた御馳走に、兵隊さん達は、もう嬉しさそのものだ。みのしつかり入つたお雜煮を祝つて、杯も重なつて來ると、班長殿あたりから「こゝは御國の何百里はなれて遠き滿洲の……」と軍歌が始まる。中隊長殿が杯を持つて「おめでたう。今年もしつかり勳功を樹てゝ呉れ」と上機嫌で各班を廻る。營舍を擧げての樂しい無禮講だ……。今日から三日までは交代で自由外出、延刻も許されて、午後八時の點呼までに歸つて來ればいゝ。正午近くから屠蘇酒に頰を染めた兵隊さん達は、軍歌を歌ひながら三々伍々外出た。

猫入らず自殺

旅順市乃木町三丁目居住發動機船日吉丸機關士森崎清一郎(四五)は去る二十三日滿端船長から大連より食糧を買求むべく金二十圓を預り來連中遊興の果て無一文となり三十日歸旅したが自責の念にかられ三十一日午後一時二十分頃旅順滿電車庫に忍び入り猫イラズを嚥下し、歸宅苦悶を始めたので直ちに竹森病院へ收容した

加來敏憲君 滿洲電業株式會社取締役支配人加來之憲氏長男敏憲君(一三)は豫てより大連醫院に入院加療中のところ、三十一日午前二時三十分死去した、葬儀は一月四日午後一時若草山西本願寺に於て執行

銘酒 白龍正宗
白龍酒造場
瓦房店昌隆街 電話一一一番

第二十四回決算報告 (昭和九年下半期)

貸借對照表

株金	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
準備積立金	五〇〇、〇〇〇・〇〇
未拂及預り金	八六、三六〇・〇四
福島紡績勘定	七六七、八八二・三九
前期繰越金	八二、一五三・九五
當期純益金	七〇、九三六・四六
計	四、〇四六、二三三・二四
貸方	
未拂込株金	一、五〇〇、〇〇〇・〇〇
地所、建物 機械、什器	一、七六六、二九八・八一
原棉製糸仕掛物	七〇三、九三〇・三二
製糸賣掛金	五三二、四二一・一五
假出金未收入金	一、一九九、九〇七・六七
工場及寄宿舍用品	二五、六一七・九九
銀行預金現金	五、〇二一・一九
計	四、〇四六、二三三・二四

利益金處分

當期利益金	一四五、九六六・四六
前期繰越金	八二、一五三・九五
計	三三七、二一〇・四一
內	
固定財產減價償却金	七〇、〇〇〇・〇〇
役員賞與金	五、〇〇〇・〇〇
準備積立金	一〇、〇〇〇・〇〇
株主配當金(年六朱)	一五〇、〇〇〇・〇〇
後期繰越金	九七、二一〇・四一

關東州周水會周家屯
滿洲福紡株式會社

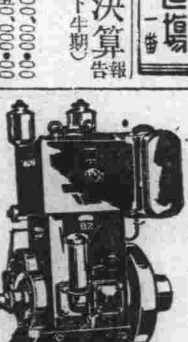
寫眞技術者募集

寫眞技術を有する者二名募集す
年齡十七歲より二十七歲迄の身體强健なる者、希望者は自筆履歷書添附上の庶務課長宛申込まれ度し
試驗日 來る一月七日午前九時より
奉天商埠地五經路九緯路
滿洲航空株式會社

喪中に付き年賀の御挨拶を御遠慮申上候

大連市山吹町一〇四
高橋忠藏

春の土木工事にはゼヒ御使用を
十馬力四十五貫
タコマヱンヂン



小児科專門
吉田小児科医院
院長 医学博士 吉田六郎
大連市若狹町二二(志摩洋行横)
電二・八一三番

長男敏憲儀大連醫院に入院加療中の處養生不相叶客月三十一日午前二時三十分死去仕候間此段謹告仕候

追而一月四日午後一時若草山西本願寺に於て告別式相營可申候

昭和十年一月二日

大連市初音町二八六番地
父 賀來之憲
親族 一同
友人 一同

父政市儀豫て大連醫院に入院加療中の處昨二日午前六時十七分死去致候間此段御通知に代へ謹告仕候也

追而葬儀は來る四日途中行列を廢し午後二時常安寺に於て執行可致候

昭和十年一月三日

男 小數賀浩
同 小數賀淳
親戚 小原貞敏
　　 白井卓
總代 小數賀源一郎
友人 田邊敏行
　　 十河信二
　　 貝瀨謹吾
總代 村井啓太郎
　　 杉野耕三郎
　　 中西敏憲
　　 山西恒郎

當社專務取締役小數賀政市殿昨二日逝去せられ候間此段謹告候也

昭和十年一月三日

協和建物株式會社

滿日廣告部 電(2)三六九五

ポリドールレコード
POLYDOR
流行歌 A 港の戀唄 2111 小澤秀夫
B 誰も彼も 久富久子
記錄的の傑作品此の流行歌
流行歌 A 國境の町 2121 東海林太郎
B 沙漠の旅 淺草〆香
ポリドールレコード

御正月高級御贈答品
掛軸、金屏風、銅器、置物、カツトグラス、絨氈、刺繡屛風
刺繡額、ビロード額繪、貝細工漆器類
御贈答品は……一千圓位まで多數御座います
●本邦刺繡界の泰斗杉山春室氏力作六尺四枚折屛風、動題池邊の鶴是非御高覽を御願ひします
高級美術專門店
㊑美寶堂
大連常盤橋ガス会社前
電話二・三六七八番

新春の御買物は………浪華洋行へ
營業時間變更
一月一日より一月四日まで 午前八時半より午後五時まで
一月十日より三月三十一日まで 午前八時半より午後九時まで
=定休日 毎月十五日=
浪速町の 浪華洋行
電話(代表)五一七九

謹賀新年

日滿經濟協會々員

大阪支社扱

駒井徳三

滿洲福紡株式會社
角野久造

合名會社原田組
社長 原田猪八郎

野村徳七

濱野榮一

池尾芳藏

山口合資會社
理事長 佐々木駒之助

株式會社大同洋紙店
社長 谷野彌吉

阿部房次郎

庄司乙吉

內外綿株式會社
專務取締役 佐々木國藏
本社 大阪市北區堂島北町

內外綿株式會社
常務取締役 岡田源太郎
本社 大阪市北區堂島北町

東亞ペイント製造株式會社
常務取締役 兼本興繼

山內貢

山本藤助

尙美堂
江藤榮吉郎

伊藤忠商事株式會社
專務取締役 伊藤竹之助

栗本鐵工所
栗本勇之助

沢田[illegible]

株式會社丸永商店
專務取締役 不破小一郎

日本賣藥株式會社
專務取締役 花岡千波
本社 東京市神田區花房町二番地
支店 大阪市東區道修町五丁目二十番地
支店 大連市連鎖街三丁目
出張所 奉天市加茂町十六番地
出張所 哈爾濱市八站南馬路五七號地
支店 新架坡ノースブリッヂロード

大家商事株式會社
社長 大家七兵衛

印刷工廠
社長 [illegible]

日滿觀光株式會社創立事務所
佐野茂
大阪市北區宗是町一番地

加工綿布
人絹織物
晒金巾
又一株式會社
本社・大阪市東區南久太郎町二丁目
出張所・大連市山縣通り
又一株式會社大連出張所

株式會社
久保田鐵工所

內外國
特許 商標 出願及審判代理
淺村 樋口 特許事務所
滿洲 新京永樂町一丁目
大阪 東區北濱五丁目

電氣工事、煖房、冷房工事、水道衞生工事
電氣材料、煖房、冷房材料、水道衞生材料販賣
株式會社 大阪電氣商會
大阪煖房商會
本店 大阪 支店 東京 名古屋
滿洲出張所 新京・永樂町一丁目九番地
大連・越後町四十二番地

大阪滿鮮貿易商同業組合
組長 粟谷喜八
副組長 庄野嘉久藏
副組長 大津禎造
主事 藤原保五郎

川上回漕店
川上凡三

靜岡市長 菅貞仁

大津市長 堀田義次郎

滿洲日報
本日朝刊八頁
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社 滿洲日報社

世界平和を目指す自主外交の大方針
帝國政府の斷乎たる……非常時局克服決意

【東京特電二日發】帝國政府は左の如き自主外交の大方針に基き世界平和確保を目指し非常時局を克服すべく決意してゐる

一、我國の國際聯盟脱退は來る三月二十七日をもつて效力を發するが聯盟の企圖する國際文化、社會施設などの事業には從來通り協力する方針である

一、南洋委任統治區域は聯盟の創立前五大參戰國の秘密條約に依り最終的にその歸屬を決定したものであるから聯盟よりの再審議を問はるゝ理由はない

一、日本がワシントン條約の廢止通告をなしたのは公正妥當なる新軍縮條約を締結するためであるから一九三五年中に締約各國が必ず軍縮會議を開催し我が新軍縮案を基礎とする新條約締結に協力することを提唱する

一、對支九國條約については締約各國において再檢討の希望あれば必ずしも反對せぬが、四國條約においては海軍新協定の成否如何に拘らず更に有効期間を十年延期すべきことを主張する

一、對支問題につき新條約を必要とするならば、日支單獨條約を締結する用意あることを關係諸國に約束するに吝かでない

一、締約諸國が支那、アメリカ合衆國、カナダ、中南米、濠洲などにおける國際紛爭の禍因たる移民問題、關稅障壁撤廢問題等解決のため國際新協定を締結せんとする場合は欣然應諾する

一、滿洲問題に關しては關係諸國が法律上の正式承認を與へないにしろ其の嚴然たる事實を確認するにおいては日本は善良なる仲介の勞をとる用意があるが苟くも滿洲國を支那領土の延長とする前提は斷乎排擊すると同時にかゝる國家に對して滿洲國は既存條約の義務を繼承履行すべき法理的根據なき事を言明する

また滿洲問題に關する限り絕對に軍縮會議の議題に援用さるゝを許さぬ

南大將に期待する將來の政局擔當
氣迷へる新黨樹立運動

【東京特電二日發】床次遞相を中心とする新黨樹立運動は、內田鐵相が急進的意向を有するに拘らず、當の遞相及び山崎農相等は自重して容易に動かず且つ準備も何等出來てゐないがいよ〳〵その態度を決する時期は議會解散の場合でまた解散無くて濟めば徐ろに政界の情勢を見定め特に政友會の動向を察して進止を決する模樣である、然るに最近政治的運動として潛行的に機運を促進されつゝあるのは軍部の意を迎へて將來の政局に善處せんとする運動であつて秋田淸氏の行動は多分に陸軍關係を目標とせるものと解せらるゝ節あり、氏が曾て荒木大將と相謀り政治的局面打開を圖らんとした計畫がその後停頓狀態に這入つたが最近軍部の情勢も大分變化し南大將中心で動くことが最も要領を得た方法として認めらるゝに至り嚮に宇垣大將擁立を變更して南大將に鞍替へせんとした連中とは別に南大將の政治的將來を觀測してこれに順應する政治的背景を作らんとする向がある、勿論軍部では……

新年御宴列席
二日の南司令官

【新京電話】二日午前九時三十分南軍司令官はM・T・C・Yより初の放送をなし日本及び在滿邦人……

地方長官異動
行掛りと人情論を排して後藤內相近く斷行

【東京特電二日發】後藤內相は人事行政行詰りに因る內務行政沈滯の聲、中央地方を通じて高くなり內相の眞價まで疑はるゝ情勢に鑑み新春早々あらゆる行掛かりと人情論を排し懸案の地方長官異動を行ふべく次いで地方長官會議、警察部長會議を招集、改正選擧法の趣旨徹底を期し波瀾を豫想される議會に備へる方針で準備を進めてゐる、人事異動に關する內務首腦部の意向は學校卒業年次などの觀念を棄て人物考査に基く彈力性ある異動を行はんとするもので各方面から注目されてゐる、なほ國澤先驅事件で辭意表明の金澤群馬縣知事の進退も同時に解決される筈である

……はかゝる運動に耳を藉さず政治的渦中に引込むものとして極力排斥してゐるが、滿洲において治績を擧げた後の南大將を措いて他に國政の將來を託すべき人物無しとまで云はれてゐる今日、當の南大將は新任匆々迷惑千萬ならんもかゝる運動の兆が既に現れてゐることは同時に元老重臣方面でも次期政權の歸趨に關し今日の政治的情勢に鑑みて密かに南大將に期待するところがあると傳へられ、從つて新黨運動は裏面にこれ等の消息を交へた政局の實情に徵し直に樹立運動を展開するに至らぬ模樣である

板垣參謀副長

【新京電話】板垣參謀副長は松村大尉同伴二日午前十時發あじあにて國民に呼びかけて國民の覺悟を求め、午前十一時より宮廷府に於ける新年の御宴に列席した

……て新任挨拶のため旅大に向け出發、大連神社、忠靈塔、白玉山に參拜し三日夜ヤマトホテルに旅大官民代表を招き新任披露宴を催し四日のあじあにて歸任の豫定である

北鐵問題の政治的重大意義

鐵路總局長　宇佐美寛爾

滿

洲建國の前後よりして滿洲國鐵道は飛躍的長足の發展を遂げつゝある、京圖線の完成、濱北齊北兩線の全通を初めとして朝開線、拉濱線を加へ、熱河では凌源に入り北滿では辰濟に伸び、既に本豫想以上の成績を舉げることが出來た、特にその事に當る者として欣懷禁じ得ぬ所である。

茲

に昭和十年並康德二年を迎ふるに當つて滿洲國鐵道は着々進行しつゝあることを觀るは日滿兩國民にとつて齊しく慶賀の至りである、就中滿洲國々有鐵道は實に日滿共同國防の根幹として又日滿經濟合作の重點を爲すものとして最も將來を希望されて居るのであるが、幸ひにして今日迄その建設經營の兩方面とも殆ど……

併

し北滿鐵道の蘇聯にとつてはうとして居るのである。……

通郵解決記念撮影（前列右より儀我大佐、藤原保明代表、高宗武、李擇一、殷同代表、柴山北平武官、支那側通譯）

"滿洲を語る"座談會　(二)

治安着々改善され急激な降下線を辿る匪賊

片倉少佐　舊政權時代の警察機關は馬賊よりも恐られ、寧ろ馬賊の方が一定の寶加金を徵することにより治安を維持して呉れるといふ皮肉な現象を呈してゐたが、現今の滿洲國巡警は嚴正にされて民衆の賴るべき警備機關となつてゐる。なほ事變前ならば軍人でも軍服を着ては奧地に入れず、從つて治安狀況を傳へられること少かつたが、昨今では交通關け、多數邦人がどし〳〵奧地に入る關係から治安がどうのかうのと云はれるやうになつたことを忘れてはならぬ。實際は事變前より隔世の感がするほど治安は維持されてゐるのである

遠藤中佐　全くその通りで私が武藤元帥について行つた當時は滿洲國の軍隊は匪賊と太刀打ち出來るだらうかと考へさせられるやうなことがあつたが、今では何處にでも平氣で這入つてゆける、但し海の海賊と同樣、蔣賊は恐きこれは双方の勢力の權衡が一變したのを物語るものであつて治安は想像以上に改善されてゐる。それでも治安維持がどうのかうのといふ話を聞くことがあるのは、片倉少佐も云はれた通り、交通が大變開かれて來たからである。

濱海沿線の如き、もとは全然交通杜絕し軍隊でも僅に傳書鳩により通信する有樣だつたが、昨今は女子供でも旅行して居り匪賊による事故は滅多に起らなくなつたのである。

……す、內地でさへ今日なほ時々ギャングが出る有樣だから、殊にあの廣い國で歷史の古い馬賊が絕對に無くなるとは豫想されない。殊に國境方面では治安を妨害せんとする彼等は職業的であり、それに國境方面では治安を妨害せんとする敵の使嗾もあるから、匪賊が大體維持されてゐるからといつて絕對に手を緩めるわけにはゆかぬ。

柴田中佐　海軍側について申せば大體海防の航路の安全などから任務につき海軍と協力して……

……匪賊の討伐に當る程度のものである。滿洲國の江防艦隊があるが、舊政權時代から殘された勢力なので日本海軍の手で指導教育してゐるに過ぎない。

小林鐵太郎氏　私の專攻する交通方面から治安の恢復振りを述べると四千キロに上る滿洲國鐵道の最も憂慮された昭和七、八、九の三ケ月間における被害狀況において一昨年は四百五十件以上であつたのが、昨年は……

……備はいふに足らぬほどになつた、本年度の統計は未だ入手するに至らぬが一層良化してゐるであらう

眞方大尉　滿洲國の匪賊は統計的に見ても昭和七年の二十一萬、同八年の十萬、同九年の四萬といふが如く年々非常に急激なる降下線を辿つてゐて治安が除々改善せられたことは各先輩の申された通りであるが、私はこれから先も今後と同樣の傾向を以て降下線を續くかについては疑問を有するものである、……

矢野書記官　北鐵讓渡交涉については目下極秘裡に運められてゐるので……

政治の動向と國民

法學博士　佐々木惣一

(一)

今日我國において革新すべき事柄は頗る多いのであるが、それは政治の力に依る外はない。然るにその政治が恰も吾々國民一般から殆ど見離されてゐる、これは從來政治が腐敗の狀況に滿ちてゐることから生ずるのであつて一應は無理からぬことゝ思はれる、併しよくその根本に遡つて考へて見ると政治に對する吾々國民自身の態度について反省すべきことがあるのである。

要點をいはう、吾々國民は政治に對して傍觀者たるの態度を執つてゐる、從つて吾々國民の政治に對する考察は主として他を批判するといふ態度に留つてゐる、これが誤りである、今日の政治においては吾々國民は決して單なる傍觀者ではないのであつて、その當事者であるのである、故に政治の見方についても、自ら批判し自ら責めるといふことを根本見地とすべきものであつて、徒らに他を批判し他を責めるといふことを根本見地としてはならないのである、今日國民一般が政治に失望しこれを見離してゐるといふことは結局政治家を非難し政治家に信頼しないといふことである、然し翻つて考へて見ると、かゝる政治家が社會に居て活動してゐるのは何故であるか、それは全く吾々國民がかゝる政治家に存在の餘地を與へてゐるからである、ことでしくいふまでもなく、吾々國民は選擧に依つて政治家の出現を促してゐるのであるから、結局吾々國民が政治家をつくつてゐることになる、國民は一方において政治家の態度を非難しつゝ而も他方においてその非難する政治家をつくるといふことは實に奇妙な現象であるがこれは全く吾々國民が自らを反省し自から責むることを爲さずして徒らに他を批判し他を責むるといふ態度に陷つてゐるから生ずるのである。

(二)

國民がかくの如く政治に冷淡であることは、今日に始まつたのではなく近年の著るしい傾向であるかゝる傾向の生じたのは政治が吾々國民の生活に如何なる關係を有するかといふことを理解せざる結果である。

今日においては吾々國民の生活は實に總て政治に從つて規定されて行く、吾々國民は自己の生活の內容を自分自身で決定してゐるかの如く考へてゐるけれども吾々國民の生活の內容は實は國家の制度に從つて規定されてゐる。手近いことを話せば例へば米價の如きも米穀統制法といふ法律に從つて定められてゐる、煙草にしても、國家の專賣制度に依つてその價格が定められてゐる、吾々の生活を表象するものとして古來米鹽の資といふ言葉が用ひられてゐるが、その米鹽の價格が實は國家に依つて定められてゐるのである、その外種々の租稅といふものが皆吾々の生活上必要なる物資の價格に影響を及ぼすことはいふまでもない、要するに吾々の生活の內容は知らず識らずの間に政治に從つて規定されてゐる、然るに國民は政治といへば只所謂政治家の行動のみを考へてそれが自己の生活の內容を定める作用であるといふことを考へない、このことが吾々國民をして政治に冷淡ならしむる所の最も大なる原因である、吾々國民が眞によく政治の意義を理解して政治に依つて吾々の生活が規定されてゐるものである、といふことを悟るならば決して政治に冷淡ではあり得ないのである、然れば先づ國民をして政治と國民の生活との關係をよく理解せしむることが必要とするのである。

かくの如く吾々の生活に最も密接なる關係を有する政治は一體何人がこれを行ふのであるか、形の上においては政府や議會などいふ政治機關があつてそれによつて政治が行はれてゐるのであるけれども、議會を構成する議員をつくるものはいふまでもなく國民である、その議會の意思を尊重して政府が種々の施設を爲す、然れば國民は直接に政治の衝に當るものではないけれども實質上結局において政治を行つてゐるのである。

既に此の如く一方において政治が吾々國民の生活と密接の關係があるものであり、他方においてその政治は結局國民が自ら行ふものであるとすれば國民は決して政治に冷淡になり得ざる筈である、故に今日國民が政治に冷淡であるといふことは國民自身十分に盡してゐる事を云へない、吾々は徒らに政治家の行動を責めることを以て得意とすべきではない、自ら爲すべきことを爲してゐないといふ所に着眼し反省すべきものである。

(三)

然らば國民が政治について反省するといふことは如何にしたら宜いのであるか、之に付いては種々の方面から考へられるけれども茲に詳しく論じ得ない、只一つ最も根本的なる事柄を云へば外ではない、結局國民が選擧を眞面目に行へばよいのである、政治の改革に關して種々の意見があり種々の方面における改革の必要があるが要するに效果を舉げるといふ點よりすれば、改革を要すべき諸種の事柄の中で最も主力を注ぐべき何等かの一點を定めて取敢ずその一點に向つて革正の努力を集中することが必要とする、然らずんば徒らに議論することに終つてしまつてその效果が舉がり難いと思ふ、その點よりすれば今日の實情においては政治の革新は選擧を公正にするといふことより着手すべきものである、それ故に現狀においては所謂選擧の革正といふものも單にその選擧の理論とか選擧の制度などについての知識を與へるといふことでは無くして現實によい選擧を行ふといふことより始めなくてはならない、それには兎にも角にも次に來る選擧において如何にしてこれを革正するかといふことに努力の中心を置いて吾々國民が一般に盡力すべきである、今期議會の通常會において解散があれば固より直に選擧を行ふことになるし、解散がないにしても一年後には選擧を行ふ必要がある、選擧は吾々國民の目前に投げつけられてゐる、それは吾々に與へられてゐる課題である、吾々は兎にも角にもこの目前の課題を正しく解決するといふことより着手すべきものである、その努力の方法についても勿論工夫を要するがそれは今は省略する。

……つた、日露戰爭で失つた滿鐵線を再び取返さうといふ如き夢をもう描いては居ない等と誰がいひ得るであらうか、現在の如き關係に於て日蘇及び滿蘇間の眞の平和を期待し得るであらうか、若し眞に蘇聯にして極東の平和を顧念するならば、彼が再びその政策を帝政の昔に還す意圖なしといふ誠意の披瀝として、北鐵の如き今日を待たずして已に手離して居るべきであると考へる、久しきに亘る讓渡交涉が如何に進展するか、之に對する意見の發表は差控へたいが、その交涉の如何に拘らず滿洲國鐵道の綜合經營は唯時の問題でしかないと私は信じて居る。

大觀小觀

問題の一九三五年がいよ〳〵到來した▲此の年は日本のみが多難期に際會してゐるのではない、歐米諸國こそ重大危機に直面してゐる▲國家は活物であり歷史は流動して已まぬ▲古い紙片に條約の名を附したものによつていつまでも不公正、不自然な狀態を持續することは竟に不可能である▲しかも現狀維持に目先の偸安を欲する諸國は此の不可能を強行せんとして所謂世界不安を自ら展開しつゝある▲歐洲こそ此の抗爭の深甚な舞臺であつて禍亂の火藥庫はいつ點火さるゝか測り知れない▲東洋の不安は西人の常套語であるが、此の地帶の保全に全責任を負ふ日本に委せて置けば日本の實力は何の不安を齎さない筈だ▲歐米諸國にして先づ足下の平和確保に專念せしむることが我國の公明なる意圖である▲既に我國の決意は嚴乎として定まり不撓不屈一路邁進すれば乃ち足る▲要するに危機は日本の上にはなくして日本を抑壓せんとする歐米現狀維持派諸國の中にある

賀正

大連著名商店

赤玉ポートワイン　キリンビール　ヒゲタ醬油
合名會社 肥塚商店大連支店
大連市大山通六九・電(2)七一〇三六

大連市伊勢町一〇六
合資會社 田中蓄音器店
電話(2)七八四二番

客年中は格別の御高庇を蒙り有難く御禮申上候
本年も倍舊の御厚情御引立を只管御願ひ申上候
昭和十年正月
滿壽屋モスリン店
大連市磐城町二十八

大連市櫻町八〇
滿洲牧場本店
電代(2)六一三四
同 聖德街支店 電(四)九二三四
同 桃源臺支店 電(2)八八四九

信濃町 河又商店 電話(二)四四六六・(二)四九三〇番
河又 醬油 味噌
沙河口 河又支店 電話(2)九五〇八番

新春を迎へ御芽出度う御座います、昨年中は格別の御愛顧賜り難有厚く御禮申ます、本年も倍舊の御引立を御願致します
中山婦人服店
大連市連鎖街銀座
電話(2)二二四九番

舊年中は格別の御愛顧を蒙り御厚禮申上候
本年も尙ほ宜敷御引立の程御願申上候
樂器 蓄音器 商
大連市西通七八
哈爾濱石頭道街二五
上海北四川路八六八號
一木洋行
店主 一木敏之
電話(2)二四六七番

良質廉價 大砲鉛筆 大阪 富田開雲堂

日本國民に呼かく
重大な國際政局に直面して 米國三方面代表意見

本年の軍縮本會議の開催を前に國際政局が重大な轉機に直面してゐる際、米國の輿論を叩くことは決して無意義ではあるまい、エドワード・ハウス大佐は人も知る故ウイルソン大統領の懐刀で今を時めく民主黨の長老、ウイリアム・ブラット提督は前軍令部長として所謂輪形陣を基調とする渡洋作戰の立案者、ニコラス・バトラー氏はコロムビヤ大學總長、與黨と海軍と言論界と三方面を代表する忌憚なき意見を聴く

日米親善は容易
エドワード・M・ハウス大佐

新年に當り米國民を代表し、日本國民にメッセーヂを送るのは余の最も欣幸とする所である、日米兩國の間には多年の友誼が存在する識見高邁な兩國の指導者達が、常にこの事實を銘記し兩國民を更に緊密に結合するやう出來るだけの處置を講ぜんことを希望して已まない、今や全世界には新な時代が黎明を告げ、過去において帝國建設のため合法視された手法も現代の進んだ輿論の容認を受け得ぬこととなつた、かゝる現狀において日米兩國の親善促進を圖る事は極めて容易なこと、言はねばならぬ

日米互に不諒解
ウイリアム・Y・プラット提督

新年を迎へるに當り、余は率直且つ正直に余の所見を日本國民に告げよう、貴國が今や國際政局に於て難局に立つて居ることは余の深く遺憾とする所だ、然し禍根は恐らく次の點に潜んで居やう、我々は諸君の心理を些かも諒解せず、諸君も亦表面だけはよく我々を知つてゐるが、完全に我々の心理を攫むには至つて居ない、米國人は何等か底意を抱いて居ると諸君は思つて居る、米國人は故意に日本を不利な地位に陥いれようとして居ると諸君は考へる、我々は又日本がその主張を押し通すのに餘りに侵略的であり、且つ餘りに軍國主義的だと思ふ、兩國民は一番の親友となるべき筈だが、お互に誤解し合つて居るといふことは人生に對する何たる悲しむべき詐欺であらう

二

諸君は忠勇且つ教養高い民族だ我々は自由主義的な寛宏且つ非侵略的な人民だ、多年人生の行路を辿つて來た余は個人にとつても國民にとつても平和と心境の清澄とが戰爭と騒然たる氣分に比し、遙かに勝つて居ることをはつきり悟るに至つた、來るべき新年が平和と善意とを日米兩國民に齎らすことを希望する。

日英米三國の海軍力に就いては、余は依然として五・五・三の比率が妥當だと信ずる、世界の平和を確保する上においてこの比率こそ最善の機構だと思惟するから、この比率が廢棄されるのを好まない、然るに諸君は右比率を好まず、諸君は右比率を公正と思はぬから廢棄して了つた、よろしいこの點について諸君が我々と同じ權利を持つてゐる、國防上必要とあれば如何なる手段を講じようとも全く諸君の權利だ、現行海軍條約の失效後如何なる艦型艦隻の艦艇を整備するかは全く諸君の自由だ、然し若し諸君が率直に

これが自分の案だ、この案は正しいと思ふ、自分はこれでやつて行かうと思ふ、然し自分は英米兩國を信頼する、諸君は多くとも少くとも自分の必要に應ずるだけ即ち適當と思ふだけ艦艇を建造出來るのだ

といへば紛議に臨む刺は大半取り除かれて了ふと余は思ふ、かくいふと如何にも馬鹿げたことの樣に考へられやう、或はさうかも知れない然しこの自由主義の精神が導入されるならば紛爭は間も無くトランプで作つた家のやうに解消し去らう、我々がお互に理解せず且つ細目の點に沒頭し續ける限りお互に徹底理解し合へない、我々が日米兩國の間に平和を維持しようと望んで居り、お互に良い友達であり且つ友達になれぬ眞の理由は何處にも無いといふ一大事實の前に一切の細目は何等の意義をも持たぬ

日本の重大危機
ニコラス・マレー・バーラー

日本國民は米國における知己から率直隔意無い意見を聞きたがつて居るといふ、余はかゝる知己の一人たることを自負する、過去二世代の間に日本國民が文明並に文明に依存する藝術の領域において達成した進展は近代世界の一驚異である、日本國民は二十世紀における各國民の最前列を占めその進捗とその政策とその國家的理想とは全世界的な興味と全世界的な關心の焦點となつた、然し余の判斷によれば日本政府の政策により日本國民が實に見事にも贏ち得た偉大な名聲は今や最も重大な危險に曝されるに至つた、この事實を闡明しなかつたら、余は單に率直を缺くのみならず誠實をも缺くとの譏を免れまい

迅速に增大して行く人口の爲めに食糧を供給するには武力に訴へ、新領土を征服する他はないといふかも知れぬが、かゝる見解は當らない、食糧問題は他國政府並に他國民との平和的友誼的な協調折衝で解決される筈だ

何人も日本の繁榮を希つて居る何人も日本國民の生活標準が著實迅速に上つて行くのを望んでゐる、何人も日本がその生産品のために新市場を發見し增大して行く人口のために充分食糧その他の供給品を見出さんことを望む然し此等の事柄を武力に依つて達成しやうとする國民に對しては文明世界は背を向けるだらう武力手段に依つて國策を遂行する時代は最早過ぎ去つた

他國政府殊に英米佛三國が過去に爲した所を指摘しても武力政策を支持する充分の理由とはならぬ、二ケ年ばかり以前に一日本人論客が「米國は教へ、日本は學ぶ」といふ見出しで米國の月刊雜誌に論文を掲げた、當時日本政府が遂行して居たと同じ政策を米國政府が嘗てパナマ運河、ドミニカ共和國ハイチ、キウバ、布哇、フイリツピン群島等に關して遂行したといふのだ、假りにこの議論が巧妙なものだとしても現代の文明國民が他の文明國民の過去における失策や罪業を模倣してかまはぬと主張することは出來ない

更に國家の體面が陸軍乃至海軍力に依て測定されるといふのは子供の理窟で大人の議論ではない、日本は各國と相携へて國策の具として戰爭を正式且つ最も嚴肅に抛棄した、然らば日本政府が新に且つ不斷に且つ公然と陸軍裝備を整へ且つあらゆる機會に海軍兵力の增大を要求して居るのは如何なる意圖に出たのか日本が海軍々備に就て均等を確保する捷徑は、一切の軍備を制限して世界の通商路警備の爲めに國際警察力を設置するに止める提案に協力することだ、海軍軍備が最低限度に達すれば、何れの國家もすべての國家が戰爭の準備を進めて居る時、海軍軍備の均等を達成することは日本にとり絶對不可能なことだ

正義の具現
滿洲國建國は世界的聖業
奉天特務機關長 土肥原賢二

事變以來の第四年滿洲建國三周年のこの新春は同時に所謂一九三五、六年に踏みかけた第一歩である、此機會に私は滿洲國建國の本義を再確認して互に相戒め、神武天皇以來のわが皇國精神の世界的伸張の聖業に邁進する覺悟を新にしたい、滿洲國建國の大方針は改めて喋々する迄もなく、昭和八年三月廿七日日本が國際聯盟を脱退せるとき渙發せられた詔勅の御趣旨により明かである、王道を根とし民族協和を基礎とする獨立國滿洲國を一日も速かに完成せしめ、此の我が正義の具現を以て隣國中華民國人を首肯贊同せざるを得ざらしめた時、始めて日滿支の結合が成る。

其處に東洋人の東洋が實現するに至らば歐米も亦反省して始めて東洋の平和と世界の平和が確立する。

即ち此の我等の手による正義の推進、皇道精神の進出のみが世界人類を眞に安樂、幸福ならしむる唯一無二の鍵である、此の信念、此の正義觀のみが日本帝國を萬世ゆるぎ無き盤石の上に置くと共に全人類をも永遠の平和に誘く原動力である。

此の意味に於いて滿洲國建國の本義は實に世界的なる聖業である人類が嘗て試みしことなき此の大事業を遂行する爲には我等は同時に人類が未だ嘗て經驗したことなき大障碍を乗り切らねばならない

如何なる難關にせよ、正義の爲且つ全人類の爲に起つことは我等日本人に與へられた大い使命である之を完全に果し得るものは古今東西の精神物質兩面最高度文化を悉く渾然と融合同化して己れの力とせる我等大和民族以外には絶對に無いと斷ずるものである。

されど任の重きを想ふとき我等は擧國上下己を空しうして靜慮する要がある、日本が正しく大きく全人類と共に生きるこの聖業の途上各界人士共先づ何よりも大乘的國民となる決意を常住把持して居らねばならぬ。

それには事に當つて常に眼前の小利害に惑はされてはならぬ、全民族を抱擁する大國民の襟度を修養向上せねばならぬ

此の二點は實に缺くべからざる條件である、事變以來尊き犠牲となりし幾多軍官民護國の諸靈位に對し厚き感謝を捧ぐると共に我等は新春に際し一層互に相戒めて滿洲國建國の本義を再確認し新なる大勇を振起して皇國の爲め御奉公の誠を致さんことを誓ふものである。

經濟提携主動力
滿鐵副總裁 八田嘉明

燦たる瑞雲聳天子在ます東天より棚曳く乾坤一瞬の春仰いで帝徳の愈々昭かなるを拜しまするは普く御稜威の下興滿實内の民として寔に慶祝に堪へぬ次第であります。

顧へつて此の邦土に過ぎし一年を顧みますれば、世界的不安恐慌の裡に在りまして新國家王道政治の具現愈々しるけく陽春三月列國環視凝嘱の下、榮ある帝制の實施は宇内に宣布せられたのでありまして、茲に萬代不易の國是愈々鞏固に新帝國の進運日に明らけき秋に當りまして、畏くも聖上御名代として特使宮殿下御訪滿の榮に仰ぎ奉り、在滿三十萬同胞は友邦民衆と共に未曾有の感激裡に欣喜する所でありまして斯く致しまして日滿兩國は永劫渝らざる黄金の交を堅くし、兩國民の繁榮進展は實に見ざる飛躍を遂げたのであります顧ふに此の間日滿經濟ブロツク建設の主動力として、特に滿洲國産業建設の樞軸として兩國民の絶大なる支援の下に挺身創業幾多の犠牲を拂ひ、厚き人柱を築きつゝ光輝ある建設工作を遂行し來つた私共として誠に感慨無量なるものあると共に、茲に廻り來つた新しき歳の展望致しますれば、自ら裡に希望の澎湃たるものがあります、併しながら世界現下の情勢は日滿兩國を繞つて必ずしも樂觀を許すべからずして其の前途容易に豫め忖度を許さぬものの在るを覺悟せねばなりませぬ、されば昭和十年に於ける私共の責務は一に懸つて斯かる重大時局を突破して之に善處し眞に兩國繁榮の基礎を確立するに存するを信ずるのであります、私共は尊き先輩の遺業を繼承して其の重大なる使命を體し只管に大滿蒙の下に滿洲國經濟を結ぶ楔機として將又其の主動力として益々精進しなければならぬのであります。榮ある歳首に當り今年も亦多難を克服して來るべき兩國民の多幸なる發展を希望しつゝ、此の光輝ある大業を再確認して全社員協力一致其の成功を期する次第であります

政黨再建の秋
永井柳太郎

一

黨派の弊害が極端となつたことは爭はれぬ。その弊害は、啻に中央及び地方の立法部のみならず行政部内にも浸潤し、官公吏を罷拔するにも、國務の都合より黨派の都合を主とするに至つた。裁判官でさへも、時に或は黨派の感情を顧慮すること無くして、その職務を盡すことの如何に困難なるかを經驗せざるを得ざるに至つた。一世の人心を動搖せしむる疑獄事件も屢々起つた。かくして中央及び地方に於ける議會の精神的水準は次第に降下し、議會及び議會の議事に對する國民の感興又は感激も日を逐うて減退しつゝある。茲に於て、善良なる人は、議員、殊に黨員たることを避けんとする傾向を生じ、惡貨は良貨を驅逐するといふ經濟界におけるグレシアムの法則がそのまゝ政界に適用さるゝ珍現象が起つた。政黨が猛然たる國民の反撃を買つて、時に政黨の存在を否定せんとする議論が行はるゝに至つたのも決して偶然ではない。

二

然し國家が連續として歴史的生存をなして行くには、政黨の發生は、止むべからざる必須的現象である。組織なき群衆は、系統ある活動を爲すことが出來ない。偶然に落ち合つた多數者に依る集會に列席したものは、如何にこれ等の集會が合議體として無能力であるかを實見するであらう。その初めに各自各種の意見を吐露し、互に議論を鬪はしても、何等決定に至ることなく、結局一辯士が有力なる煽動演說によつて衆人を誘引するか、若しくは少數の人が巧妙なる策引を以つて群衆を誘導するかに由り、不完全なりとも兎も角會議を纏め、一場の決議を決し、役員選擧なども行ふことを得て、その會全體、若しくはその會の多數者の意思を表示するけれども、而もこれ等の集會が、明日更に會議を開き、更に何人かと前日と異る手段を以つて群衆を誘引することあらば、これ亦多數の賛成を得て、前日と全然異る決議を爲すことも不可能ではない。議會に於ても、若し政黨がなく、個々の議員が勝手に賛否を決することになれば、大臣は法案の運命を確むる術なく政局の不安は絶えざるのみならず其間に議員の賛否を誘惑、買收、操縱せんとする各種の運動は盛に行はれ、議會政治の腐敗は一層甚だしきに至るであらう。

群衆は黨派の組織によつて、始めて混沌たる集團より、組織あり統制あり、且討論決議の能力ある政治的存在となり得るのである。從つて黨派は群衆が行動能力者たらんがために自然的に發生する必至的組織である。故に政黨は人民の中に存在する總ての活力を發現せしめ、總ての利害を代表して主張せしめ、これに由つて以つて國家全體の健全なる意思表示を確保すべき手段である。人民の公的生活は、事實に於て、政黨に據るに非ざれば寧ろ不可能といはなければならぬ。

政黨の惰弊を痛憤するの餘り、遂に專制政治の主張を爲すものがある。然し專制政治の下に於ても國民の思想、感情、欲求、希望が共通でない限り、反對黨の發生は必然的である。唯それが政府の壓迫を恐れて表面化しないから、前段に於て述べたるが如き黨爭を見ることがないのである。加ふるに專制政治は、一種の暴壓の變形であるから、久しきに亘つて實行せらるゝに於ては、國民が全體的痲痺の狀態に陥るか、その暴壓に堪へざる者が暗殺其他非常手段によつて、その暴壓より免れんとするか孰れかの病態的現象が發生するに相違ない。その結果國民生活の健全且活潑なる發達は不可能なる。從つて假りに專制政治を實現するとしても、決して政黨政治に代るべき好結果を期待することは出來ない。それは世界の歴史が實證する。

三

既に政黨の存在理由及び存在價値にして明白であり、國政運用の一機關として否定し得ざる自然發生的勢力であるとすれば、次の問題は、黨派の惰弊を如何に清算するかになければならない。國民的非難を蒙るが如き黨爭を倫理化して、公黨の眞面目とその責任とに徹底せる純眞なる黨爭を實現するに努力しなければならぬ。同時に吾人は黨費公擧、公黨公營の精神を全國民の間に擴充し、公黨の公事は公費によつて支辨するの原則を確立しなければならぬ。政黨が大衆の生活を顧みず、屢々財閥のために計るの非難を蒙り、社會正義の擁護者たるべき地位を以て却つて忌はしき疑獄事件に連坐するの不眉を敢てするは、その重大なる黨費を大衆の支持に求むることなく、一部財閥との結託によつて捻出せんとするがためである。

吾人は、邦家眼前の危局のため速かに議會及び政黨を再建して新日本建設に邁進しなくてはならぬ。

然し政黨が精神上並びに物質上全國民の支持を受けんと欲すれば公黨として新なる指導精神を確立しなければならぬ。即ち全體的積極的の大勢力を提げて、政黨自ら更生するの決意を天下に示さなければならぬ。政黨は、政黨發生の必然性に遡つて靜かに自己を再吟味し、區々たる國内鬪爭を清算し暗雲低迷せる四海の展望に奮ひ起たねばならぬ。吾人は一切の概念的黨爭、一切の階級的鬪爭に超越し、全體としての日本を更生せしむるがため、日本の有する總ての資本力及び勞働力を動員して、國家の統制、指導及び保護の下に新經濟組織を建設し、生産の增大、分配の公正によつて、全國民の生活力を擴大強化し、以てこの國家的大難局を打開するに努力せねばならぬ。此の如くして新日本建設の動力たり得る政黨のみが國民大衆の支持を受けて、眞の公黨として更生し得るのである。

四

現代に流れてゐる最も大きなイズムは、共産主義の思潮と反共産主義の思潮であらう。いふまでもなく、共産主義はインターナショナリズムに立脚した思潮であるから、この共産主義に對抗する思想は、ナショナリズムに其の出發點を置く。吾人は既に資本專制主義經濟組織の缺陷を指摘し、資本家地主等の階級專制に反對した。更に吾人は、それ以上の強烈なる意識を以つて、無産階級の獨裁を本領とする國際的革命運動に反對せねばならぬ。

現下の非常重大の國難を救ふものは、純正國家主義の見地に立つて、内に經濟統制の新機構を確立し、生産分配の全過程を全國民基礎の上に再建することを目標とし外に日本國民の全世界に於ける生活權確立をその外交理想として戰ひ得る政黨でなければならぬ。而して政黨がこの見地に立つて國家改造を行はんとすれば、勢ひ政治上、行政上及産業上の全機構に亘り、その根本精神に於て、國際的ではなく國家的であり、階級的ではなく全公衆的である徹底的建設的改革を斷行する決意がなくてはならぬ。それは、明瞭に國家的立場に立つて、日本の全産業、日本の全國民生活を大膽大規模に整理統制する爲めに、強大なる政治勢力を獲得せんとする劃一的なる目的をもち、その目的の下に邁進する積極政黨であらねばならぬ。かゝる國家主義大衆黨の出現のみが日本の受けつゝある客觀的重壓克服の具體的動力であり得ると同時に、又議會及政黨の威信に關する問題に就ても、その振肅に向つて眞の解決者であり得るのである。

ラヂオ

四日

大連（JQAK 六五〇KC）

午前の部
六・三〇（東京）明治天皇御製謹話、宮中顧問官海軍中將子爵小笠原長生
七・〇〇 各地氣温通報、ラヂオ體操
八・三〇（東京）經濟市況
九・四〇 經濟市況
一〇・二〇 經濟市況
一〇・四〇 經濟市況、公設市場値段

午後の部
一・〇〇（新京）滿洲音樂
一・二〇（新京）ニュース（滿語）
二・五〇（東京）經濟市況
五・〇〇（東京）子供の時間＝お話「お正月のお遊び二つ三つ」子供のテキスト編輯部
◇コドモノシンブン
六・三〇（東京）講談「三方目出鯛」大島伯鶴
七・〇五（名古屋）新内「關取千兩幟」（稻川内の段）富士松春太夫
七・三三（東京）小唄（一）元日や（二）めぐる日（三）梅一輪（四）雪はしんしん（五）竹は八幡（六）あさぎ染（七）破魔弓（唄）春日とよ、（三味線）春日とよ晴（替手）春日とよ福
七・五〇（東京）室内樂、ピアノ三重奏曲、作品三二、アレンスキー作曲、第一樂章アレグロ・モデラート、第二樂章スケルツオ、第三樂章哀歌、第四樂章終曲＝シロタ・トリオ（ピアノ）レオ・シロタ（ヴアイオリン）ロバート・ポラツク（チエロ）ハインリツヒ・ウエルクマイスター
八・三〇（東京）時報
八・三一 長唄、勸進（池邊鶴）」上中和亭作詞、杵屋六島榮作曲 杵屋六島榮社中（唄）多摩八、角丸、花奴、（三味線）登喜次、笑香、榮次、須磨奴、（小鼓）雛子、登久榮、靜香、（大鼓）京子、（太鼓）惠美子、登久八

五日

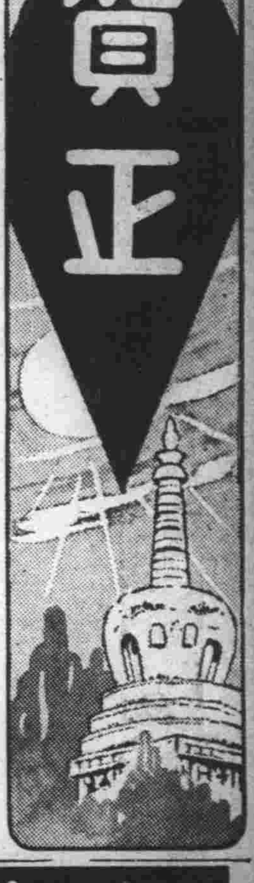
新京百キロ（MTCY五六〇KC）（午後六時―同十時迄）
六・二〇 氣象通報、番組豫告（日語）
六・三〇（大阪）ピアノ二重奏―一、組曲＝作品十五番アレンスキー作曲（イ）ロマンス（ロ）ワルツ（ハ）ポロネーズ 二、「ロンド」作品七十三番ショパン作曲＝荒木和子、土川正浩

七・〇〇（東京）歌澤 一、松壽千年 二、春は眠ふ 三、月夜からす（唄）歌澤之金（三味線）歌澤之梅 歌澤芝香
七・二〇（東京）箏曲 一、千里梅曲（箏）荻岡松韻、荻岡松柯（三絃）高野松峰 二、新年松（箏）荻岡松柯、鹽澤秋音（三絃）荻岡松韻
七・五〇（大阪）少女歌劇「メキシコの薔薇」佐藤邦夫作、寶塚少女歌劇星組生徒、伴奏寶塚オーケストラ、指揮高木和夫
八・三〇（東京）時報、ニュース
八・四〇 氣象通報、番組豫告（滿語）
八・四五 國民の時間「年頭所感」（滿語）財政部大臣熙洽（代理）
九・一五（奉天）演藝（滿語）

新京（MTCY五七〇KC）

午前の部
六・三〇（東京）「明治天皇御製謹話」文學博士高瀬武次郎
八・三〇（大阪）子供の時間―お話「四條畷神社に詣でゝ」大阪女子專門學校長平林治徳（合唱）四條畷コドモ會

午後の部
一一・五〇 新年こども大會▲第一部（東京市日比谷公會堂より中繼）司會關屋五十二 一、御挨拶―日本放送協會業務局長中山龍次 二、子供のオーケストラ―南兒童オーケストラ、指揮小林（イ）年の始（ロ）證城寺の狸囃子（ハ）ギヤロツプ（ニ）ワルツ―川信一郎、角野道子、指揮石川誠一、橘英之新 三、童話「和氣清麿を甦つた猪」久留米武彦 四、ヴアイオリン獨奏（イ）メヌエツト舞曲（ロ）トロイメライ（ハ）金婚式―藤田倫、ピアノ伴奏宮原淳子 五、獨唱（イ）日の丸の旗（ロ）お餅つき（ハ）キユーピーさん（ニ）蛙の夜まはり―松本俊枝伴奏アルメリア五重奏團 六、童話劇「雪婦」勝本信司脚色、木馬童話劇研究會、伴奏指揮福田宗吉▲第二部（大阪市中之島中央公會堂より中繼）一、狂言「福の神」（茂山良介）參詣人（茂山七五三、茂山政次）二、童謠「バンザイ日本」北村壽夫作詞、BKコドモサークル、伴奏大阪ラヂオオーケストラ、合唱早苗會兒童、舞踊島田兒童舞踊研究所兒童
三・二〇 落語と音曲 一、花魁の文―曙一平 一、音曲―曙若千代
五・〇〇（東京）子供の時間―獨唱「てれつくお猿」外六曲―望月誠、伴奏若草管絃樂團
五・二〇（東京）コドモの新聞―關屋五十二



謹賀新年
滿洲電業株式會社大連支社
大連市常盤橋

黑河省長 鍾毓
總務廳長 成澤直亮
民政廳長 許紹志
警務廳長 大園長喜

滿洲石油株式會社
副理事長 艾廻芳
新京富士町五ノ六

滿洲統計協會
新京東六馬路

大連西公園町
中央國旗店
店主 松山正宗

謹賀新年
田上齒科醫院
田上喜也
大連市播磨町五五
電話本（2）九三六〇番

同和自動車工業會社
理事長 谷田繁太郎
專務理事 大屋敷正平
常務理事 佐久間章

奉天市政公署
荒井綠
相原伊三治
福山哲四郎
大木謙吉
渡邊三朗
眞田文門
熊野久作

大連市平和臺六一
小崗子料理店組合事務所
電話（3）一三三六番

永原小兒科醫院
大連南山麓柳町二三（共營住宅電車停留所前）
電二―七九八七番

性病 皮膚病 專門
濟生医院
院長 鳴尾直人
大連市三河町二
電二・七八六七

キツネ顔付鞣 博物標本 模型製作
名倉製作所
大連紫男十四
電三・二九九〇

新春の映畫界を斷然おさえ湧き返る激讃に包まれて連日連夜それはもう凄い程の大入滿員で御座います
愈々明日より御家族お揃ひで樂しめる松竹の二大トーキーとメトロの日本版爆笑篇の公開 これ以上の贅澤な番組は大連では一寸ないです！若旦那日本晴れとそれに下加茂昭和十年度最大のスペクタル映畫長二郎・好太郎共演侠客會我
四日より六日までの中央映畫館●

四日封切
晝夜三回興行
當館獨專
日活名畫 四本立
すてうり 勘兵衛 原作村上浪六・雜誌（富士）連載 阪東勝太郎主演 清瀬英次郎監督 花井蘭子 寺島貢 共演
平手造酒 原作監督・志波西果 大河内傳次郎主演 梅村蓉子・葛木香一共演
三日月笹穗切り 原作岩井紫波・監督稻垣浩 片岡千惠藏主演 柳原歳子・瀬川路三郎共演
子供萬歲 杉狂兒・關時男主演 星ひかる・宗春太郎共演
正午迄の入場の御方に限 小人廿錢 大人卅錢
帝國館

謹賀新年

皇紀2595

齊齊哈爾・海拉爾

齊々哈爾

第三軍管區司令部

司令官 張文鑄
參謀長 于治功
參謀處長 王士琇
副官處長 朱鳳陽
軍械處長 范書賢
軍需處長 張達興
軍醫處長 蔡亞民
軍法處長 王光寅
獸醫處長 江執中

龍江省公署

省長 孫其昌
總務廳長 永井四郎
民政廳長 陳業瀾
警務廳長 赤澤長三郎
實業廳長 蘆元善
教育廳長 王賓章

(いろは順)
居留民會評議員 池田平八郎
居留民會評議員 濱崎清人
慈惠病院長 堀清
龍江縣長 梁維新
電業會社支店長 大塚良治
居留民會評議員 大貫與十
電報電話局長 韓樂春
居留民會評議員 吉田德治
チチハル領事 内田五郎
國際運輸支店長 山本四郎
龍江縣參事官 近藤清成
警察署長 齋藤孫治
チチハル驛長 清水長策
チチハルホテル支配人 重本曉
居留民會評議員 鈴木縣市郎

チチハル豐恒胡同一號
入江商會 入江吉三

龍江專賣署
署長 李有忱
副署長 井上和記
外職員一同

齊々哈爾日本警高等小學校

校長 安崎國衛
訓導 文谷佐助
同 柳川保隆
同 深浦良志
同 中村勇
同 渡邊イス
同 間宮梅子
保姆 松浦フク
同 高山茂子

齊々哈爾料理店組合 (順序不同)

深川　みの家　チチ榮館　七福　湖月　一力　藤榮樓　松の家　一樂　滿壽花　桔梗屋　チチハル館　千鳥
吉揚　丸よし　きはらし　ハルビン館　武藏野　萬遊享　花雪　榮樂　朝日樓　永月館　泰平館　三井館　金剛館

齊々哈爾飲食店組合 (順序不同)

黑猫　紅屋　滿福　二樂　第一地球　ロンドン　喜久すし　一富士　コテイ　かごや　第一キング　公園　第一ミス　ライオン　第二地球　精養軒　哈爾一　八千代　サロン春　龍月　松竹
自由軒　菊水　銀丁　梅月　滿月　秀家　第一キング　敷の島　太陽　新二ミス　日の出　池田パン　靜香すし　峰月　丸義　チチハル館　オキナ　國東食堂　[illegible]內食堂　[illegible]座　鈴[illegible]

海拉爾

興安北署
省長 凌陞
總務廳長 染安
民政廳長 奇普森額

北警備軍
司令官 烏爾金
參謀長 福齡

市政籌備處
處長 德春
處員一同

特別區市政公所
市長 李相庭
鄉董 孫銘棟

領事 米内山庸夫
署長 白神榮松

興安警察局
局長代理 大山顯一郎
特別科長 春德
海拉爾警察署長 長谷川喜一

海拉爾居留民會
民會長 鈴木謙吉
副民會長 堀定四郎
評議員 西山豐次
田口文吾
野澤金太郎
稻益賢之助
島田毅四郎
書記長 西雅雄

國立種馬場
場長 又重武

北警備軍並同顧問部
職員一同

觀象臺長 糸永幸一

帝國在鄉軍人會海拉爾分會
分會長 大山顯一郎
副分會長 長谷川喜一
副分會長 福士杜一

各旗聯合辦事處處長 榮祿

海拉爾稅捐局
局長 陳玉德
三谷繁雄

三河製粉公司
事務所 海拉爾
工場 三河奈拉穆圖
牧場 北鐵西部沿線哈克

滿蒙畜產株式會社海拉爾出張所
小野碩太
外職員一同

特區警察署
署長 田玉堂
指導官 我滿亥之助
署員 井上喜内

協和會呼倫貝爾事務局
鈴木謙吉

國際運輸株式會社海拉爾出張所

航空會社海拉爾出張所

國道局海拉爾派出所 所員一同

谷田部時次
新街商會長 趙廷梁
舊街商會長 崔玉鳳
志岐土木組出張所
土木請負業 長谷川工務所
南部組 堀定四郎
洋服商 石橋兄弟商會
產業公司
永發魁
日本小學校長 永川幸代
日本醫院 庄司益吉
公醫療養所 今井良平
朝鮮醫院 李雄
滿鐵貿易館 昭和盛
電燈廠
料理店組合
飲食店組合
海拉爾電信電話局 大塚茂樹
海拉爾郵局 岩本由滿
海拉爾タクシー
土木建築請負 森工務所
日滿製粉海拉爾分工場
呼倫ホテル
興安ホテル

興安省
省長 額勒春
參與官 中村撰一
總務廳長 巴金保
民政廳長 志達圖
秘書官 蒼明順
總務科長 吉爾嘎朗
經理科長 阿軍台
地方科長 索米子宏
勸業科長 綽克巴圖爾
文教科長 墨爾根圖魯
視學 環爾嗄

東警備軍
顧問 泉鐵翁
司令官 綽羅巴圖爾
參謀長 曾根崎清臣
職員一同 (博克圖)

札蘭屯興安警察局
警務科長 内藤三次
職員一同

布特哈旗
旗長 額爾登

海拉爾支局
石橋岱城
販賣人 島田毅四郎

著しく躍進せる交通通信事業

交通部大臣　丁鑑脩

滿 洲國帝制實施後最初の新年を迎へたことは全國民と共に實に慶祝に堪へない。顧みるに滿洲國は建國日尚淺きにも拘らず內三千萬國民の熱意と、外友邦日本帝國の援助により治安の確立文化の進展産業の開發等において大いに見るべきものあり、殊くも昨年三月一日皇帝帝位に卽かせられたることは我建國史上に燦として無限の光彩を放つものである。加ふるに六月には畏くも日本帝國皇帝陛下の御名代として秩父宮殿下の御來訪を受け親しく御親詞を賜りたることは我國無上の光榮にして、誠に感激に堪へない。次いで去る十二月一日よりは地方制度を改正し王道政治の實は依つて以て愈々高まらんとするに至つた、斯かる輝かしき一年を送つて新しき春を迎へ實に無量の感慨に打たれる次第である。

玆 に過去一年間の我國交通通信界を回顧すれば、先づ鐵道に

おいては國有鐵道の建設は一昨年に引續き牡丹江佳木斯線外九線を滿鐵に委託したが前年中において工事を完了し滿鐵に委託本營業を開始せるもの六二三粁六、假營業を開始せるもの一七八粁に達してゐる、私設鐵道は國有鐵道と相俟つて普及發達せしむるに要あるを以てこれ等企業者に對しては極力助長に努め、昨年中に免許したものは瑋春鐵道外三鐵道何れも年內に工事の完了を見てゐる、これで國有鐵路の總延長四千粁餘、私設鐵路亦四百粁に垂んとして居る、又昨年九月には鐵道及利用者相互の保護の爲鐵道營業法及傳染病患者乘車規程を制定したが私設鐵道の助長普及を計る爲には、目下私設鐵道法及附屬法規の制定審議中である、水運行政は昨年中において建國以來の懸案も大體決した形で、其の中主なものとしては第一に一九一四年以來外國の共同管理下にあつた遼河工程局を接收し營口航政局をしてその事業を引繼がしめたことである。

斯くて同航政局は人員の充實と共に從來の倍額の經費を投じ河口の水深を增大すること三呎、平均干潮時十二呎、滿潮時二十二呎を保つことを得せしめた、なほ上流水路の改修にも鋭意努力しつつあり、來年度に於ては更に浚渫船二隻を增加して浚渫作業に從事する計畫である、次は對蘇水路協定の締結でその結果黑龍江及烏蘇里江等國境河川に於ける航行を容易ならしめ經濟上將又國防上寄與する所大なるものあり、而して右協定に伴ひ哈爾濱航政局の分局を黑河に設置した。

本 邦自動車運輸事業の進展も相當見るべきものあり、昨年中において國營一綫の決定せるもの二十二、其の延長八、五九二粁、之は鐵路總局をして經營に當らしむるもので民營路綫の特許したるものは二十二、其延長は二、四五一粁五に及んで居る、右の結果昨年末における自動車路線營業を總括すれば國營四〇路線一二、四二八粁三、民營四〇路線三、二〇五粁九合計八〇路線一五、六三四粁二である。

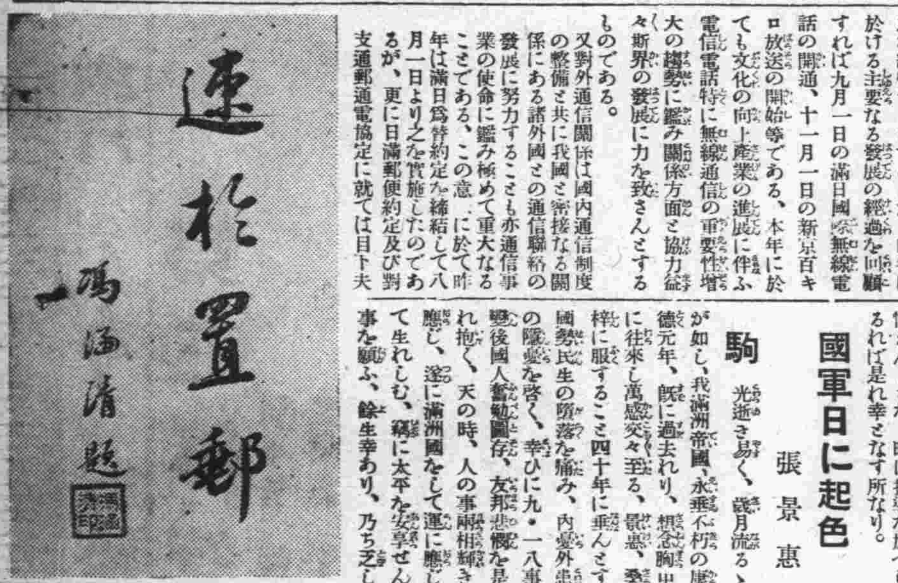
次は航空であるが、滿洲航空會社現在の營業路線十線四、五〇〇餘粁に達し之を事業當初に於ける約二、六〇〇粁に比較するときは、實に隔世の感がある、而して航空法及附屬法規は既に其草案成り目下審理中である、以上を以て昨年の我交通界を大觀したのであるが、本年は更に進んで事業の擴張保守法規の整備に專念し以て産業の開發文化の向上治安の確保國防の充實を期せんとするものである。

郵 便事業に於ては從來奉天郵政管理局及哈爾濱郵政管理局の二局をして全國の郵便事業を管理せしめて居たが、建國後の情勢の進展に伴ひ十一月一日より新に首都新京に新京郵政管理局を設置して全國を三つの管轄區域に分け以て事務運行の圓滑と敏捷を期することゝした、同時に從來管理局において行ひ來りたる現業事務を分離して獨立の郵局とせる外郵局の增設と人員の整備に努めて來たのであるが、その結果現在我國における郵政機關、郵局三二九、代辦所信櫃一、三六六合計一、六九五に達し建國當時の一、五〇〇に比し約一割の增加を見てゐる、本年に於ては更に各種法規の制定、公衆通信サービスの整理改善を行ひ以て通信文化の向上に資せんとするものである。

電 信電話事業は一昨年九月以來滿洲電信電話株式會社をして之を經營せしめてゐるが、昨年に於ける主要なる發展の經過を回顧すれば九月一日の滿日國際無線電話の開通、十一月一日の新京百キロ放送の開始等である、本年に於ても文化の向上産業の進展に伴ふ電信電話特に無線通信の重要性增大の趨勢に鑑み關係方面と協力益々斯界の發展に力を致さんとするものである。

又對外通信關係は國內通信制度の整備と共に我國と密接なる關係にある諸外國との通信聯絡の發展に努力することも亦通信事業の使命に鑑み極めて重大なることである、この意に於て昨年は滿日爲替約定を締結して八月一日より之を實施したのであるが、更に日滿郵便約定及び對支通郵通電協定に就ては目下夫々相手國と折衝中にして近く圓滿なる解決と締結を了し最も密接なる對日、支方面の通信界に一大進展を齎さんとするものである。

最後に日支兩國以外の諸外國との通信關係に於ても我國の郵政に對し各國は近時技術的問題として之を承認するの氣運にあり、本年度に於ては更に一歩を進めて世界平和の確保世界文化の向上に一大功獻を爲すべく萬國郵便聯合加盟諸外國との郵便約定締結の實現に向つて邁進せんとするものである。



工匠の必要

馮涵清

光陰矢の如く、歳序屢々更まる、吾滿洲帝國の康德元年は普天同慶中に開始せられたり、この一年の初めに當り萬象更新の際吾人誰か所感なからん、吾人司法部に奉職するものは司法範圍の人材問題、及司法設備の改善等に就き數言を略述せん、司法を辦理するは猶樓房を建築するが如し、司法を辦理する人材は猶樓房を建築する工匠の如し、工匠不良なれば樓房は如何にして輪奐の美を得ん、人材缺乏すれば司法部は完善の明効を收め難し、其の理至顯にして贅言を要せず、本部は此に鑑みるあり、依て昨年法校を設立し日滿法學の名家を招聘して教授を擔任せしめ以て英材を養成し更に試驗の候補を召集し部に來り講習せしめ以て刑務官の講習生を召集し以て監獄の改善を促進せしむ、又日本人の參事官數名を聘用し以て各種法令を審查制作せしむ、此れ司法部の人材に關する感想なり、又司法を改善するは精神を以て重要とすれど、然れ共又其の外觀を壯麗ならしむるため形式も亦改良するを要す、故に本年より本部廳舍及新京各級法院、檢察廳々舍、及監獄の新築を開始せんとす、豫算既に作成濟なれば春暖解氷の頃を以て起工する豫定なり、將來建築完成せば此の莊嚴富麗なる廳舍は單に外觀の壯觀なるのみならず、人民の司法機關に對する敬仰の觀念を增進するものなり、又舊法は多く不適當なれば、今年新法を制定施行せんとす、これ司法改善に關する感想なり、以上記述せることは既往に於て辦理したること及せんとする各事なり、吾人司法の重任を負ふもの自ら奮勉を以て最後の良策を期せんことを、尙希くば本國及び隣邦朝野の名賢の口角春風を惜まんことを、時に指導を加へらるれば是れ幸とする所なり。

國軍日に起色

張景惠

駒 光逝き易く、歳月流るゝが如し、我滿洲帝國、永垂不朽の康德元年、既に過去れり、想念胸中に往來し萬感交々至る、景惠、桑梓に服すること四十年に垂んとす、國勢民生の隱蔽を痛み、內憂外患の蔭擾を啓く、幸ひに九・一八事變後國人奮勉圖存、友邦悲憫を是れ抱く、天の時、人の事兩相輔き應じ、遂に滿洲國をして運に應じて生れしむ、竊に太平を安享せんとを願ふ、餘生幸あり、乃ち乏しきを軍政に承け、失墜を時に虞ふ大同二年間、草々として人を勞す自ら問ふ、功は過を補はず、昨春三月わが皇帝陛下、應天順人、大寶に登極せらるゝに逢ふ、此れより全國の軍隊陸海空軍大元帥の麾下に直隸す、天命廳する有り、人心歸する有り、國軍の前途、方に興り未だ艾ならず、驚駘の重任、或は卸除すべし、乃ち寵眷を仍承し、命を承け軍を治す、之れを辭する違あらず、惟だ當に力を竭さんのみ。

此 一年間、幸ひに顧問の指導と僚屬の贊佐に賴り、大典の觀兵を擧行し、國旗を授受し、國軍をして忠君衛國の大任を知らしめ從前の私兵の陋習を一掃し、旅團營連兵艦の編制を改定し、全國軍隊をして千般一律に編成し、畸重畸輕の惡例を一除し、國軍の薪俸被服を劃一し、各々實用に應ぜしめ、虛靡偏酷の積弊を無からしむ、優を選びて進級せしめ、量材を轉任せしめ、庶の用人を大公無私に、軍區を劃定し、軍を分ち守りを鎭め、以て民を安んじ、內を靖ぜん事を期せり、國境を封鎖し軍を調して匪を剿し、以て保境安外を期す、各軍事教育機關を創辦し、各留日求學の人材を考選し、作戰を用ひて國軍の基礎を改進す秋季大演習を擧行し、邊防の各部隊を巡慰し、以て一年の考成を示す、䓀々たる大計、次第に施行し皇々たる國軍、日に起色を見る、此の精神年々復さば、滿洲國の光榮實に無限の希望と愉快あり、景惠敏ならず、願はくば國內の賢豪に從ひ、以て厥の成を見ん。

亥年に因む　古川柳

長林獨尊子

昭和十年の干支は亥年です。非常時局にふさはしい至極勇猛果敢な縁起のよい、お目出度い年を迎へました。

さて亥、卽ち猪の性格や活動狀態や形などを諷した古句は極めて少ない樣に見うけられます、だから國音相通ずる「猪」「亥猪」さては「獅子」までに發展して、苟しくも亥年に關係ある時代時代に於ける數多き古川柳のうちから佳句と思はれるものを丹念に拾ひ出して見ました。

今年はユーモアとウイットと諷刺と皮肉をコンデンスした古川柳をひやらうんと笑つて非常時局に邁進しようではないか。

×

我國では近代まで獸類の肉を食することは心身の淸淨を汚すものとして非常に排斥せられ、唯「藥食」と稱して寒中養生のため秘密裡に食つたに過ぎなかつた。この「藥食」の句中「猪」についての珠玉を一つ一つ摘み出して見ました。中には必ずしも猪を利かせたものでなささうな句もありますがあまりに面白いので列記した次第です。

雪の日のむちりんで咲く冬牡丹
（牡丹は猪の異名）
冷症で二十日程くふ冬牡丹
（牡丹の異名二十草を利かせたもの）
寒いこと鈍で牡丹をこなしてる
鴨などがつつくものかと又百匁
（その鴨などの及ぶところではありません）
猪を食ふ會亭をする一人者
（家族ある家では必ず抗議が出ます）
齒のわるさ癒ばつかりを食つてゐる
癒ばかり食ふも一足ちがひなり
一足のちがひで只の汁を食ひ
藥食女房燈ひつたくり
藥食見てゐる顔の美しさ
（美しい女房があつては何の効目もありますまい）
毒になる奴が煮てゐる藥食
（美しい顔です）
冬牡丹椀を重ねて叱られる
（これは藥食の句中鯨汁の佳句でありますが、大膽にも「鯨汁」の字句を「冬牡丹」と勝手に直しました、珠玉に傷けた罪固より筆者にあります）
冬牡丹たわしを一つ棄てる也
（同）
冬牡丹しばらく鍋のやかましさ
（同）
こんどから貸してやるなと鍋を棄て

×

十月上亥日は亥猪の祝として諸侯暮六つ前に拜賀のため登城するので、この夕大手、櫻田兩御門に篝火を焚くこと正月お謡初の時と同樣である、民間では亥の子餅とて牡丹餅をつくり、又爐開きと稱し此の日より爐を開き茶會など催したさうです。

あす亥猪牡丹餅受に御不勝手
（大きな紋のついた禮服の質受）
白魚のやうに亥猪の供は待ち
（篝火の下の供侍を諷したもの）
亥の日から猫の居所高く出來
（火燵の櫓）
箱入を口說きはじめは亥の日也

×

除夜の忙しい最中に物貰ひの獅子が來る。投錢は十二文であつたさうです。

年越に二足の獅子がやたら出る
二足の獅子かぶりをふると十二文
十二文なげると獅子をふりはし
てんてこ舞の門へ來る除夜の獅子
（暮の忙しさが目に見えます）
ひつてんてれつく大年の一人獅子
（同）
子が駈けて行くうち仕舞ふ除夜の獅子
二つ三つゆすぶつておく除夜の獅子
夜ッ一ト夜獅子掛取の後を追ひ
二年目にくたびれ切つて獅子かへり
年越の獅子はしつぽを置いて出る
越後獅子あとは三河の御萬歳

×

越後獅子又は角兵衛獅子とて毎年越後から出る獅子舞、初夏に出で、諸國を巡り錢を乞ひ秋の末に國へ歸る、小童が小さな獅子頭を被り跳ね廻り逆立などして、いろいろの技曲をいたします。

越後から羽根の生えたる獅子が出る
角兵衛獅子全體無理な毛を生やし
（獅子の天窓に鷄の尾羽を附く）
角兵衛獅子ありさうもない羽根が生え
尻の毛が天窓へ生える角兵衛獅子
呼ばれると暖簾をおろす角兵衛獅子
呼ばれると顔のなくなる角兵衛獅子
角兵衛獅子仕舞ふと胸に顔が出來
角兵衛獅子幕を上げるか仕舞也
角兵衛は狸と獅子の外になし
（忠臣藏六段目に狸の角兵衛といふ獵師あり）
前足で太鼓を叩く角兵衛獅子
關守も毛のあるを見る角兵衛獅子
加賀樣の前角兵衛太鼓やめ
（盲長屋とて長屋門に窓がない）
横ッ腹たゝいてあるく角兵衛獅子
手の平へ底豆を出す角兵衛獅子
一疋か四文ならしの獅子を連れ
角兵衛獅子かぶりを振るが始め也

涙音

荻原井泉水

初日となるべきほのかさは
岬の先の岬
かくて、初空艦の艙に乗り
艙をこぼれ

斷然凱歌上る最大級の興味篇三篇堂々大競映
前中後三部作同時公開
原作 大佛次郎　カントク 曾根千晴
嵐寛壽郎得意の十八番映畫のサウンド版
鞍馬天狗
白馬にまたがつて鞍馬天狗疾風迅雷新選組挑む、嵐寛壽郎最初の發聲版

久々振りの現代映畫
花咲く樹
後篇 エマ子の巻　原作 大朝・東朝好評連載 小島政二郎　監督 村田實
市川春代・小杉勇・島耕二・志賀曉子・鈴木澄子主演
白熱的の好評を以つて迎へられた後篇エマ子の巻——今春現代映畫中の大王座篇

魔獸
四日封切
毎日午前十時より　晝夜三回入替なし

映樂館　西廣場　電五三〇七番

洮南縣
縣長 齊郷
參事官 永井正
副參事官 岩尾精一
警務指導官 井村東
同 淸山德太郎
同 岩元一雄
經理官 米谷洋藏
總務科長 李曉峰
內務局長 孫炳輝
警務局長 許越衡
財務局長 王廼武
教育局長 于香九

洮南鐵路局
局長 周培炳
副局長 酒井清兵衞

滿鐵洮南事務所

洮南日本居留民會

洮安

洮安縣
縣長 張殿銘
參事官 高橋光雄
副參事官 稻田勝房
警務指導官 松本覺二
同 藤原今衞門
同 古賀定治
經理官 林田浩
總務科長 王盛貴
警務局長 李樹田
財務局長 佟履謙
內務局長 任大謙

洮安料理店組合

洮安カフエー飲食店組合

國際運輸株式會社 洮安營業所

洮安縣商會
會長 王香九
副會長 趙芷衡

洮南署長 三澤了一

洮南專賣分署

カフエー界の王座
カフエー 幾代　電交一〇九
蔦江　美代子　光子　廣子　レミー　タズ子　ルリ子　千惠子　芳子　笑子　助六　琴路　春美　克美

南洮料理店業組合
快樂　藤の家　青楊　清川　松芳樓　末廣　逢來亭　洮南館　第一樓　萬歲樓　滿春樓

南洮飲食店カフエー組合
カフエー幾代　カフエー紅家　カフエー高砂　食道樂玉川　食堂來々　カフエー黑猫　食堂雲水　カフエー滿蒙會館　飲食店丸京　カフエー廣陵軒　カフエー天國　カフエー亞細亞　カフエーアルシャン　カフエーサロン星　カフエー銀鈴　カフエー洮南

賀正

西曆・1935・

大連・五常・羅津

大連

歯科レントゲン科 芳賀歯科醫院 大連市不老街二三五 大連運動場停留所前

工事請負 ラヂオ並修繕 電氣器具一式 東亞電氣工業所 大連市聖德街一丁目三〇二 電話四〇一九〇番

南滿大理石工場 笹岡樽柳 大連市雲井町五 電話四九九三〇番

市會議員 森川莊吉

渡邊猪之助

長濱醫院 電話四九〇四五番

吉田歯科醫院 元町三七

門上歯科醫院 聖德街新二丁目四四二

大日本刀劍保存會大連支部 刀劍研士 鈴木虹堂 聖德街四丁目一四 電話四九二九六番

東昌タクシー 石炭販賣 小田斌 大正通一〇九 電話四九五〇六番

貨物自動車運輸業 S商會 大正通一三九 電話四九八八九番

醤油味噌釀造元 久保商會 黄金町六四 電話四九六三〇番

古賀菊靴店 電話四九九五一番

古賀菊支店 電話四〇三八一番

沙河口印刷所 室田多歳雄 仲町六〇 電話四九四七四番

滿洲製藥株式會社 日吉町六

第二松竹館 深見護三 黄金町一五 電話四九〇六八番

沙河口中央通町内會

西大連理髪業組合

西部料理店組合 元町二 電話四九九七九番

カフエー パリー 仲町二八 電話四九四八三番

パリヂヤン 仲町三五 電話四〇一六〇番

沙河口署長 廣石郁麿

沙河口驛長 佐藤榮越

沙河口郵便局長 川島周二

星ケ浦郵便局長 折井吉尙

聖德街郵便所長 富田孟而

霞町郵便所長 國時英雄

沙河口神社々司 河野穰

桑村介辨事務所 聖德街二丁目一九七 電話三三〇四三番

古藤介辨事務所 聖德街三丁目二三二 電話四九八六四番

石井醫院 黄金町二

井波醫院 黄金町一〇五 電話四〇一三四番

竹澤醫院 仲町一八 電話四九〇五四番

高橋醫院 聖德街三丁目 電話四九二一三番

田邊醫院 聖德街四丁目一二七 電話四九三七三番

比企醫院 大正通二 電話四九五五九番

株式會社 大同マイト工業所 黄金町九一

松田自轉車商會 大正通六二 電話四九三九七番

おだ屋酒店 大正通西市場前 電話四九六七一番

貨物自動車運送業 松本組 松本謙二郎 巴町一六一 電話四九四一番

藥品賣藥度量衡器 小山平和堂 巴町一六 電話四九四〇五番

喫茶酒場 ハルビンスタンド 巴町五〇

榮太郎書店 聖德街三丁目 電話四九五〇七番

大連商店協會・聖德街支部

滿洲日報 前田新聞店 電話四九二四九

五常

五常縣公署
縣長 于謙澍
參事官 宇慶晃
屬官 内海六三
總務科長 何利貞
財務局長 周炳文
警務局長 竇森
内務局長 張殿侯

五常站
車站長 越野芳久
機務段長 田口道平
貨物主任 味喜眞一
工務段長 峯中成美

日本足袋株式會社 明治製菓株式會社 レート化粧品 北鐵總代理店 太陽貿易公司五常出張所 電一〇番

五常 飯田旅館 電七八番

滿鐵指定 五常ホテル 電六三番

五常料理屋組合
海東樓
可祝樓
瀧乃家
月乃家
彌生
五常館
醉山

食堂 七福

カフエー 初家

カフエー マスコット

日本人居留民會

朝鮮居留民會

電報局長 馮慶昌

おでん料理 安兵衛

羅津

北鮮滿鐵土木建築業協會

國際運輸羅津支店長 河野九郎

羅津警察署長 植田柳助 職員一同

羅津區長 齋藤長治

滿鐵羅津建設事務所

松本組 數田薫三
鐵道工業 中島彦作
西松組 田本辰次郎
福昌公司 林七藏
大倉組 橋本義則
共進組 影平篤介
硴山組 貞包又藏
大林組 櫻井謙次郎
阿川組 梶原喜代治
長門組 富岡敏郎

株式會社 大阪號

合資會社 大阪號

滿洲國賓江省牡丹江昆安街 株式會社 大阪號牡丹江支店

大阪市東區南久寶寺町二丁目 大阪號出張所

木村清

木村組 本店 門司市 支店 羅津港

羅津稅關出張所長 大津文雄

羅津郵便局長 大島鐵造

合名會社 大洋商會 代表者 金京春

日本海魚業株式會社 社長 姜東明 專務 中山郁之亮 支配人 山本貫一

進昌洋行羅津出張所 羅津本町二丁目

羅津貴金屬並時計商 伊藤時計店 大榮堂 三光堂

親和貿易株式會社 羅津出張所

北鮮興業株式會社 貴田岡照見

回漕業 鐵道荷物取扱 羅津運送部

羅津水產物委託販賣組合

錦戸式煖房及風呂釜 錦戸商會 羅津支店

株式會社 大阪電氣商會 大阪暖房商會

三谷商店營業所 赤木俊郎

滿鐵・國際・土建協會御用達 須藤洋服店

富久娘 食料雜貨 生果委託 三井兄弟商會

羅津滿鐵指定商工組合
大阪號 三光洋行 生田商店 三谷商店 久住商會 大村商店 進和洋行 羅津藥局 金原材木店 桑原金物店 澤田商會 親和貿易 三共洋行 錦織材木店 富士商行 中島洋行 山根材木店 大阪電氣 伊藤時計店 稻垣日本堂 一町田家具店 北津商會 宮本商店 丸友金物店

羅津料理屋組合
日の丸 春帆樓 東京園 時壽 朝日 羅興館 八千代 三穀 白鶴 長春館 勝福 明月 吉野家 丸葉 梅の家 一二三 寶來 秀の家

羅津商工會 河野九郎 中野榮吉 岩石憲人 吉原豊吉 雨森清三郎 貴田岡照見 武井忠兵衛

和洋百貨 岡崎商店

秩父屋 新井呉服店

羅津製材所 古村米次郎

雄基電氣出張所 野村泰作

羅津ホテル 三上穆二

三吉堂藥局

稻垣日本堂 羅津支店

カフエー ミドリ ツヤ子 涙子 スミ子 マサ子 ヤエ子 マリ子

カフエー 金時

カフエー アツマ

カフエー アジア

カフエー ヤマト

賀正

東京

岩永祐吉

林銑十郎

林正春

林田精一

[illegible]

岡田卓雄

大渕三樹

吉野小一郎

水谷光太郎

坪上貞二

角田不二男

中田金司

[illegible]

兒玉秀雄

櫻井兵五郎

光永星郎

[illegible]

佐藤正

東京市麹町區丸の内ビルヂング
大連汽船株式會社
東京出張員事務所
出張所長　茂木定二

鉛筆なら「月星」印を
優良
月星鉛筆

孔雀印・印刷インキ製造販賣
株式會社 **諸星千代吉商店**
橫濱市中區久保町一一一七番地
品質優良
價格低廉
東京支店　東京市京橋區寶町二丁目九番地
大阪支店　大阪市南區鍛冶屋町二十一番地
名古屋支店　名古屋市東區大津町五丁目七番地
橫濱工場　橫濱市中區久保町千百十七八番地
保土ケ谷工場　橫濱市保土ケ谷區保土ケ谷町
諸星油墨公司　上海蓬路五十三號　電話(4)四五五九番
奉天分行　奉天城內大北門裡　電話六二一七九番
出張所　新京・天津・營口

山梨縣南都留郡西桂村
有限責任 **甲州織物販賣組合**
振替東京六五三八三番
電話小沼二八番
電略カフ（又ハ）カフハン

營業科目　製版用銅版亞鉛地金商
臼井半太郎商店
東京市神田區豊島町六
電話浪花(86)[illegible]

強度高ク工事迅速 寒中工事好適 使ツテ經濟
アサノ **ベロセメント**（説明書送呈）
大塊コンクリート専用
アサノ **マスコンセメント**（説明書送呈）
滿洲國産 **大同洋灰**（近ク發賣）
大日本 東京市丸ノ內海上ビル新館
淺野セメント株式會社

撫順炭一手販賣
鞍山銑鐵特約販賣・
撫順炭販賣株式會社
本店　東京市麹町區丸ビル內
若松出張員　福岡縣若松市宮下町一ノ三〇七
名古屋支店　名古屋市中區新柳町住友ビル內
大阪支店　大阪市東區安土町二ノ五六
大連支店　大連市山縣通大倉ビル內
高岡出張所　高岡市宮脇町九二〇

一、資本金　壹千貳百參拾參萬圓
一、拂込金　壹千拾參萬四千圓
一、積立金　六百萬圓
一、製造能力　貳萬貳千貳百バーレル
日清製粉株式會社
東京市日本橋區小網町一丁目二ノ四
支店　名古屋　神戸
出張所　門司、小樽、大連、横濱
工場　館林、宇都宮、水戸、高崎、佐野、鶴見、名古屋、神戸、岡山、坂出、鳥栖

萬歲！の爆聲浴び 猛獸を喰はんか
千客萬來の軍司令官々邸に
新春を壽ぐ南大將

【新京電話】オープンの自動車に縮緬な寒風にさらし着任匆々潑剌たるところを見せ沿道堵列の新京市民を嬉しがらせた南軍司令官さ日滿人が親く我等の軍司令官さいふ幸先きよいスタートを切り豪快奔放な性格は頗る好印象を與へた着任匆々迎へた新歲、ソツと南軍司令官の元旦をのぞけば先づ午前六時半起床、それから自分の部屋で靜かな一時を過ごし午前八時どりやお屠蘇でも祝はふかと名波副官、吉田秘書官を從へて官邸の食堂に現れる

閣下こちらは年賀の來客が非常に多いですよ

ナニどこに居つても同じだよ、千や二千の來客は馴れて居る、年賀の客を迎へる心得は知つてるよ

午前九時半軍司令部に於ける新年拜賀式に參列し、それより宮廷府に參內、年賀の祝詞を申上げ十時半新京公會堂に於いてあの破れるやうな聲で滿洲國の萬歲を三唱、これで大體元旦の對外折衝は一段落、官邸に一休みの後官邸の大食堂で將校連と共に年賀のお祝ひ、大食堂のテーブルには丸燒きの豚や七面鳥、恒例のお屠蘇やお雜煮がふんだんに並べられてゐる

どうだ、やつぱり親爺のところは凄いぞ

この間南大將は時折顏を出す、その度毎に萬歲を浴せかけられる

どうだ猛獸でも喰はんか

と豚の丸燒きをすゝめる、すつかり接客術を心得て居る、鄭國務總理の童顏も見える、丁交通部大臣の丸つこい顏も見え官邸は賑つて我が春を壽ぐ、かくて午後五時一先づ切上げ靜かに年賀を終つた【寫眞は南大將】

醫師會を母體に 非常時救護團
關東州防空演習の尊い經驗から
初春を期して產聲

久しい間叫び續けられて來た非常時を劃する一九三五年は遂に來た年頭覺悟を新にして非常時局に對處せねばならぬ秋、大連醫師會では昨年六月實施された關東州防空演習の經驗に鑑み、大連市防護團とは獨立した醫師會救護班なる恒常的機關を設置し、一朝有事の際萬全の活動をなさんとする計畫を樹て、既に豫め臘守中大連醫師會長より右設立準備委員として十五名の醫師會員が舉げられ、新春早々第一回設立委員會を開催、愈々本格的設立訓練工作に入ることゝなつた

右設立の趣旨は昨年實施せられた防空演習の際結成せられた防護團に於て救護班は醫師の統制機關として嚴存する大連醫師會を無視し各醫師に個人的に拔打ち的に任命してその場限りに形成せられたので、平常より特殊的立場より專門的研究を要する防毒救護の方法、機材の整備等が殆ど間に合はず、ために充分その機能を發揮することが出來なかつた、これを防止するには醫師會を母體として獨立した救護班を作り、日常より訓練をなさねばならぬといふのである右の趣旨は既に大連防護團長小川順之助氏宛に具申されて居り、守中大連醫師會長も積極的に乘り出したものである、設立準備委員として任命された者は

桐原善治、脇屋次郎、光畑三郎、長濱丹治、牛久昇治、西堀新次郎、廣海捨藏、千種峰藏、豐田太郎、村上純一、近藤正基、岩男其二郎、大槻滿次郎、辻慶太郎、安東洪次

の十五氏である

平時の心掛け 守中會長語る

右につき守中大連醫師會長は語る

大連市防護團とは全然獨立したものであると言へば少し語弊があると思ふが、勿論市の防護團とは絶えず連絡を保ち乍ら而も天災、地變、戰爭等の際は勿論平時に於ける防疫、救護の仕事を萬全になし得るやうな組織となしたいのが希望です、既に設立準備委員も依頼してあり、正月早々會合を開いて愈々具體的なものとなすつもりです

肺ペスト發生
法庫門の奧地間に

【奉天電話】客臘二十四日康平縣慢山屯に三名の蒙古人が行商に來たが、そのうち一名は原因不明の猛烈な病氣で急死した、その翌日から同樣の患者續出し二十九日までに十二名の患者發生、そのうち八名死亡した、病名調査のため出張した滿人警察官一名も感染三十一日死亡し、調査の結果肺ペストの症狀歷然たるをもつて三十一日康平、法庫間の交通一切を遮斷すると共に二日午前十一時より鐵嶺において法庫鐵嶺日滿官憲協議の結果、第二の防疫方法として法庫鐵嶺の交通を一切遮斷すべく遼河を法庫を閉鎖するに決し、更に滿鐵に對し防疫調查員派遣方を依賴したるが、鐵嶺、法庫、康平の交通遮斷は空前のことであり、旅行は勿論、特產出廻期に際し影響甚大である

詳細は不明 滿鐵衛生課防疫係主任村川博士語る

哈拉沁屯から奧へ十五支里の地點にそれらしい患者が出たといふ情報を得たので取敢ず四平街細菌檢查所の安村醫師を現地に派して實情を調查せしめることにしたが詳細は今の所まだはつきりしない

皇軍のお正月
數々の御馳走に偲ぶ故鄉の味
嬉し懷かしい賀狀

勇ましいラッパの音に目をさませば、明けてうれしいお正月だ。非常時日本の第一線、滿洲の曠野に、酷寒零下三十餘度の寒風を衝いて匪賊討伐に邊境警備に、日夜奮鬪を續けてゐる皇軍兵士にも嬉しいお正月が訪れた。

「雪の進軍氷をふんで……」重い防寒軍装に身を固め、「匪賊だそれ追つかけろ」とばかり、夜もなく、晝もなく、山岳重疊の奧滿洲の密林地帶を、匪賊狩りに忙しい日本の兵隊さん。匪賊共に鬼神の樣に恐ろしがられてゐる兵隊さん達も、いざお正月の事となると、まるで無邪氣な子供の昔にかへつて了ふ。星一つの新兵さんも星二つに進級した古兵さんも、何日か前から、もう正月の話で持ちきりだ。

「オイ、もう幾つ寢たらお正月だぞ」

「おれは雜煮の餅の喰ひつくらなら負けないぞ」

等と罪のない話がはずむかと思ふと、大晦日には「武士の情だ、匪賊共にも、歲を越させてやれ」と討伐も默禁して、いづれ討伐の歸りに山からでも拔いて來たものだらう、松の木で器用に門松なんかも出來上つて、鐵砲持つ手に箒や雜巾を持つた兵隊さん、總動員で營舍の大掃除に取かゝる。班長殿が先頭に立つての奮鬪だ。

「討伐隊前へ！」で箒組がわつしよいわつしよいさ活動する。次に控へた一隊に「宣撫班、工作開始！」と號令がかゝると、雜巾組が待つてましたとばかり、四ツんばひになつて、うんうん拭き清めて行く。……見る見るうちに營舍はきれいになつて了ふ。あらかた塵を掃き出す箒組は、匪賊を蹴散らして前進する戰鬪部隊だ。仕上げの雜巾がけは、討伐隊の後に續いて、王道樂土の實體を吹き込み乍ら教化して行く宣撫班だとおつしやる。明けても暮れても、匪賊討伐の兵隊さん達だけに通じる、無邪氣なシャレだ。斯うしてまたゝく間に隅から隅まで塵一つ止めぬ迄に大掃除が出來上り、「概ねよろしい」と中隊長殿の檢査をパスして、夕食に出る鰊蕎麥を食べて了へば、もうお正月何時でもお出でだ。そして平常通り午後九時に就寢するのだが、この日ばかりは兵隊さんも子供のやうにはしやいで、なかなか寢つかれない。やつと寢たと思つたら、お正月のご馳走の夢だ……。

殺風景な滿洲の第一線には除夜の鐘も鳴らず、遠近の部落から聞える驢馬の鳴き聲と共に新春が訪れる。

☆

雪さ氷にとざされた滿洲の曠野で、匪賊討伐に生命を賭つて、活躍する男々しい勇士に、せめてお正月だけでも御馳走をと、陸軍當局の心やりで、暮の內から準備が進められ、糯米四十萬瓩、お酒二萬リットル、ごまめ、金さん、黑まめ、燒麩、數の子等の兵隊さん用罐詰、その他濃かい品々が續々關東軍に送られ、大體兵隊さん一人當り糯米二合、お酒は正月三ケ日に約一升、ねりやうかん二十グラム、金さん罐詰十五グラム、くちとり二十五グラム、勝栗十グラム、ごまめ、數の子十グラムといふ見當で、どんな僻遠の地に駐屯する兵隊さんにも、落ちなく分配されたが、兵隊さんに遠く離れた故鄉の味をせめて味はさうといふので、お酒は特に出動部隊宮內で釀造されたものを選ぶといふ至れり盡せりの氣の配り方もうれしい。正月の料理は、より美味しく食べさせやうといふので、大晦日になると特に駐屯地附近の料理人を呼んでつくらせる。兵隊さん達は此日ばかりは炊事當番も無く、のびのびとお正月を待つて居ればいゝのだ。

元旦、午前六時凍てついた空氣をゆるがして、起床ラッパが鳴り渡ると、「それお正月だ」とばかりはね起き戰友と「おめでたう」を云ひ交し乍ら、前夜から整へて置いた第一裝を手早く着用する。六時半、中隊每に營庭に集合、雪の曠野の東の果から、今や差し昇る初日の出を拜して「脫帽」君ケ代のラッパが吹奏されると、「最敬禮」で、陛下の萬歲を祈り奉る莊重嚴肅な一瞬間だ。

終つて新たなる年を迎へての皇軍の覺悟を强調する中隊長の新年の訓話等があつて遙拜式を終る。

☆

遙拜式も濟むと、營舍內は元旦らしい爆笑の渦にわき立つ。にこにこ顏の郵便係りの乙曹長殿が、「おい年賀狀が屆いたぞォ」とどなると、わーつとばかりに兵隊さんが飛付く。乙曹長殿は身動きも出來ない程の始末だ。滿洲出征の兵隊さんにとつて、鄉里からの便りほどうれしいものはない。兵隊さん達は、むさぼる樣に國からの年賀狀を受取ると、ほゝずりもしかねまじい表情で讀みふける。可愛い弟妹からの「アケマシテオメデタウ」や「……お國のために御奉公第一に候」も普段貰のおやぢからのハガキ等、中にうれしさのあまり、目をうるませてゐる兵隊さんもある。

今日は特に一人につき鯛のお頭付き二匹づゝ付けて貰ひ、故鄉の香豐な地酒を酌んで、食卓せましと並べられた御馳走に、兵隊さん達は、もう嬉しさそのものだ。あたりから「こゝは御國の何百里はなれて遠き滿洲の……」と軍歌が始まる。中隊長殿が杯を持つてみのしつかり入つたお雜煮を祝つて、杯も重なつて來ると、班長殿も上機嫌で各班を廻る。「おめでたう。今年もしつかり頼むぞ」「御苦勞」「今日から三日までは交代で自由外出、延期も許されて、午後八時の點呼までに歸つて來ればいゝ。正午近くから屠蘇酒に頰を染めた兵隊さん達は、軍歌を歌ひながら三々伍々外出だ。

全滿洲 全朝鮮 對抗卓球試合

◇全滿洲對全朝鮮戰　六日午前十時より
◇全朝鮮對全滿人戰　七日午後五時より
社員倶樂部で（會員券共通二十錢）
主催 滿洲卓球協會　後援 滿洲日報社

八人組の强盜
元日の奉天に

【奉天電話】一日午後五時二十分頃商埠地北市場警察署第十八分署管內二十五經路二一一號袁子新方に八人組の拳銃强盜侵入し、家人を脅迫の上國幣千餘元、金腕輪四個時價八百元、毛皮衣類三點、金指輪金時計各一個を强奪悠々として逃走し、一味は隣家の秘封林方に侵入大洋三元を强奪して逃走した、屆出でに依り瀋陽警察廳では目下犯人嚴探中である

猛獸狩り一行百名
三日午前七時出發

【新京電話】本社主催の猛獸狩は各方面より異常な興味を以て迎へられ、滿洲は勿論日本朝鮮より續々參加し一行百餘名の一團は愈々三日早朝新京發、勇躍京圖線に依つて現地に向ふが、現地狩場は既に邊見幹事長に依つて數回に亘る調査が行はれ、準備萬端が整へられ先發の山崎總局員以下係員一行は二日午前七時發京圖線で現地に向ひ更に本社南里工務部長、安藤實業課監督の兩氏は一日夜十時半にて來京し邊見幹事長、佐藤支社長と打合せをなした、なほ團長長谷部少將以下大連組二十餘名は二日あじあにて來京、猛獸狩りの一行は愈々三日午前七時發にて現地に向ふ事となつた

滿鮮對抗の卓球戰
本社後援で六日舉行

本社後援滿洲卓球協會主催の第二回滿鮮對抗卓球試合は、愈々來る六日午前十時より滿鐵社員倶樂部（對滿人戰は七日午後五時より同所に於て舉行）に於て舉行するが、全朝鮮軍の主力たる京城齒科醫學專門學校チームは第一軍として三日入港の定期船で來連の上左記日程の下に南滿工專及び大連滿鐵、大連實業並に旅順工大等とそれぞれ對戰することに決定した、なほ第二軍は來る五日着連の上第一軍と合し六日全滿洲軍と對戰する筈であるが、滿洲軍にとつては今回の戰ひは昨年度第一回戰の雪辱戰とて連日工專において猛練習を行ひつゝあり白熱的な戰ひが期待されて居る、日程左の如し

▲四日 京城齒科醫專對南滿工專戰午前十時より工專で
▲五日 京城齒科醫專對大連滿鐵戰 京城齒科醫專對大連實業戰午前十時よりYMCAで
▲六日 全朝鮮對全滿洲戰午前十時より社員倶樂部で
▲七日 京城齒科醫專對旅順工大戰午前十時より旅順工大で
▲全朝鮮對滿洲國戰 午後五時より社員倶樂部で

尚六、七兩日に限り整理料として共通券二十錢を發賣することゝなつたが會場手狹のため收容人員に制限あり希望者は至急市內各運動具店で買求められたし

ロックストン 高級時計 ROXTON

熊本醫大全燒す

【長崎二日發國通】一日午後八時三十分頃熊本醫科大學附屬病院中央玄關から發火、正月の手薄警戒のため物凄い勢ひを以て燃え擴がり、電話交換手によつて發見された時は中央玄關一帶は火の海と化し、院內非常警報によつて急を知らせ看護婦總出動で患者救助に努め約二十分位で殆ど全部の患者を救出した、縣からは山內警察部長以下各消防隊出動消火に努め十時三十分漸く鎭火したが、損害は醫學上貴重なもの多數類燒し三百萬圓に上る見込みだが患者全部無事救出された

邦人殺し逮捕
一味四名が共謀して
分け前爭ひから仲間も刺す

去る十二月二十六日午前七時錦州省彰武縣城內三康洋行ボーイ劉洪瑞は三康洋行主工藤豐三郎及び王殿忠の兩名が同店內に於いて殺害され居るを發見、各係官が現地に赴き檢證を遂げたが被害者兩名は原籍秋田縣、現住錦州省彰武縣城內西小十字街同々營毛皮商三康洋行主工藤豐三郎（五二）並に彰武縣城內西十字街同々營王殿忠（二〇）にて、工藤は頭部を南に向け莫大小襯衣同ズボン下なほ寢床にうち伏したるまゝ頸部その他に六ケ所の斬傷を負ひ左の頸動脈を切斷されて即死、王殿忠は頭を東に向け上り框に兩足を垂れて仰向けに斃れ頭部頸部に十二ケ所の刺傷を受け左右頸動脈を切斷されて同樣即死、犯人は鋭利なる刃物をもつて滅多切りにした模樣で、あたりは鮮血の海と化して凄慘を極めたものであつた

被害者工藤は表面毛皮商なるもその實彰武縣におけるモヒ密賣の總締元として、最近に至り奉天より多量のモヒを仕入れて來彰せる事實あり、加之數日前より各モヒ密賣者より集金せる事實を探知し、最初の發見者にしてモヒ患者たる同家のボーイ劉洪瑞（三五）を先づ第一の被疑者として逮捕した

次に彰武縣警察署王署長以下署員を總動員の上兇行に使用せる刃物の出所につき嚴重搜査をなしたる結果、縣城內住所不定無職高萬義（二〇）のものなること判明同縣第三區鄭家窩堡九間房村（縣城北方四十滿里）において王署長以下私服警士六名は高萬義を逮捕し嚴重取調べた結果、遂に包みきれず眞犯人なることを自白し、而も共犯者として前記ボーイ劉洪瑞及び同類王春元（三〇）（別名王老五）の犯行なる供述事件の眞相はこゝに全部明瞭となり、劉洪瑞も犯行を自白した

一方いま一人の共犯者たる王春元も三十日午後四時三十分遂に情婦宅にて逮捕され、こゝに眞犯人三名全部を彰武縣警務局陳局長、各指導官及び王署長於大隊長の四日間の不眠不休の活動によつて逮捕するに至つたが犯人の供述による眞相は前記眞犯人三名のほか被害者の一人王殿忠の四名が二十五日白晝ボーイ室にて三康洋行主工藤を殺害の上集金しある現金、モヒを奪取すべく相談し、揃てモヒ麿者より買入しある豚切庖丁及び鐵棒等を準備しおき、二十六日午前一時王殿忠が工藤の寢室に忍び込みこれを殺害の上集金しありたる現金、モヒを强奪したるが、ほかの三名は又別に相談の上眞犯人の王殿忠を王春元の指揮の下にこれを殺害し一先づ逃走し後金品を分配することゝし、劉のみは店に居殘り何食はぬ顏で犯行ありとして屆出ることゝし、王春元、高萬義は夫々逃走したものであると

【寫眞は捕はれた犯人】

猫入らず自殺

旅順市乃木町三丁目居住發動機船日吉丸機關士森崎清一郎（四五）は去る二十三日旅順船長から大連より食糧を買求むべく金二十圓を預り來連中遊興の果て無一文となり三十日歸旅したが自責の念にかられ三十一日午後一時二十分頃旅順滿電車庫に忍び入り猫イラズを嚥下し、歸宅苦悶を始めたので直ちに竹森病院へ收容した

加來敏憲君

滿洲電業株式會社取締役支配人加來之憲氏長男敏憲君（二三）は豫てより大連醫院に入院加療中のところ、三十一日午前二時三十分死去した、葬儀は一月四日午後一時若草山西本願寺に於て執行

寫眞技術者募集

寫眞技術を有する者二名募集す 年齡十七歲より二十七歲迄の身體强健なる者、希望者は自筆履歷書添附上の庶務課長宛申込まれ度し

試驗日 來る一月七日午前九時より

奉天商埠地五經路九緯路 滿洲航空株式會社

喪中に付き年賀の御挨拶を御遠慮申上候

大連市山吹町一〇四 高橋忠藏

第二十四回決算報告（昭和九年下半期）

貸借對照表

株金	三,〇〇〇,〇〇〇.〇〇
準備積立金	五〇,〇〇〇.〇〇
未拂及預り金	八六,六八〇.四四
福島紡績勘定	七三七,八八二.六九
前期繰越金	八一,二九三.九五
當期純益金	七〇,九六六.四六
貸方計	四,〇四六,二〇三.四四
未拂込株金	一,五〇〇,〇〇〇.〇〇
地所、建物 機械、什器	一,七六六,一九八.八一
原棉、製系仕掛物	七〇三,九二〇.三三
製系賣掛金	五五三,四二一.一五
假出金未收入金	一,一九〇,九.三七
工場及寄宿舍用品	二三五,六七,七.九九
銀行預金現金	五,〇二八.九
借方計	四,〇四六,二〇三.四四

利益金處分

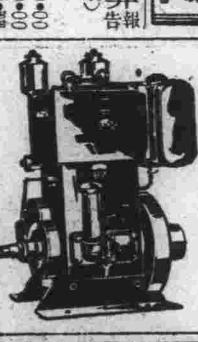
當期利益金	一四五,九六六.四六
前期繰越金	八一,二九三.九五
計	二三七,二六〇.四一
內	
固定財產減價償却金	七〇,〇〇〇.〇〇
役員賞與金	五,〇〇〇.〇〇
準備積立金	一〇,〇〇〇.〇〇
株主配當金（年六朱）	四五,〇〇〇.〇〇
後期繰越金	九七,二六〇.四一

關東州周水會周家屯 滿洲福紡株式會社

銘酒 白龍正宗 瓦房店昌隆街 白龍酒造場 電話一一一番

小児科専門 吉田小児科医院 院長 医学博士 吉田六郎 大連市若狭町二二（志摩洋行横） 電二八一三一番

春の土木工事にはゼヒ御使用を 十馬力四十五貫 タコマヱンヂン



ポリドールレコード POLYDOR

流行歌 A 港の戀唄 2111 小澤秀夫 久富久子 B 誰も彼も

記錄的の傑作品此の流行歌

流行歌 A 國境の町 2121 東海林太郎 B 沙漠の旅 淺草〆香

ポリドールレコード

御正月高級御贈答品

掛軸 金屏風 銅器 置物 カットグラス、絨氈、刺繡屏風

刺繡額 ビロード額繪、貝細工漆器類

御贈答品は……一千圓位まで多數御座います

●本邦刺繡界の泰斗杉山春堂氏力作六尺四枚折屏風、勅題池邊の鶴是非御高覽を御願します

高級美術專門店 （榮） 美寶堂 大連常盤橋ガス會社前 電話二・三六七八番

新春の御買物は……浪華洋行へ

營業時間變更

一月一日より一月十四日まで 午前八時半より午後五時まで

一月十五日より三月三十一日まで 午前八時半より午後九時まで

＝定休日 毎月十五日＝

浪速町の 浪華洋行 電話（代表）五一七九

滿日廣告部 電(2)三六九五

長男敏憲儀大連醫院に入院加療中の處養生不相叶客月三十一日午前二時三十分死去仕候間此段謹告仕候

追而一月四日午後一時若草山西本願寺に於て告別式相營可申候

昭和十年一月二日　大連市初音町二八六番地

父 賀來之憲　親族一同　友人一同

父政市儀豫て大連醫院に入院加療中の處昨二日午前六時十七分死去致候間此段御通知に代へ謹告仕候也

追而葬儀は來る四日途中行列を廢し午後二時常安寺に於て執行可致候

昭和十年一月三日

男 小數賀浩　同 小數賀淳　親戚 小原貞敏　白井卓　總代 小數賀源一郎

友人總代 田邊敏行　貝瀨謹吾　十河信二　杉野耕三郎　村井啓太郎　山西恒郎　中西敏憲

當社專務取締役小數賀政市殿昨二日逝去せられ候間此段謹告候也

昭和十年一月三日　協和建物株式會社

謹賀新年

日滿經濟協會々員

大阪支社扱

駒井徳三

滿洲福紡株式會社
角野久造

合名會社原田組
社長 原田積八郎

野村徳七

濱野榮一

池尾芳藏

山口合資會社
理事長 佐々木駒之助

株式會社大同洋紙店
社長 谷野彌吉

阿部房次郎

庄司乙吉

內外綿株式會社
專務取締役 佐々木國藏
本社 大阪市北區堂島北町

內外綿株式會社
常務取締役 岡田源太郎
本社 大阪市北區堂島北町

東亞ペイント製造株式會社
常務取締役 兼本興繼

山內貢

山本藤助

尚美堂
江藤榮吉郎

伊藤忠商事株式會社
專務取締役 伊藤竹之助

栗本鐵工所
栗本勇之助

沢田要藏

株式會社丸永商店
專務取締役 不破小一郎

日本賣藥株式會社
專務取締役 花岡千波
本社 東京市神田區花岡町二番地
支店 大阪市東區道修町五丁目二十番地
支店 大連市浪速町三丁目
出張所 奉天市加茂町十六番地
出張所 哈爾濱市八站南馬?五七號地
支店 新架坡ノースブリッヂロード

大家商事株式會社
社長 大家七兵衛

印刷工廠
社長 松井馬郎

日滿觀光株式會社創立事務所
佐野茂
大阪市北區宗是町一番地

加工綿布
人絹織物
晒金巾
又一株式會社
本社・大阪市東區南久太郎町二丁目
出張所・大連市山縣通り
又一株式會社大連出張所

株式會社
久保田鐵工所

內外國
特許商標出願及審判代理
淺村 樋口 特許事務所
滿洲 新京永樂町一丁目
大阪 東區北濱五丁目

電氣工事、煖房、冷房工事、水道衞生工事
電氣材料、煖房、冷房材料、水道衞生材料販賣
株式會社 大阪電氣商會
株式會社 大阪煖房商會
本店 大阪　支店 東京 名古屋
滿洲出張所 新京・永樂町一丁目九番地　大連・越後町四十二番地

大阪滿鮮貿易商同業組合
組長 粟谷喜八
副組長 庄野嘉久藏
副組長 大津積造
主事 藤原保五郎

川上回漕店
川上彪三

靜岡市長 菅貞仁

大津市長
堀田義次郎